滋賀大学（彦根）陵水会館改修工事（その２）

図面リスト

意匠図

整理番号	図面番号	図面名称	整理番号	図面番号	図面名称
56－1	L－1	表紙、図面リスト	56－30	A－21	改修後　断面詳細図(1)
56－2	特－1	建築改修工事特記仕様書(1)	56－31	A－22	改修後　断面詳細図(2)
56－3	特－2	建築改修工事特記仕様書(2)	56－32	A－23	改修後　断面詳細図(3)
56－4	特－3	建築改修工事特記仕様書(3)	56－33	A－24	改修後　断面詳細図(4)
56－5	特－4	建築改修工事特記仕様書(4)	56－34	A－25	改修後　展開図(1)
56－6	特－5	建築改修工事特記仕様書(5)	56－35	A－26	改修後　展開図(2)
56－7	特－6	建築改修工事特記仕様書(6)	56－36	A－27	改修後　展開図(3)
56－8	特－7	建築改修工事特記仕様書(7)	56－37	A－28	改修後　展開図(4)
56－9	特－8	工事区分図	56－38	A－29	改修後　展開図(5)
56－10	A－1	敷地内建物配置図・付近見取図	56－39	A－30	現況・改修後　展開図
56－11	A－2	仕上表(1)	56－40	A－31	部分詳細図(1)
56－12	A－3	仕上表(2)	56－41	A－32	部分詳細図(2)
56－13	A－4	現況（１期工事着工前）　1階平面図	56－42	A－33	部分詳細図(3)
56－14	A－5	現況（１期工事着工前）　2階平面図	56－43	A－34	部分詳細図(4)
56－15	A－6	改修後　耐力壁配置1階平面図	56－44	A－35	部分詳細図(5)
56－16	A－7	改修後　耐力壁配置2階平面図	56－45	A－36	建具符号図・建具表(1)
56－17	A－8	区画位置図・区画詳細図	56－46	A－37	建具表(2)
56－18	A－9	改修後　立面図(1)	56－47	A－38	建具表(3)
56－19	A－10	改修後　立面図(2)	56－48	A－39	外構解体撤去図
56－20	A－11	改修後　1階天井伏図	56－49	A－40	改修後 外構図
56－21	A－12	改修後　2階天井伏図	56－50	A－41	外構詳細図
56－22	A－13	改修後　1階平面詳細図(1)	56－51	A－42	庭園　現況・改修後 平面図　庭園詳細図
56－23	A－14	改修後　1階平面詳細図(2)	56－52	A－43	庭園　現況・改修後 断面図(塀姿図)
56－24	A－15	改修後　矩計図(1)	56－53	A－44	庭園　現況・改修後 断面図
56－25	A－16	改修後　矩計図(2)	56－54	A－45	入退室管理システム(1)
56－26	A－17	改修後　矩計図(3)	56－55	A－46	入退室管理システム(2)
56－27	A－18	改修後　矩計図(4)	56－56	A－47	入退室管理システム(3)
56－28	A－19	改修後　矩計図(5)			
56－29	A－20	改修後　矩計図(6)			

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち　1 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺　－				
	・		図面名称	表紙、図面リスト	作成　令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社
匠工房
TAKUMI KO BO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	整理番号
				滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 ― 1
島田　廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称：表紙、図面リスト　縮尺	図面番号 L ― 1

滋賀大学（彦根）陵水会館　改修工事（その２）

Ⅰ 工事概要

1．工事場所　滋賀県彦根市馬場一丁目１番１号（滋賀大学彦根団地構内）

2．完成期限　令和　4年　8月　26日　（金曜日）

3．建物概要

建物名称		陵水会館			
工種		改修			
構造		木造			
階数		２階建て			
建築基準法による	建築面積(㎡)	293			
	延べ面積(㎡)	479			
消防法施行令別表第一の区分		(7)項			
改修面積（㎡）		254			
備考		登録有形文化財			

4．工事種目（⊙ 印の付いたものが対象工事種目）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			
	陵水会館			
⊙ 2 仮設工事	一式			
・ 3 防水改修工事				
・ 4 外壁改修工事				
⊙ 5 建具改修工事	一式			
⊙ 6 内装改修工事	一式			
⊙ 7 塗装改修工事	一式			
・ 8 耐震改修工事				
・ 9 環境配慮改修工事				
・ プール改修工事				
・				

5．指定部分　・無　・有　対象部分（　　）
指定部分工期　令和　年　月　日（　曜日）

6．概成工期　・無　・有　令和　年　月　日（　曜日）　(1.2.1)[1.2.1]

Ⅱ 工事仕様

1．共通仕様

（1）文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第１号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 ※※ 枚及び本特記仕様書 8 枚によるほか、○印の付いたものを適用する。
- 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)(以下「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- 建築工事標準詳細図(平成28年版)(以下「標準詳細図」という。)
- 建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)
- 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(建築工事編)(平成31年版)(以下「文科仕様書」という。)
- 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(建築工事編)(平成31年版)(以下「文科改修仕様書」という。)
- 工事写真撮影要領(令和元年7月)
-

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（　　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　　）図による。

2．特記仕様

（1）本特記仕様書の表記
1）項目は、⊙ 印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の　（　）　内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の　［　］　内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の　（（　））内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の　［［　］］内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）Ⓖ 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表１中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項目	特記事項

1 各章共通事項

⊙ 適用区分

⊙ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
⊙ 風圧力
風速（Vo= 34 m/s）
地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ⊙Ⅲ ・Ⅳ）
⊙ 積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（ 80cm ）

⊙ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者　(1.3.3～4)[1.3.3～4]

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

	項目名	電気保安技術者
1	第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	⊙
2	１級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
3	高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	⊙
4	旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	⊙
5	公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	⊙
6	第１種電気工事士の資格を有する者	⊙
7	２級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
8	第２種電気工事士以上の資格を有する者	⊙
9	短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	⊙

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

⊙ 施工条件　(1.3.5)[1.3.5]

この工事現場では、次の施工条件による。
⊙工事中止日
令和4年　月　日（　）、　月　日（　）

⊙ 発生材の処理等　(1.3.11)[1.3.12]

（1）引渡しを要するもの
1）品名
2）引渡し先
3）集積場所
（2）特別管理産業廃棄物
1）品名
2）処理方法
（3）現場において再利用を図るもの
1）品名
2）使用箇所
（4）再資源化を図るもの
1）品名　木くず
（5）その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。

⊙ 環境への配慮　(1.4.1)[1.4.1]

（1）建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－ｎ－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
（2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⊙ 材料の品質等　(1.4.2)[1.4.2]

（1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（2）備考欄に商品名が記載された材料は、同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
（3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
（4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造業者は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
（5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料

⊙ 技能士　(1.5.2)[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	
鉄筋工事	・鉄筋施工
コンクリート工事	・左官　・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ＡＬＣパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
ＰＣカーテンウォール工事	・カーテンウォール施工
防水工事	・防水施工
石工事	・石材施工
タイル工事	・タイル貼
木工事	⊙建築大工
屋根、とい工事	・建築板金　・スレート施工
金属工事	⊙内装仕上げ施工(鋼製下地)
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工　⊙ガラス施工
塗装工事	⊙塗装
内装工事	⊙内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等)　・表装
植栽工事	・造園

⊙ 施工の検査等　(1.5.5)[1.6.5]

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次について監督職員の検査を受ける。
⊙揮発性有機化合物等の室内濃度試験

⊙ 施工の立会い　(1.5.7)[1.6.7]

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。

施工の立会いを行う工程	備考
⊙基準位置及び基準地盤高さの設定時	
・試験杭における支持層土質の確認時	
・躯体コンクリートの試料採取時	
・鉄筋の圧縮試験試片の採取時、超音波探傷試験時	

⊙ 化学物質の濃度測定　(1.5.9)[1.6.9]

（1）室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定対象化学物質	指針値（両単位の換算は、25℃の場合による。）
ホルムアルデヒド	100μg/m³（0.08ppm）以下
トルエン	260μg/m³（0.07ppm）以下
キシレン	200μg/m³（0.05ppm）以下
エチルベンゼン	3800μg/m³（0.88ppm）以下
スチレン	220μg/m³（0.08ppm）以下

（2）測定対象室及び測定箇所数は以下表による。

棟名称	階	室名	採取本数
陵水会館	1	事務室	1
		セミナールーム(1)	1
	2		

（3）測定方法は、（⊙吸引方式（アクティブ法）・拡散方式（パッシブ法））により行う。

（4）文部科学省の「学校環境衛生基準」に基づき、採取は室内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で２回以上、拡散方式では８時間以上行う。

（5）測定結果が指針値を超えていた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定し、基準値以下であることを確認してから引渡しを行う。

⊙ 完成時の提出図書　(1.7.1～3)[1.8.1～3]

次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事目的物に関し使用するための権利については、発注者に委譲する。
⊙ 完成図（施工図、施工計画書を除く。）
CADデータ（電子納品）　1 部
A3版原図　1 部
A1版原図　　部
A3複写図（製本）　1 部
A1複写図（製本）　　部
⊙ 施工計画書
A4ファイル綴じ　1 部
・ 保全に関する資料
A4ファイル綴じ　　部
⊙ 施工図（次に示すものを標準とし、提出部数等は監督職員と協議による。）
~~鉄筋配筋図（納まり図含む）　一式~~
~~コンクリート躯体図　一式~~
~~鉄骨製作図　一式~~
~~カーテンウォール製作図　一式~~
~~機器製作図　一式~~
制御システム図　一式
試験成績書　一式
機器・配管固定の施工図　一式
建具製作図　一式
天井伏図施工図　一式

⊙ 工事写真（「工事写真撮影要領」による。）
原本（電子媒体）　1 部
アルバム（紙又は電子媒体）　1 部

⊙ 他工事又は他工種との取合い

・ 埋設配管・配線および鉄筋調査

工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。

あと施工アンカー工事
６章および８章による

コア抜き、はつり工事等
※ 既存資料調査
・ 探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管・配線等の位置の墨出を行う
範囲　※　図示　・
・ 放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
（1）作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
（2）放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
（3）露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
（4）付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
（5）躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数　　枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さ　　ｃｍ
・ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。

⊙ 完成写真
工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面１箇所	カラー印画紙キャビネ判		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ ※			
	電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）			
	カラー木製パネル半切（324×400mm）			
上記と異なる 外部：○箇所 内部：○箇所	カラー印画紙キャビネ判			
	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ ※			
	電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）			
外部：　箇所 内部：10箇所 程度	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ	1	1280× 960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	電子データ（JPEGフルカラー）	1		

注：※ のアルバムは併せて作成する。

電子納品は次の規定に従うものとする。
1） 貸与する設計図のＣＡＤデータは以下による。
著作者名：　国立大学法人　滋賀大学
ファイル形式：　JWW
貸与条件：貸与するＣＡＤデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。
2） 完成写真の撮影に関する著作者の権利等については次のｉ）及びｉｉ）によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。
ｉ）提出された写真は、国が行う事務及び国が認めた用途に関して、無償で利用することができるものとする。この際、著作者名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。
ii）受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真（提出していないものを含む。）及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。
3） 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
4） 電子成果品は、提出前に電子成果品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
5） 提出方法及びファイル形式は以下による。
電子媒体：ＣＤ－Ｒ又はＤＶＤ－Ｒ
ＣＡＤデータ：ＪＷＷ、ＤＸＦ及びＰＤＦ
上記の他、監督職員が認めた形式

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号 島田 廣巳

2 仮設工事

・騒音・粉じん等の対策

[2.1.3]

・防音パネル
・防音シート(南面のみ)
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・工事に必要な範囲　・

⊙ 足場等

[2.2.1][表 2.2.1]

⊙「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場　・設置する　(設置範囲　・工事に必要な範囲　・　　)
　　・設置しない
防護シート　・設置する　(設置範囲　・工事に必要な範囲　・　　)
　　・設置しない
内部足場　⊙設置する　(※ 脚立、足場板等　・　　)　・設置しない
・材料、搬去材等の運搬方法
　　種別 (・A 種　・B 種　・C 種　・D 種　・E 種)
　　C種：利用可能なエレベーター　(　　)
　　D種：利用可能な階段　(　　)

⊙ 既存部分の養生

[2.3.1]

1）養生方法等
⊙既存部分　養生方法　(・　※ビニルシート、合板)
・既存家具、既存設備等　養生方法　(・　※ビニルシート等)
・既存ブラインド、カーテン等　養生方法　(・ビニルシート等　・　)
　　保管場所　(・図示　・　)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動　(・図示　・　)
2）既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

⊙ 仮設間仕切り

[2.3.2][表 2.3.1]

1）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　⊙図示　・
2）仮設間仕切りの種別と材質等

種　別	仕上げ（厚さmm）	塗　装	充填
・A 種	・せっこうボード 種類(・　) 厚さ(・　mm　※ 9.5mm) ・合板 材種(・　) 厚さ(・　mm　※ 9mm) ・	・なし ・片面 ・	グラスウール 厚さ　(mm)
・B 種			
※ C 種	防炎シート		

3）仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材　質	仕上げ	塗　装	設置箇所
	・	・なし ・片面	・か所 ・図示
※ 木製	※ 合板張り程度		

3 防水改修工事

・施工数量調査

[1.5.2、3]

調査範囲　・図示　・
調査方法　・図示　・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・
調査報告書　提出部数：・２部　・

・降雨等に対する養生方法（とい共）

[3.1.3]

・
※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による。

・改修工法の種類及び工程

[3.1.4]

防水改修工法の種類　(・　)工法
シーリング改修工法の種類　(・　)工法

・既存防水の処理

[3.2.3、4、6]

既存保護層の撤去　・行う（範囲　・図示　・　)
　　・行わない
既存防水層の撤去　・行う（範囲　・図示　・　)
　　・行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う（・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X）
・行わない

・既存下地の処理

[3.2.6]

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　・図示
POS工法及びPOSI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置　・
　　※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(g)①～③による
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
・図示
※監督職員と協議する

・塗膜防水

[3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用	備考
・P0X	※X-1 ・X-2 ・		・ ・製造所の仕様による	・ ※製造所の仕様による	G	脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ドレン　・設ける　・設けない
・L4X	・X-1 ※X-2 ・		・ ・製造所の仕様による	・ ※製造所の仕様による		脱気装置　・設ける　・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類　・　　※主材料の製造所の仕様による
設置数量　・　個　※主材料の製造所の仕様による

工法	種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける　・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける　・設けない

⊙ シーリング

[3.1.4] [3.7.2、3、7、8]

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
　ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない
　エッジング材張り　・適用する　・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具廻り、パネル廻り	MS-2
ガラス廻り	SR-1

シーリング材の目地寸法
・
・図示
※改修標準仕様書3.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
シーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験

・とい

[3.8.2、3]

といその他の材種
・配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管　・ルーフドレン　・カラーVU
ルーフドレンの材種その他

種別	材種	張掛け幅
・ろく屋根用（・縦型　・横型）	・	・100mm以上　・50mm以上
・バルコニー用	・	・100mm以上　・50mm以上
・バルコニー中継用	・	・100mm以上　・50mm以上

とい受金物
材種　・　　※溶融亜鉛めっきを行ったもの
形状　・　　※市販品（とい径100以下）
　　※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
取付け間隔　・
足金物
材種　・　　※溶融亜鉛めっきを行ったもの
形状　・　　※市販品
取付け間隔　・
多雪地域の軒どい取付間隔　・適用する　・適用しない
ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・　・図示
鋼管製といの防露巻き　・　※改修標準仕様書表3.8.4による
たてどい受金物の取付け　・　※図示
ルーフドレンの取付け
・
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

4 外壁改修工事（共通事項）

・施工数量調査

[1.5.2、3]

調査範囲　・外壁改修範囲　・図示の範囲
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。

コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・
調査報告書の部数　・　２部

・ポリマーセメントスラリー

[4.2.2]

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢２８日)	曲げ性能 (材齢２８日)	吸水性 (７２時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
３ 以下	３% 以下	０．５ N/mm² 以上	５．０ N/mm² 以上	１５% 以下	５．０ N/mm² 以上

保水係数　０．３５～０．５５
粘調係数　０．５０～１．００

・既調合モルタル

[4.2.2]

モルタル下地とした外壁工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

4-1 外壁改修工事　コンクリート打放し仕上げ外壁

・ひび割れ部改修工法

[4.2.2][4.3.4～5][4.3.4]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (ml/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	・ ※ 200～300	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100 ・	・ 40 ・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200 ・	・ 70 ・
	0.5以上～1.0 以下	・ 150～250 ・	・ 130 ・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形
注入状況の確認方法　※コアの抜取りを行う

抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
　充填材料の種類　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・
　シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・ シール工法
　・ パテ状エポキシ樹脂　・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法

[4.1.4][4.2.2]

・
・ 充填工法
　・ エポキシ樹脂モルタル
　・ ポリマーセメントモルタル
　・

4-2 外壁改修工事　モルタル塗り仕上げ外壁

・既存モルタル塗りの撤去

・行う（※ 全面　・ 図示の範囲）

・ひび割れ部改修工法

[4.1.4][4.4.2][4.4.5、6]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (ml/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※ 200～300　・	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100　・	・ 40　・
	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200　・	・ 70　・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0 以下	・ 150～250　・	・ 130　・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形
注入状況の確認方法　※コアの抜取りを行う
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・

・ Uカットシール材充填工法
・シーリング材
　充填材料の種類　・図示　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・
　シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・ シール工法
　・ パテ状エポキシ樹脂
　・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法

[4.1.4][4.4.2][4.4.9]

・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８－２　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材　・使用する（形状　・図示　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

・ 浮き部改修工法

[4.1.4][4.2.2][4.4.10～15]

工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(ml/箇所)
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 16	・ ※ 25	―	―	・ ※ 25
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 13	・ ※ 20	・ ※ 12	・ ※ 20	・ ※ 25
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※ 13	・ ※ 20	・ ※ 12	・ ※ 20	・ ※ 50
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	―	―	・ ※ 25
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 25
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 50
・充填工法	―	―	―	―	―
・モルタル塗替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピンの材質
・
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

注入口付アンカーピンの材質
・
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度　・

充填工法
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８－２　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材　・使用する（形状・図示　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

4-4 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

・既存塗膜等の除去
下地処理及び下地調整

[4.6.3]

工　法	処理範囲	下地面の補修
・ サンダー工法	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	・ひび割部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・ 高圧水洗工法 加圧力 ※30～50MPa程度	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	
・ 塗膜はく離剤工法	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	
・ 水洗い工法	・ 図示 ※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面	

・下地調整塗材

[4.6.3]

※ 下地調整塗材
・ ポリマーセメントモルタル

・仕上塗材仕上げ

[4.1.5][4.2.2][4.6.5][表4.2.4]

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
新規仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	吸放湿材	防火材料
・外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状	・適用する ・適用しない	・
・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・ゆず肌状 （・吹付け　・ローラー塗り）		・
・外装薄塗材Ｅ			・
・可とう形外装薄塗材Ｅ	・さざ波状		・
・防水形外装薄塗材Ｅ	・平たん状		・
・外装薄塗材Ｓ	・凹凸状 （・吹付け　・こて塗り）		・
	・着色骨材砂壁状 （・吹付け　・こて塗り）		

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	吸放湿材	上塗材	防火材料
・外装厚塗材Ｃ	・吹放し	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・
・外装厚塗材Ｓｉ	・凸部処理			・
・外装厚塗材Ｅ	・平たん状 （・こて塗り　・ローラー塗り）			・
	・凹凸状 （・こて塗り　・ローラー塗り）			・
	・ひき起こし （・こて塗り　・ローラー塗り）			
	・かき落とし			

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状	溶媒 ※水系 ・ 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・メタリック ・	・ ※耐候形３種	・
・可とう形複層塗材ＣＥ	・凸部処理			・
・複層塗材Ｓｉ	・凹凸状			・
・複層塗材Ｅ				・
・複層塗材ＲＥ				・
・防水形複層塗材ＣＥ				・
・防水形複層塗材Ｅ				・
・防水形複層塗材ＲＥ				・

・可とう形改修用仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・可とう形改修塗材Ｅ	・平たん状	溶媒 ※水系 ・ 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・メタリック ・	・ ※耐候形３種	・
・可とう形改修塗材ＲＥ	・さざ波状			・
・可とう形改修塗材ＣＥ	・ゆず肌状			・

・製造所
内装用多意匠装飾仕上塗材　エスケー　ベルアートＩＮ(ｱｲｴﾇ)(ゆず肌)　同等品

・マスチック塗材塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種

[4.1.5][4.7.2][表4.7.1]

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち　3 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺　－				
	・		図面名称	建築改修工事特記仕様書(2)	作成　令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房 TAKUMI KÔ BÔ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	整理番号
島田　廣巳	製　図	担　当	受領年月日	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３) 図面名称：建築改修工事特記仕様書(2)　縮尺	56 ― 3 図面番号：特 ― 2

・ 外壁用塗膜防水材塗り

[4.1.5][4.2.2][4.8.2][表4.2.6]

外壁用塗膜防水塗り
仕上げの形状・　　工法・
外壁用仕上塗材の耐候性
※JIS A 6909の耐候形1種相当
下地挙動緩衝材の適用　・適用する　・適用しない
吹付け工法の模様材の種類　・　　・所要量　　(kg/㎡)
外壁用仕上塗料の種類　・　　・所要量　　(kg/㎡)

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による

モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

5 建具改修工事

・ 改修工法

[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・ アルミニウム製建具		・	・	・ 建具表による　・
・ 樹脂製建具		―	・	・ 建具表による　・
・ 鋼製建具	・ 外部	・	・	・ 建具表による　・
	・ 内部	・	・	・ 建具表による　・
・ 鋼製軽量建具		・	・	・ 建具表による　・
・ ステンレス製建具		・	・	・ 建具表による　・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方　※図示　・
新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示　・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による

・ 防火戸

[5.1.4]

・指定する　適用箇所（・建具表による　・　　）
・指定しない
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる（・建具表による　・　　）
・連動させない

・ 見本の製作等

[5.1.5]

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　・行わない
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等がわかる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）　・行わない

・ 防犯建物部品

[5.1.7]

・適用する（　　）　適用箇所（・建具表による　・　　）
・適用しない

・ アルミニウム製建具

[5.2.2～5][表 5.2.2]

性能値等
耐風圧性の等級　（　　）
気密性の等級　（　　）
水密性の等級　（　　）

外部に面する建具の種別
・A種（建具符号：・建具表による　・　　）
・B種（建具符号：・建具表による　・　　）
・C種（建具符号：・建具表による　・　　）
枠の見込み寸法　・建具表による

防音ドア,防音サッシ　遮音性の等級（・　　）

断熱ドア,断熱サッシG　断熱性の等級（・　　）

耐震ドア　面内変形追随性の等級（・　　）

表面処理
外部に面する建具　・BB-1　・BB-2
着色　・標準色（　　）・特注色（　　）

屋内の建具　・BC-1　・BC-2
着色　・標準色（　　）・特注色（　　）

ステンレス鋼板　・　　※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
結露水の処理方法　・図示　・
水切り板、ぜん板　・図示　・

⊙ 網戸等

[5.2.3、5.3.3]

種類	材種	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

⊙既存網戸の張替部分で、現場係員の承認を受けたものは防虫網(合成樹脂製)とする

・ 樹脂製建具

[5.2.2][5.3.2～5]

性能値等
耐風圧性の等級　（　　）
気密性の等級　（　　）
水密性の等級　（　　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号：・建具表による　・　　）
・B種（建具符号：・建具表による　・　　）
・C種（建具符号：・建具表による　・　　）
枠の見込み寸法　・建具表による
防音ドア　・　防音サッシ　遮音性の等級（・T－1　・T－2）
断熱ドア　・　断熱サッシG　断熱性の等級（・H－4　・H－5　・H－6　　）

表面色　・標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示　・
ガラス　※複層ガラス

・ 鋼製建具

[5.2.2][5.4.2～4][表 5.4.2]

性能等級
簡易気密型ドアセット　・適用する
（建具符号：・建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号：・建具表による　・　　）
・S-5（建具符号：・建具表による　・　　）
・S-6（建具符号：・建具表による　・　　）

防音ドア　・　防音サッシ　遮音性の等級（　　）
断熱ドア　・　断熱サッシG　断熱性の等級（　　）
耐震ドア　面内変形追随性の等級（　　）

鋼板の厚さ　・　mm
※改修標準仕様書表5.4.2による

ステンレス鋼板　・　　※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI

・ 鋼製軽量建具

[5.2.2][5.5.2～4]

性能等級
簡易気密型ドアセット　・適用する
・適用しない
防音ドア　・　防音サッシ　遮音性の等級（　　）
断熱ドア　・　断熱サッシG　断熱性の等級（　　）
耐震ドア　面内変形追随性の等級（　　）

鋼板の種類　・亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ　・　mm
・改修標準仕様書表5.5.1による
ステンレス鋼板・　　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
召合せ、縦小口包み板の材質
※鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金の押出形材

・ ステンレス製建具

[5.2.2] [5.4.2] [5.6.2～5]

性能等級
簡易気密型ドアセット　・適用する
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4
・S-5
・S-6

防音ドア　・　防音サッシ　遮音性の等級（　　）
断熱ドア　・　断熱サッシG　断熱性の等級（　　）
耐震ドア　面内変形追随性の等級（　　）
ステンレス鋼板・　　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
表面仕上げ　※HL　・鏡面仕上げ　・
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

⊙ 建具用金物

[5.7.1～3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書表5.7.1により適用は建具表による。

金属製建具用丁番の枚数及び大きさ　・建具表による
※改修標準仕様書表5.7.2による

樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ　・建具表による
※改修標準仕様書表5.7.3による

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置　・建具表による　・

・錠前類　(シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠)

⊙錠前類　(レバーハンドル)
⊙製造所　レバーハンドル　UL448　(株)ユニオン　同等品
レバーハンドル(電気錠)　22型(黒色)　美和ロック(株)　同等品
ドアハンドル　T260-56-205　(株)ユニオン　同等品

[5.7.4]

・クローザ類
⊙その他　オートドアボトム
⊙製造所　ボトムタイトナー　NDB-□□□　(株)中尾製作所　同等品

⊙ 鍵

マスターキー　・製作する　・製作しない
⊙ 既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数　※ 各室3本1組　・
鍵箱　・無　・有

⊙ ガラス

[3.7][5.13.2～4]

⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

・型板ガラスの厚さによる種類
・建具表による

・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類
・建具表による
形状による種類
・平面合わせガラス　・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称
・建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類及び厚さによる種類
・建具表による
性能による種類
・1種　・2種

⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
断熱性による区分
・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G　・S
乾燥気体の種類
・空気　・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
日射熱遮へい性による区分
・1種　・2種　・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A種　・B種
映像調整　・行わない　・行う

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による

⊙ ガラス用フィルム

種類	記号		その他性能等
	内貼り用	外貼り用	
・日射調整フィルムG	・SC－1	・SC－2	
・低放射フィルム	・LE		
⊙衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	⊙GI－1	・GI－2	
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD－1	・GD－1	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質　JIS A 5759による

6 内装改修工事

⊙ 改修範囲

[6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・ 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・ 図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま　・ 図示

・ 既存床の撤去及び下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去　※ 仕上材のみ（接着剤とも）
・ 下地モルタルとも（・ 図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法　・ 機械的除去工法　・ 目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲　※ 図示　・ 改修箇所の室内　・

・ 既存壁の撤去及び下地補修

[6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
・
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
（塗り厚25mmを超える場合の処置　※図示）

⊙ 木下地等の表面仕上げ

[6.5.1]

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・A種 ・B種 ・C種	
手加工	・H－A種 ・H－B種 ・H－C種	

⊙ 製材G

[6.5.2]

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			・ ※2級		※A種 ・B種		・
			・ ※2級		※A種 ・B種		・
			・ ※2級		※A種 ・B種		・

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面			・ ※上小節		※A種 ・B種		・
見え掛り面以外			・ ※小節以上		※A種 ・B種		・
					※A種 ・B種		・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※1級 ・		※ 10%以下 ・A種 ・B種		・
			※1級 ・		※ 10%以下 ・A種 ・B種		・
			※1級 ・		※ 10%以下 ・A種 ・B種		・

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			(　　) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・
			(　　) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・
			(　　) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・

⊙ 造作用集成材G

[6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　⊙ F☆☆☆☆
⊙「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
額縁・見切	米松	25・30		※1等 ・2等	・
				※1等 ・2等	・
				※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
	化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
	化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・
	化粧薄板： 芯材：				・
	化粧薄板： 芯材：				・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				・ ※15%以下	・
				・ ※15%以下	・
				・ ※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・

・造作用単板積層材G

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・

[6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

造作用単板積層材

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（加工　・天然木化粧加工・塗装加工）	・適用する	・
		・無し（等級：　　）	・適用しない	
		・有り（加工　・天然木化粧加工・塗装加工）	・適用する	・
		・無し（等級：　　）	・適用しない	

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		・有り （加工　・天然木化粧加工 ・塗装加工）	・適用する ・適用しない	※14%以下	・
		・無し（　　）			
		・有り （加工　・天然木化粧加工 ・塗装加工）	・適用する ・適用しない	※14%以下	・
		・無し（　　）			

・ＣＬＴ（直交集成板）G

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・
							・

㊀床張り用合板等

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　⊙F☆☆☆☆　[6.5.2]

㊀普通合板G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	・ ※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ・ ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・
	・					・
	・					・

・構造用合板G

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	・ ※12	・1級 ※2級以上		※１類 ・特類	・ ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する （　　） ・適用しない	・
	・	・		※１類 ・特類	・	・適用する ・適用しない	・適用する （　　） ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※１類　・特類		・
					・
					・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※１類　・２類	・適用する （　　）	・
					・
					・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用
		※１類　・特類			・適用する （　　）	・
						・
						・

・パーティクルボードG

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	・ ※15		・ ※13タイプ	・ ※P又はM	

・構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等級
		・１級　・２級　・３級　・４級
		・１級　・２級　・３級　・４級

・ＭＤＦG

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						・

⊙接着剤　[6.5.3、4] [6.8.2] [6.9.2] [6.11.4、5]

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　⊙F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示　・

・防腐・防蟻処理　[6.5.5]

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位：（　　）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の方法
	・ ※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②?～?による	※JIS K 1571に適合 又は同等品
	・	
	・	

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　　）

⊙軽量鉄骨天井下地　[6.6.2～4]

野縁等の種類
屋外（※ 25形　・ 19形）　屋内（※ 19形　・ 25形）
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示　・
周辺部の端からの間隔　・図示　・
野縁の間隔　・図示　・

既存の埋込みインサート　・使用する　・使用しない
あと施工アンカーの確認試験
・行う（試験箇所数　・　　箇所
※屋内の場合、当該階において3箇所　　）
（確認強度　・　　N
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度）
・行わない
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法　※図示　・
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法
・
※改修標準仕様書6.6.4(8)による
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　※図示
・天井の下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所　※図示　・
補強方法　※図示　・

・軽量鉄骨壁下地　[6.7.3、4] [表6.7.1]

スタッド、ランナーの種類

※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　・
出入口及びこれに準じる開口部の補強
・
※標準仕様書6.7.4(5)による

⊙ビニル床シートG　[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	・無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ⊙柄物	※ 2.0 ・	

目地処理する場合の工法　・　　※熱溶接工法
⊙製造所：
F-7・8(一般)　東リ(株)　フロアリュームマーブル
(株)サンゲツ　エスリューム・ミスト
(株)タジマ

F-6(抗菌消臭)　東リ(株)　NS消臭トワレNW
(株)サンゲツ　消臭レストリューム
(株)タジマ　消臭ウエルクリーン

・ビニル床タイルG　[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ＴＴ （単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・ 2.0 ・	
・ＦＴ （複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0	
※ＫＴ （ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・ 2.0 ・ 3.0	
・ＦＯＡ （置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・ＦＯＢ （薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・	・	

・特殊機能床材　[6.8.2]

・帯電防止床シート
種類　（　　）
性能　（　　）
厚さ　（　　mm）
・帯電防止床タイル
種類　（　　）
性能　（　　）
寸法　厚さ　（　　×　　mm）
・視覚障害者用の床タイル
種類　（　　）
形状　（　　）
突起の形状、寸法及びその配列はJIS T9521による
・耐動荷重性床シート
種類　（　　）
厚さ　（　　mm）
・防滑性床シート
種類　（　　）
厚さ　（　　mm）
・防滑性床タイル
種類　（　　）
寸法　厚さ　（　　×　　mm）

⊙ビニル幅木　[6.8.2]

材質の種類　・軟質　・硬質
高さ(mm)　※60　・75　・100
厚さ(mm)　※1.5以上

・ゴム床タイル　[6.8.2]

種類　・単層品　・積層品
色柄　（　　）
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　　）

⊙カーペット敷きG　[6.9.2、3] [表6.9.1]

⊙織じゅうたん

織り方	パイルの形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル

色柄（・　　※模様のない無地）
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種）
帯電性　・適用する　・適用しない

織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法
下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm

⊙製造所　F-4(集会室)　(株)サンゲツ

㊀タフテッドカーペット

パイルの形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・5～7　・	・全面接着工法	・適用する	
・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	・4～6　・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ 工法	・適用しない	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・
~~⊙製造所　F-5(階段室(1))　(株)サンゲツ　サンオンダス　同等品~~

・ニードルパンチカーペット
厚さ(mm)（　）
帯電性　・適用する
・適用しない
備考（　　）

⊙タイルカーペット

パイルの形状	種別	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ ループパイル	※ 第一種 ・第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カットパイル	・第一種 ・第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方　平　場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
⊙製造所　東リ(株)　GA-100　同等品
見切り、押え金物
材質（~~階段室(1)：木製~~　集会室:木製巾木　ＯＡフロア室:アルミ製）
種類（　　）
形状等　※図示　・

・合成樹脂塗床　[6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

⊙フローリング張りG　[6.11.2～6]

⊙単層フローリング（フローリングボード１等）
工法　⊙釘留め工法　(⊙根太張り　・直張り)
・接着工法
樹種　※なら
間伐材等の適用　・適用する　⊙適用しない

・単層フローリング（フローリングブロック1等）
樹種
厚さ
大きさ
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

⊙複合フローリング
工法　・釘止め工法　（・根太張り　・直張り）
⊙接着工法
樹種　・　※なら
種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
間伐材等の適用　・適用する　⊙適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・
接着工法の場合の裏面緩衝材　※合成樹脂発泡シート　・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

⊙製造所：
F-2(⊙15 緑甲板(店舗用))　ボード(株)　ワイルド無垢ナラ(WNB-444)　同等品

⊙せっこうボード、その他のボード及び合板張り　[6.13.2、3]

合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　⊙F☆☆☆☆

種類等	厚さ(mm)、規格等
・ 木質系セメント板G	
・ 木毛セメント板 ・ 硬質　・ 中質　・ 普通	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ 木片セメント板 ・ 硬質　・ 普通	・ 12　・ 15　・ 18　・ 21　・30　・
・ 繊維板G	
・ ＭＤＦ（普通）	・ 3　・ 7　・ 9　・ 12　・
・ ハードボード（素地）	・未研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＮ ・研磨板　（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＳ
・ ハードボード（化粧）	・内装用ＤＩ　・外装用ＤＥ ・ 2.5　・ 3.5　・ 5　・ 7
・ インシュレーションボード	A級（天井仕上げ　・内装仕上げ　・　　） ・ 9　・ 12　・ 15　・ 18
・	・
・ パーティクルボードG	
・ 単板張りパーティクルボード	・ 無研磨板ＶＮ　・ 研磨板ＶＳ ・10　・ 12　・ 15　・ 18
・ 化粧パーティクルボード	・ 単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲＤＶ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲＤＯ ・ 塗装ＤＣ ・ 10（難燃）・ 12（難燃）・
・	・
・ 吸音材料	
・ ロックウール化粧吸音板	・ フラットタイプ（・ 9(不燃)・ 12(不燃)　・　　） ・ 凹凸タイプ（・ 12(不燃)　・ 15(不燃)　・　　）
・ ロックウール吸音ボード（1号）	・ 25　・
・ グラスウール吸音ボード（32Ｋ）	・ 25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包）　・
・	・
⊙ せっこうボード	
⊙ せっこうボード	※ 12.5（不燃）　・ 15（不燃）
⊙ 不燃積層せっこうボード	9.5（不燃）　⊙化粧無（下地張り用） ⊙化粧有（トラバーチン模様）
⊙ シージングせっこうボード	12.5（・不燃　・準不燃）
⊙ 強化せっこうボード	・ 12.5（不燃）　⊙ 15（不燃）
・ せっこうラスボード	9.5
・ 化粧せっこうボード	・ 木目　12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・ 柾目　・ 板目）　専用下地材有り ・ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様　9.5（準不燃）
・	・
⊙ 普通合板G	表板の樹種名　・ 板面の品質（　　） 厚さ　※図示　・ 接着の程度　・1類　・2類 防虫処理　・行う　・行わない
・ 天然木化粧合板G	化粧板の樹種名 厚さ　※図示　・ 接着の程度　・1類　・2類 防虫処理　・行う　・行わない
・ 特殊加工化粧合板G	化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　・　） 表面性能 厚さ　※図示　・ 接着の程度　・1類　・2類 防虫処理　・行う　・行わない
⊙ けい酸カルシウム板（タイプ 2）	⊙ 6　・ 8　・
⊙ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による　（※ 1.2　・　　）
⊙ ポリエステル樹脂化粧板	・
・	・

⊙製造所　メラミン化粧板　アイカエ業(株)　アイカセラール(木目調)　同等品
ポリエステル樹脂化粧板　アイカエ業(株)　アイカラビアンポリ(木目調)　同等品
キッチンパネル　アイカエ業(株)　アイカセルサス　同等品
せっこうボード等の下地は図示による。

訂正	月	日	
	・		
	・		
	・		

工事名称　滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)
図面名称　建築改修工事特記仕様書(4)
56 枚のうち　5 号
縮尺　-
作成　令和4年3月

課長	副課長	係長	係員

滋賀大学施設管理課

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055

設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	整理番号
島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 5
				図面名称：建築改修工事特記仕様書(4)　縮尺	図面番号 特 — 4

遮音シール材　・適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
・適用しない
合板類の張付け　※B種　・A種
せっこうボードの目地工法　・仕上表による　・

⊙ 壁紙張り　[6.14.2、3]

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外

施工箇所	壁紙の種類					防火性能				備考
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他					
集会室（壁・天井）	・	⊙	・	・	・	※ 不燃・	準不燃・	難燃	SSクラス	
~~教材開発室（壁・天井）~~	~~・~~	~~・~~	~~・~~	~~・~~	~~⊙~~	~~※ 不燃・~~	~~準不燃・~~	~~難燃~~	~~ﾎﾟﾘﾋﾞﾆﾙﾚｻﾞｰﾄｸﾛｽ~~	
~~ホール（1）~~	~~・~~	~~・~~	~~・~~	~~・~~	~~・~~	~~※ 不燃・~~	~~準不燃・~~	~~難燃~~	~~掲示板用クロス~~	
	・	・	・	・	・	※ 不燃・	準不燃・	難燃		

モルタル・プラスター面の下地調整の種別　※RB種　・
コンクリート面の下地調整の種別　※RB種　・
せっこうボード面の下地調整の種別　※RB種　・

⊙製造所
ビニールクロス(SS)：(株)サンゲツ　エクセレクト(定価¥　　程度)　同等品
~~ホワイトボードシート：(株)リンゲツ　TH1000　同等品~~
~~掲示板用クロス：(株)リンゲツ　サンフォームバーシック　同等品~~

・ モルタル塗り　[6.15.3、5、6]

モルタル　・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８－２　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（※図示　・　　）
・設けない
床目地　・設ける（工法※押し目地　・　　）
（目地割り　※２㎡程度　・　　）
（最大目地間隔　※３ｍ程度　・　　）
・設けない

・防水剤

壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・

⊙ タイル張り　[6.16.2～4]

伸縮調整目地の位置　床タイル　（※縦、横とも4m以内ごと　・図示　・　　）
床タイル以外　（・図示　・　　）
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書3章による
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり	役物		色			再生材料の適用G	耐凍害性		耐汚性	滑り性	備考
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無			
暖炉	227×40	・	・	・	・	・	⊙	・	・	・	・	・	・	・	・	
暖炉	47×47	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
暖炉	150×150	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
ｽﾛｰﾌﾞ（外構）	100×100	・	・	・	・	・	⊙	・	・	・	・	・	・	⊙		

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

・既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

・既調合目地材

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり	役物		色			再生材料の適用G	耐凍害性		耐汚性	滑り性	備考
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無			
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

内装タイル接着　~~類~~い使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

⊙製造所　タイル　層土彩　YES-※　(227×40)　(株)ダントー　同等品
タイル　デミルーン　STB-※　(47×47)　(株)ダントー　同等品
タイル(150×150)　同等品
タイル(100×100)　ピアッツアOXシリーズ(ノンスリップ)　同等品

・ セルフレベリング材塗り　[6.17.2、3]

種類及び品質　・せっこう系　・セメント系
標準塗厚(mm)　・

7 塗装改修工事

・ 材料　[7.1.3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

⊙ 下地調整　[7.2.1～7]

塗替えＲＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の30%　・図示　・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査　・行う（　　箇所）
・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※ＲＢ種　・	・ＲＡ種・ＲＢ種	―
鉄鋼面	※ＲＢ種　・	ＲＡ種	―
亜鉛めっき鋼面	※ＲＢ種　・	ＲＡ種	―
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※ＲＢ種　・	ＲＣ種	―
モルタル、プラスター面	※ＲＢ種　・	・ＲＡ種・ＲＢ種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※ＲＢ種　・	ＲＡ種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・ＲＡ種・ＲＢ種 ・ＲＣ種・	・ＲＡ種・ＲＢ種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・ＲＢ種・ＲＣ種	・ＲＡ種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※ＲＢ種　・	・ＲＡ種・ＲＢ種	―

⊙ 錆止め塗料塗り　[7.3.2、3]

錆止め塗料塗りの種別

塗装面			塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	Ａ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り	Ａ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ	Ａ種	※Ｂ種　・
	EP-G	塗替え	※Ｂ種　・Ａ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り	※Ｂ種　・Ａ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ	※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・
亜鉛めっき鋼面	EP-G以外	塗替え	※Ａ種　・Ｂ種	※Ｃ種　・
		新規鋼製建具等	※Ａ種　・Ｂ種	※Ａ種　・
	EP-G	塗替え	Ｃ種	※Ｃ種　・
		新規鋼製建具等	Ｃ種	※Ａ種　・

・製造所 ~~屋根既存水切：(株)BAN-ZI　リビキラー　同等品~~

⊙ 塗装　[7.4.2～7.14.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種類 ※1種　・2種	木部屋外	※B種　・	※A種　・
	木部屋内	※B種　・	※B種　・
	鉄鋼面	※B種　・	※B種　・A種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種　・	※B種　・
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種　・	※B種　・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	※B種　・A種
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		―	―
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	※B種　・A種
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（　）級	・	A種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　）級	・	A種
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等	※B種　・	・A種　・B種
	屋内の木部	※B種　・	※A種　・
	屋内の鉄鋼面	※B種　・	・A種　・B種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種　・	・A種　・B種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・	・A種　・B種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種　・	・A種　・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・A種	※B種　・A種
・オイルステイン塗り(OS)　塗料（　・油性　・水性）		―	―
⊙木材保護塗料塗り(WP)		※B種　⊙A種	※B種　⊙A種

⊙製造所 ~~外部WP(図中WPSと表記)　日本ﾍﾟﾝﾊﾞｲﾛﾃｸﾉｶﾙｽﾞ(株)　ｷﾝﾗﾃﾞｺｰﾙｺﾝﾃﾘｱﾌｧｲﾝ　同等品~~
内部WP(図中WPSと表記)　日本ﾍﾟﾝﾊﾞｲﾛﾃｸﾉｶﾙｽﾞ(株)　ｷﾝﾗﾃﾞｺｰﾙｲﾝﾃﾘｱﾌｧｲﾝ　同等品
2液速乾弱溶剤形変成エポキシ系さび止め塗料　菊水化学工業　キクスイSPパーフエポ　同等品
2液弱溶剤形オールマイティウレタン樹脂塗料　菊水化学工業　キクスイSPパワーウレタン(3分ツヤ)　同等品
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
・
※改修標準仕様書7.9.1の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
・
※改修標準仕様書7.10.1の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする
・高日射反射率塗料塗り G
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2）　・ＲＡ種　※ＲＢ種　・ＲＣ種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	２種	・１級 ・２級 ・３級	塗料製造所の仕様による

8 耐震改修工事　共通事項

・ 適用範囲

・改修標準仕様書　第８章　耐震改修工事
・改修標準仕様書において第８章耐震改修工事以外の改修工事で第８章を引用している部分
・
工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事　（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・柱補強工事　（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・連続繊維補強工事
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・

・ 既存部分の処理等

既存構造体の撤去　[8.21.2][8.22.2][8.23.2][8.24.4][8.25.2]
撤去範囲
・図示による（　　）　・
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による（　　）　・
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲　[8.21.3][8.22.3][8.23.3]
・既存柱、梁面
・打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・既存壁
・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を、全体にわたってつける。

既存杭の撤去等　[8.28.2]
・撤去範囲及び撤去方法　・図示による（　　）　・
・杭頭部の処理　・図示による（　　）　・
・既存杭の補強　・図示による（　　）　・
・既存杭の健全性を確認する試験
・行う　・図示による（　　）　・
・行わない

8-1 鉄筋工事

⊙ 鉄筋　[8.2.1]

鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径(mm)	備考
⊙ SD295A		
・ SD345		
・		
・		

・ 溶接金網　[8.2.2]

鉄線の形状等

種類	種類の記号	網目寸法、鉄線の経(mm)	使用部位
・ 溶接金網			
・ 鉄筋格子			

・ 鉄筋の継手及び定着　[8.3.4][8.4.2,3]

鉄筋の継手の方法等

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ ガス圧接　・ 機械式継手 ・ 溶接継手	
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手　・	
その他の鉄筋（　　）	⊙ 重ね継手　・	

継手位置
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
・
柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1 表3.1）
・　[8.3.4]
耐力壁の重ね継手の長さ
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1 表3.1）　[8.3.4]
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1(a)(3)）
・
鉄筋の定着長さ　[8.3.4]
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1(b)）

⊙鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む）

最小かぶり厚さ　[8.3.5]
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）表4.1）
・

軽量コンクリートを適用する場合
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm
・

耐久性上不利な箇所がある場合（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm
・

・ 圧接完了後の試験　超音波探傷試験　[8.3.8]
※行う（全圧接部）

・ 機械式継手　適用箇所
・図示による（　　）
H12建告第1463号に適合する性能　[8.4.2]
・A級
機械式継手の種類　[8.4.2]
・図示による（　　）

・ 溶接継手　適用箇所
・図示による（　　）
H12建告第1463号に適合する性能　[8.4.3]
・A級
溶接継手の工法　[8.4.3]
・図示による（　　）

・ 割裂補強筋　仕　様　[8.21.6][8.22.7]
・図示による（　　）　・

8-2 コンクリート工事

⊙ コンクリートの種類　コンクリートの類別　[8.1.3]
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

⊙ コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等

⊙普通コンクリート　[8.1.3,4][8.2.5]

設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m³)	適用箇所
⊙24	⊙18	⊙2.3程度	スロープ・舗装
・	・	・	

構造体強度補正値　・　　※改修標準仕様書8.2.4による

・軽量コンクリート　[8.1.3,4][8.2.5][8.9.2]

設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m³)	種類	適用箇所
・	※ 21	・	・1種　・2種	
・	・	・		

構造体強度補正値　・　　※改修標準仕様書8.2.4による

⊙ セメント　種　類　[8.2.5]
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種　適用箇所（　　）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352Ｊ/ｇ 以下、かつ28日目で 402Ｊ/ｇ 以下のものとする
・高炉セメントB種 G　適用箇所（　　）
・フライアッシュセメントB種 G　適用箇所（　　）
・

⊙ 骨　材　アルカリシリカ反応性による区分　[8.2.5]
※A　・B

⊙ 混和材料　・混和剤　[8.2.5]
混和剤の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による　・
・混和材　[8.2.5]
混和材の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による　・

・ 構造体用モルタル　構造体用モルタル　[8.2.6]
圧縮強度（　　）
フロー値（　　）

・ 暑中コンクリート　構造体強度補正値　※6N/mm²　・　[8.10.2]

・ マスコンクリート　適用箇所　(6.13.1)
・図示による（　　）　・
セメントの種類　(6.13.2)
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
・シリカセメント
・

混和材料
・混和剤　(6.13.2)
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による
・
・混和材　(6.13.2)
混和材の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による
・
スランプ　(6.13.2)
※ 15cm

構造体強度補正値　・　　※標準仕様書表6.13.1による

⊙ 無筋コンクリート　コンクリートの種類
・　　※普通コンクリート
設計基準強度　[8.11.1]
※18N/mm²　・
スランプ　[8.11.1]
※15cm又は18cm　・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
適用箇所
・図示による（　　）　・

・ 流動化コンクリート　適用箇所　(6.15.1)
・図示による（　　）　・

・ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地　打継ぎの位置　(6.6.4)
・図示による（　　）　・
目地寸法
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
・図示による（　　）
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法　(6.8.1)
・図示による（　　）　・

・構造体コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4]

種　別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

コンクリートの仕上がりの平たんさ [8.1.4]

種　別	適用箇所
・a種	
・b種	
・c種	

・打増し厚さ（打放し仕上げ部）

・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) [8.7.8]
　・20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
　・10mm　・20mm

⊙型枠

せき板の材料及び厚さ [8.2.7]
　⊙合板(※12mm　・　)G
　・

・断熱材を兼用した型枠材
　使用箇所 (6.8.2)
　・図示による(　　)　・
・ＭＣＲ工法用シート (6.8.2)
　打増し厚さ
　・20mm
　打増し範囲
　・図示による(　　)　・

スリーブの材種・規格等 [8.2.7]
・図示による(　　)　・

・型枠の加工及び組立

シアコネクタをセパレーターとして使用 [8.7.8]
　使用箇所　・図示による（　　）　・

・コンクリートの打込み工法等

コンクリートの打設工法の種類 [8.21.8] [8.23.5]

補強工法	打設工法	部位
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁　・図示による(　)
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	・全ての増設壁　・図示による(　)
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3)	・全ての増設壁　・図示による(　)
	・	・図示による(　)　・
・柱補強工事（溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法）	・工法指定なし	・全ての柱補強部分　・図示による(　)
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	・全ての柱補強部分　・図示による(　)
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3)	・全ての柱補強部分　・図示による(　)
	・	・図示による(　)　・
・	・工法指定なし	
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3)	

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等 [8.23.6]
　柱頭及び柱脚の隙間の寸法
　・図示による(　　)　・
　柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠
　・発泡プラスチック保温材等を埋込む
　・
　既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ
　・図示による(　　)　・
　補強後の仕上げ [8.23.7]
　・図示による(　　)　・

8-4 あと施工アンカー工事

⊙あと施工アンカー

材料等 [8.2.4]
・金属系アンカー
　・引張耐力　・　kN　・図示による(　　)
　・せん断耐力　・　kN　・図示による(　　)
　アンカー本体の径及び埋込み長さ
　・図示による(　　)　・
　セット方式　※本体打込み式改良型　・
　接合筋の種類、径、長さ
　・図示による(　　)　・
　・性能確認試験
　　試験方法及び試験数
　　・図示による(　　)　・

⊙接着系アンカー
　・引張耐力　・　kN　・図示による(　　)
　・せん断耐力　・　kN　・図示による(　　)
　アンカーの種類　※カプセル方式回転・打撃式　・
　接着剤の品質
　・有機系　・無機系
　アンカー筋の径及び埋込み長さ
　・図示による（　　）　・
　アンカー筋の種類
　・
　アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
　・図示による(　　)　・
　・性能確認試験
　　試験方法及び試験数
　　・図示による(　　)　・

・穿孔

埋込み配管等の探査方法 [8.12.4]
　・鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
　・はつり出しによる
　・

・施工確認試験

試験方法 [8.12.7]
　※引張試験機による引張試験
　　確認強度
　　・図示による（　　）
　・

8-8 土工事及び地業工事

⊙埋戻し及び盛土

埋戻し及び盛土 [8.28.3]
　・A種　適用場所(　　)
　・B種　適用場所(　　)
　・C種　適用場所(　　)　土質(　　)　受渡場所(　　)
　・D種　適用場所(　　)
　・材料（　　）　工法（　　）　適用場所（　　）

・山留めの撤去

鋼矢板等の抜き跡の処理 [8.28.3]
　※直ちに砂で充填する　・
山留めの存置
　・行う(存置範囲　※図示による（　　））

・杭地業

支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） [8.28.4]
　・図示による(　　)　・
杭の材料、工法、寸法、施工方法等 [8.2.14][8.28.4]
　・図示による(　　)　・
・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 [8.28.4]
　・図示による(　　)　・
・杭の継手の箇所数、材料、工法等 [8.2.14]
　・図示による(　　)　・
・杭の溶接継手 [8.28.4]
　技能資格者の技量　・図示による(　　)　・
　溶接部の確認　・図示による(　　)　・
・杭頭の処理 [8.28.4]
　・処理しない
　・処理する
　　処理方法（切断にともなう補強方法含む）
　　・図示による(　　)　・
・杭頭の中詰め材料 (4.3.7)
　・基礎のコンクリートと同調合のもの　・
杭の精度 [8.28.4]
　水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下　・
　杭の傾斜　・1/100以内　・
記録する施工状況等 [8.28.4]
　・図示による(　　)　・

⊙砂利地業

材料 [8.2.15]
　⊙再生クラッシャランG
　・切込砂利又は切込砕石
砂利厚さ [8.28.4]
　※60mm　⊙50mm　⊙100mm

⊙捨コンクリート地業

捨コンクリートの厚さ [8.28.4]
　※50mm　・
コンクリートの種類
　・　※普通コンクリート
設計基準強度 [8.11.1]
　※18N/mm²　・
スランプ [8.11.1]
　※15cm又は18cm　・

9 環境配慮改修工事

・石綿含有建材の除去工事

[9.1.1、3～5]
施工調査
※石綿含有建材の事前調査
　工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

　調査範囲（・　　・図示　　）
　貸与資料（　　）

・分析による石綿含有建材の調査
　分析対象
　　アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
　分析方法

材料名	定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	定量分析方法 (JIS A 1481-3) または (JIS A 1481-4)
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　１箇所あたり３サンプル
採取箇所　・図示　・

石綿粉じん濃度測定
　測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・	測定 4		セキュリティーゾーン入口	・計　点
・	測定 5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/s以下の位置 ・計　点
・	測定 6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
・	測定 7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定 8	処理作業後ｼｰﾄ	処理作業室内	・計　点
・	測定 9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計　点

　測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定 4 ・ ・測定 5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
　除去対象範囲　・図示　・
　除去工法　・　※9.1.3 (2) (ｱ)による
　除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
　　※湿潤化　・固形化
　除去した石綿含有吹付け材等の処分
　　・埋立処分(管理型最終処分場)
　　・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去
　除去対象範囲　・図示　・
　除去工法　・破砕して除去　・手ばらし
　除去した石綿含有保温材等の飛散防止
　　※湿潤化　・固形化
　除去した石綿含有保温材等の処分
　　・埋立処分(管理型最終処分場)
　　・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板の除去
　除去対象範囲　・図示　・
　除去した石綿含有成形板の処分
　　・石綿含有せっこうボード
　　※埋立処分(管理型最終処分場)
　　・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板(床:ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ・ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ　天井:ｹｲｶﾙ板)
　　・埋立処分(安定型最終処分場)
　　・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事　・図示　・

20 ユニット及びその他の工事

⊙フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	工法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
	⊙置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ⊙250×250	40	・1.0G ・0.6G	・ ⊙3000N ・ ・5000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ ⊙ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

寸法精度
　・　※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)(a)～(c)による
　パネルの長さ
　　※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
　　500mm以下の場合　±0.5mm以内

　パネルの平面形状（角度）
　　※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
　　500mm以下の場合　±0.5mm以内

　フリーアクセスフロアの高さ
　　※　±0.5mm以内

⊙製造所　紀陽産業(株)　フリーブランフロア　M-H40　同等品

・可動間仕切

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 スタッド	構成基材の種類 パネル	表面仕上材 パネル表面仕上げ	遮音性(db/500Hz)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落とし は、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放出量　※JIS A 6512によりＦ☆☆☆☆以上

・移動間仕切

(20.2.4)

構造形式	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面仕上材 材質	パネル表面仕上材 仕上げ	遮音性(db/500Hz)
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・MDF	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
　・図示
　※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
ランナー
　・
　※パネル重量の５倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。
　・製造所　(株)ＴＯＫＯ　ミュート　同等品

⊙トイレブース

(20.2.5)

表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	・標準 ⊙R	・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・表面材と同材

・階段滑り止め

(20.2.6)
材種　（・ステンレス製　・黄銅製押出型材　・アルミニウム製押出型材　・　）
滑り止め材　形状　（　・ひも型　・タイヤ型　）
　　材質　（　ゴム又は合成樹脂　）
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法
幅(mm)　・　端部フラットエンド（・あり　・なし）

⊙手すり

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
~~⊙屋内:集成材(米松)~~ ⊙屋外:セランガンバツ	・クリアラッカー ⊙MP	・35 ・45 ⊙角型(50×33)	~~⊙ｽﾛｰﾌﾟ(表去側)~~ ⊙ｽﾛｰﾌﾟ(屋外)	
・ビニル製ハンドレール				

・黒板及びホワイトボードG

(20.2.8)
・黒板
　区分　・　※焼き付け
　種類　・　・鋼製黒板　・ほうろう黒板
　色　・　※緑
・ホワイトボード

⊙鏡

(20.2.9)
取付箇所　（　男子便所(1)・~~(2)~~、女子便所(1)・~~(2)~~）
寸法（mm）　・図示　⊙350×600
厚さ（mm）　※ 5

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号 島田 廣巳

⊙表示 (20.2.10)

⊙衝突防止表示
形状・寸法 （ ・３０φ ⊙２５φ ）
材質 （ ⊙ステンレス製 ・ ）

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示
・適用する（※消防法に適合する市販品 ・ ）
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。
その他の表示 ※図示

．煙突ライニング (20.2.11)

・ 煙突用成形ライニング材

．ブラインド (20.2.12)

形 式	操作方法	種 類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※ アルミニウム合金製Ⓖ ・	※ 25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	―				
・縦形	・手動	※２本操作ｺｰﾄﾞ式 ・１本操作ｺｰﾄﾞ式	・ アルミスラット ・ クロススラット ・	・ 80 ・ 100	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	―				

スラットの材質
・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は Ⓖ とする。

．ロールスクリーン Ⓖ (20.2.13)

操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式
幅・高さ ・図示
材種 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製
品質等
その他の材料 ・ ※ロールスクリーンの製造所の仕様による

．カーテン (20.2.14)

形式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示 ・	
						（暗幕）

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は Ⓖ とする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上

．カーテンレール (20.2.14)

材料による区分
※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分 ※10-90 ・
仕上げ ※アルマイト ・
形状 ※角形 ・

⊙ ブラインドボックス及びカーテンボックス
溝型×深さ（mm） ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ⊙図示
材質 ⊙集成材（仕上げ：WP塗 ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14.2.1） ・BC-1 ・BC-2
色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）
・鋼製（仕上げ： ）

⊙ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
⊙アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形 ・気密形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁タイプ ⊙目地タイプ	⊙額縁タイプ ⊙目地タイプ

⊙額縁タイプ：~~5~~3ヶ所、目地タイプ：~~5~~3ヶ所

⊙ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形 ・密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	・鍵付き

⊙計：~~5~~4ヶ所

．くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

⊙ 壁点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
⊙樹脂製 ・	・450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形 ・気密形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁タイプ ・目地タイプ	⊙額縁タイプ ・目地タイプ

⊙製造所 フクビ化学工業(株) 別注品 壁用点検口枠N15(ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5用) 600×600
樹脂落下防止部材共 枠内PB(EP塗装)共

⊙ 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
⊙流し台	⊙900 ⊙1050 ・1200 ・1500 ・1800	⊙500 ・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・

（品質・性能）
（１） 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
（２） 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状 ※図示
製造所・製品同等品以上
⊙ミニキッチン(W1,050)
クリナップ(株) ミニキッチンW1,050タイプ(IHｺﾝﾛ共)
タカラスタンダード ミニキッチンW1,050タイプ(IHｺﾝﾛ共)
ナスラック(株) ミニキッチンW1,050タイプ(IHｺﾝﾛ共)
⊙ミニキッチン(W900)
サンワカンパニー ミニモラス(壁付タイプ・W900)・ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ無、ｺﾝﾛ無

・ 旗竿

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

・ 旗竿受金物

材 種 ・ ステンレス製 (SUS 304)

・ 車止め支柱

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

⊙ フェンス

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
⊙亜鉛・アルミニウム・マグネシウム合金めっきフェンス
高さ ⊙図示 ・
製造所・製品同等以上
朝日フェンス XW-1500-M 同等品

⊙ 入退室管理システム
非接触カードリーダーシステム
(株)クマヒラ
※既存他棟とシステムを統一するためメーカー指定とする

工事区分表

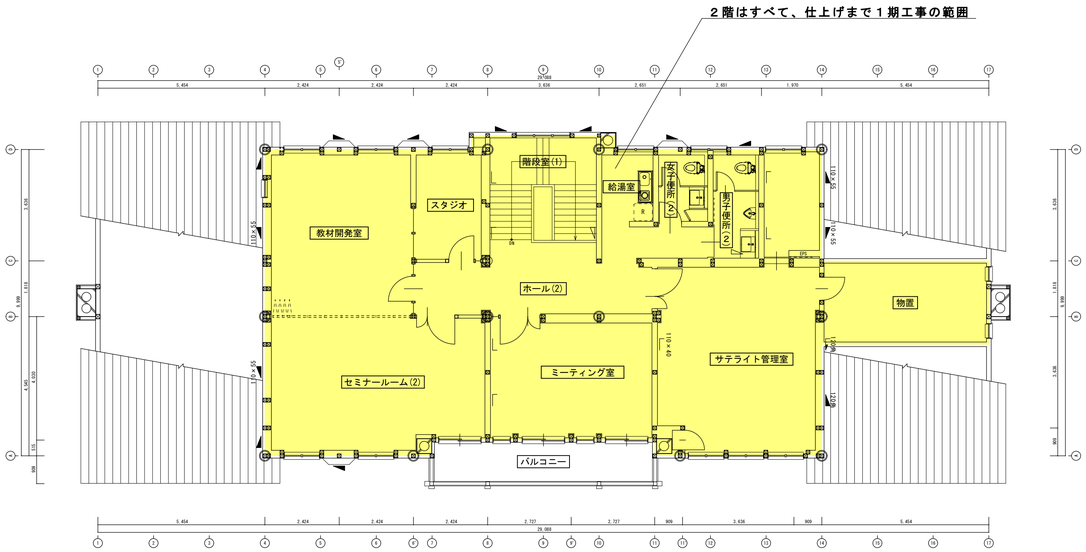
１．●印の付いたものを適用する。
２．●が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

項目 名称	区分 摘要	建築	電気	機械	土木	備考
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠入					
〃	壁スリーブ入れ					
〃	床スラブ木製型枠入					
〃	床スラブスリーブ入れ					
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ					
配管ダクト類の防水貫通部補修						
ＡＬＣパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部					
ＰＣ版の穴あけ	スリーブ入れ					
同上補修						
インサート	ＰＣ版					
インサート	コンクリート床					
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	●				
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部		●			
〃	機械設備関係開口部			●		
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	●	●	●		
開口補強を必要としないボード等の切開			●	●		
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工		●	●	●		
盤等重量物の下地補強	露出形器具取付用		●			
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	●				
防火区画貫通部補修			●	●		
機器・配管取付後の壁、床等の補修		●				
流し台、ミニキッチン本体、水切	ステンレス製（含む排水金具）	●				
同上用配管接続	給排水用			●		
流し台	陶器製			●		
洗面器等取付化粧板				●		
ルーフドレン						
竪樋	防露工事共					
雨水排水管	第１桝から排水幹線までの配管					
〃	幹線の配管					
生活排水、実験排水管	建物及び第１桝までの配管			●		
〃	第１桝から排水幹線までの配管			●		
〃	幹線の配管			●		
大型機械基礎						
同上基礎上鉄骨架台						
機器用アンカーボルト	ボイラ等機械設備関係機器					
〃	自家発電機等電気設備関係機器					
一般機器類の基礎	仕上げ共					
屋外自立盤の基礎	仕上げ共					
屋外貯油槽	地下式					
共同溝	歩床コンクリート					
建物、共同溝接続トレンチ						
同上接続部止水板						
各種槽類	コンクリート製					
〃	ＳＵＳ、ＦＲＰ、鋼製					
〃	屋外大型のものの基礎					
〃	屋上設置のものの基礎					
換気扇取付	ダクトのあるもの			●		
〃	壁、サッシ等への取付（材共）					
同上用スイッチ			●			
同上用電源配線			●			
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製					
全熱交換器						
同上用スイッチ						
外壁取付ガラリ	給排気用			●		
内壁取付ガラリ						
ガラリへの給排気ダクト接続				●		
煙感知器連動防火戸						
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共					
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共					
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①					
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②					
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③					
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共					

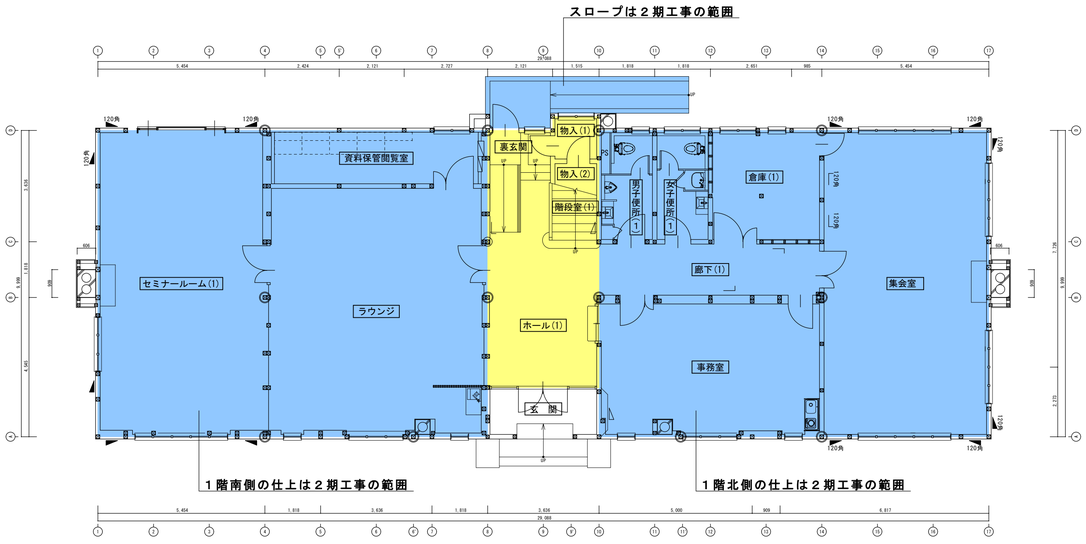
項目 名称	区分 摘要	建築	電気	機械	土木	備考
道路側溝用排水	Ｌ型・Ｕ型と管敷設					
制御盤	制御盤以降の配管、配線共					
同上用電源配線	１次側接続まで					
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤					
屋内消火栓起動リレー						
同上表示灯及び起動装置						
自動火災報知器			●			
連結送水口	座板共					
独立煙突						
同上煙道	鋼板製					
同上雷保護設備						
配管配線用ピット						
盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等		●			
コンクリートシャフト点検口						
天井フック						
機械室、電気室の防音遮音処理						
特殊サイズ鏡						
化粧用洗面器、鏡	化粧カウンターは除く			●		
雷保護設備						
保守管理用タラップ、はしご						
室内テレビ用金物						
テレビアンテナ	取付共					※既設アンテナ使用
同上用基礎						
グリストラップ及びガソリントラップ	コンクリート製 ステンレス鋼板製					
電動シャッターの配管配線	二次側。操作盤、押釦取付共					
同上用電源配線	一次側接続まで					
自動扉の配管配線	二次側					
同上用電源配線	一次側接続まで					
電気錠操作盤	読取装置共	●				
同上配管配線		●				
電気錠	配管配線、接続ボックスまで	●				
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで	●				
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む					
同上用電源配線	一次側接続まで					
同上用信号線	各メーターから装置まで					
ユニットバス本体	据付共					
同上用電源配線	一次側接続まで。ＳＷの取付配線共					
同上用配管	接続まで					
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	現場製作					
同上用電源配線	一次側接続まで					
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共					
同上用配管	接続まで					
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	プレハブ型					
同上用電源配線	一次側接続まで		●			
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共		●			
同上用配管	接続まで					
芝生、種子吹付け						
法枠、モルタル吹付け						
コンクリート擁壁						
植栽						

訂正	月 日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 8 号	課 長	副課長	係 長	係 員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号	56 — 8
	・		図面名称	建築改修工事特記仕様書(7)	縮尺 －								島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称	建築改修工事特記仕様書(7)	縮 尺	図面番号 特 — 7
	・				作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課														
	・																			

凡　例		
記　号	内　容	備　考
	１期工事(先行工事)にて仕上げまで完了済の範囲を示す	
	２期工事(本工事)にて仕上げを行う範囲を示す	
	(耐震補強・防火上主要な間仕切壁・外壁工事等は１期工事の範囲とする)	
	工事区分の詳細は右下図参照	



2階　工事区分図　S=1:50



1階　工事区分図　S=1:50

１期工事(先行工事)・２期工事(本工事)　工事区分概要

１．以下の(1)(2)(3)は建物全体についてはすべて１期工事にて完成済

(1)耐震補強工事・・・基礎工事・軸組補強・耐力壁設置・床組み工事(下地構造用合板張まで)

(2)外壁・屋根工事

(3)防火上主要な間仕切壁設置工事

２．1階の玄関ホール・階段室(1)・裏玄関 及び 2階全体は、１期工事にて仕上げまで完成済

特記事項

１．工事完了時、工事範囲のクリーニングを行うこと。

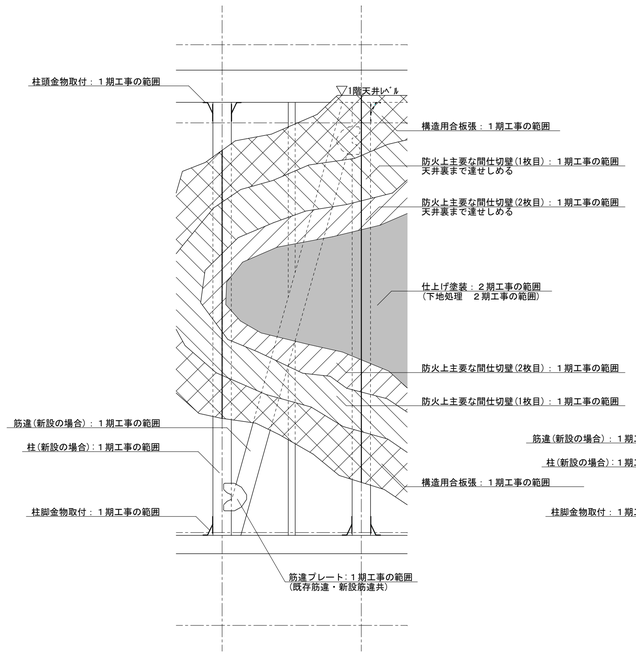
２階　工事区分概要

● ２階は仕上げまで１期工事にてすべて完成済

１階　工事区分概要

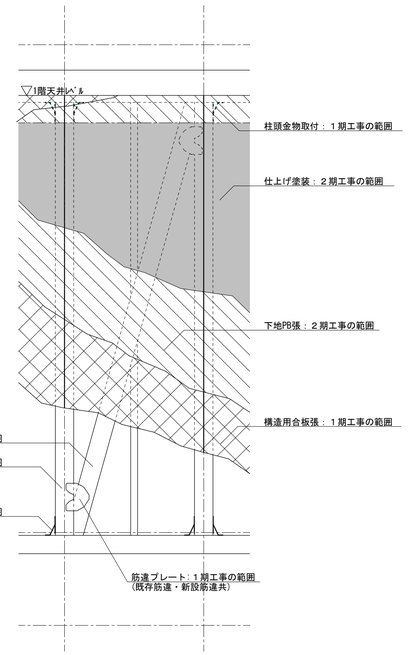
● １階は玄関ホール・階段室(1)・裏玄関を１期工事にて仕上げまですべて完成させる

●上記の３室以外の室は下記詳細図の工事区分による　(上記の３室以外の室は、天井は２期工事の範囲とするため、解体撤去したままの状態で引き渡しとする)



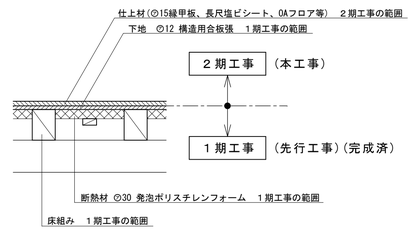
工事区分詳細図(1階)　S=1:20

【防火上主要な間仕切壁部分】



工事区分詳細図(1階)　S=1:20

【一般部分】

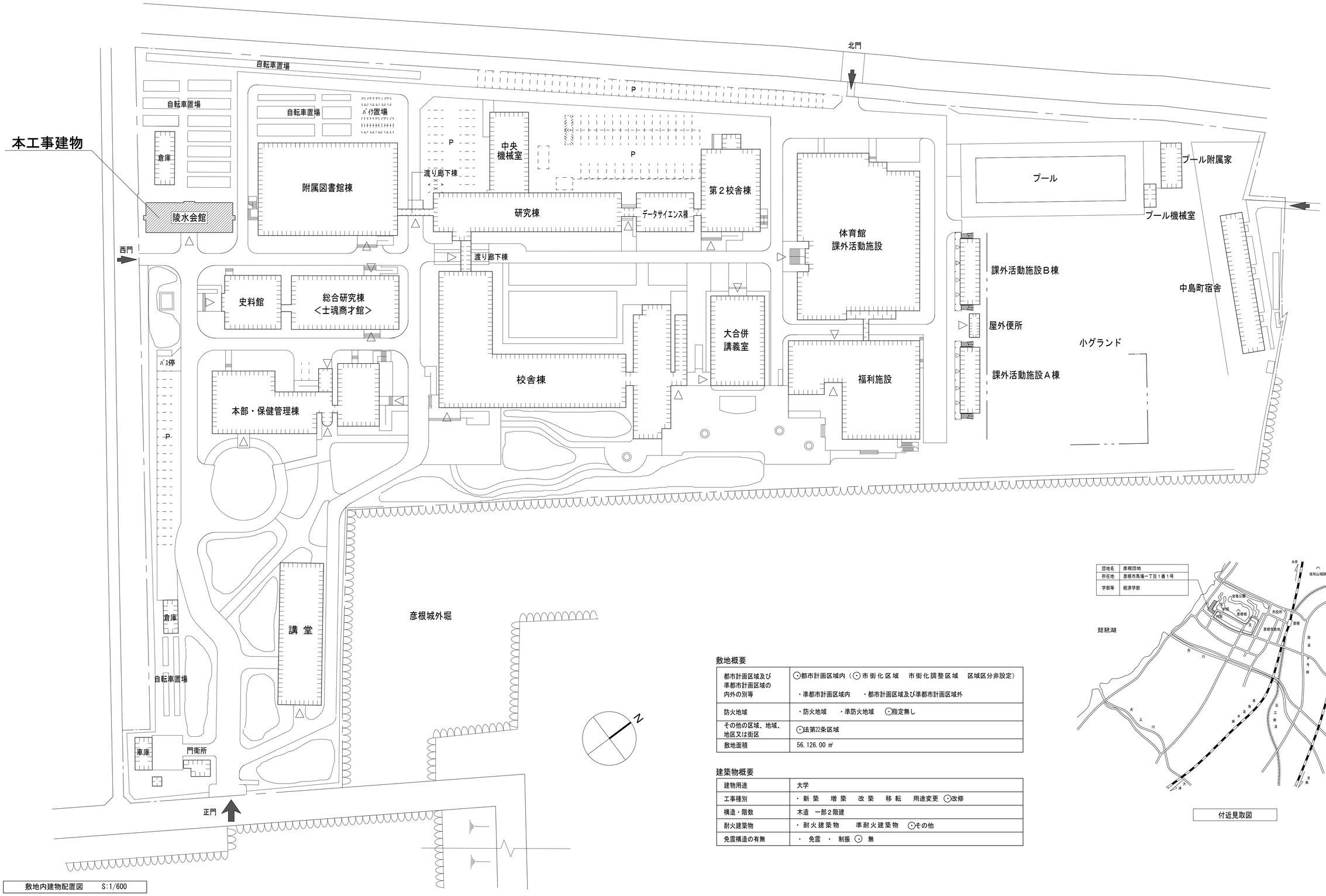


工事区分詳細図(1階床)　S=1:20

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち　9 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺　－				
	・		図面名称	工事区分図	作成　令和4年3月				
	・					滋賀大学施設管理課			

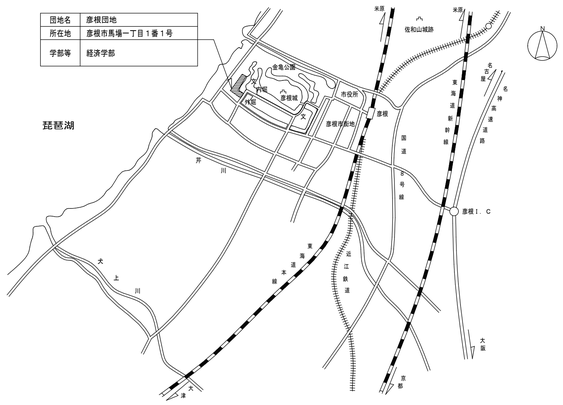
一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社
匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号
						56 ― 9
島田　廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称	工事区分図　縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 特 ― 8



敷地内建物配置図　S:1/600

団地名	彦根団地
所在地	彦根市馬場一丁目１番１号
学部等	経済学部



付近見取図

敷地概要

都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等	⊙都市計画区域内（⊙市街化区域　市街化調整区域　区域区分非設定） ・準都市計画区域内　・都市計画区域及び準都市計画区域外
防火地域	・防火地域　・準防火地域　⊙指定無し
その他の区域、地域、地区又は街区	⊙法第22条区域
敷地面積	56,126.00 ㎡

建築物概要

建物用途	大学
工事種別	・新築　増築　改築　移転　用途変更　⊙改修
構造・階数	木造　一部２階建
耐火建築物	・耐火建築物　準耐火建築物　⊙その他
免震構造の有無	・免震　・制振　⊙無

訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 10 号	課長	副課長	係長	係員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 10
	・					縮尺 －								島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称	敷地内建物配置図、付近見取図	縮尺 A1 S=1:600 A3 S=1:1,200
	・			図面名称	敷地内建物配置図、付近見取図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課													図面番号 A — 1
	・																			

外部仕上表凡例

記号	部位	仕上
R 1	屋根	洋瓦葺(釉薬瓦・引掛桟瓦葺)　下地:いぼ付きルーフィング　野地板:既存のまま(○18) 大棟・隅棟:7寸丸ﾊﾞﾝｶﾝ付SUSﾋﾞｽ(L=75)　既存合わせ(チョコレート色)　DS-5 参照
R 2	屋根	既存洋瓦葺(引掛桟瓦葺)のまま
EW 1	外壁	既存外壁(木摺ﾓﾙﾀﾙの上､スタッコの上､複層模様吹付)のまま、高圧水洗による洗浄・清掃の上、1液水系高耐候性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料吹付 既存クラック部はUカットシール材充填工法(No.A-68図参照)
EW 2	外壁	既存外壁(鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄの上､ﾓﾙﾀﾙ塗りの上､ｽﾀｯｺ仕上げの上､吹付ﾀｲﾙ)のまま、高圧水洗による洗浄・清掃の上、 1液水系高耐候性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料吹付　既存ｸﾗｯｸ部はUｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法(No.A-68図参照)　既存ﾓﾙﾀﾙ浮き部は(No.A-70図参照)
EW 3	外壁	透湿防水シート張の上、木摺打ち、ラスモルタル(ドイツ壁調、既存外壁合わせ))上、1液水系高耐候性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料吹付 壁内: ○50 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(24K)充填　新設壁周囲シーリング(変成シリコン)
EW 4	外壁	既存外壁のまま、高圧水洗による洗浄・清掃の上、塗膜浮き部ケレンの上、2液弱溶剤形ｴﾎﾟｷｼ樹脂系浸透シーラー塗布の上、 複層塗材E吹付、1液水系高耐候性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料吹付　(範囲はNo.A-70・A-71図参照)
EW 5	外壁	既存透湿防水シート張の上、既存木摺(別途先行工事改修部分)上、ラスモルタル(ドイツ壁調、既存外壁合わせ)上、 1液水系高耐候性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料吹付　壁内:○50 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(24K)充填　新設壁周囲シーリング(変成シリコン)

記号	部位	仕上
FW 1	巾木	既存巾木のまま、高圧水洗による洗浄・清掃の上、1液水系高耐候性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料吹付 既存クラック部はUカットシール材充填工法(No.A-68図参照)
FW 2	巾木	既存巾木のまま、高圧水洗による洗浄・清掃の上、塗膜浮き部ケレンの上、2液弱溶剤形ｴﾎﾟｷｼ樹脂系浸透シーラー塗布の上、 複層塗材E吹付、1液水系高耐候性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料吹付　(範囲はNo.A-70・A-71図参照)
EF 1	バルコニー床	既存防水層撤去の上、高圧水洗の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 既存ﾌﾛｱｰﾄﾞﾚｲﾝ(2ヶ所･50Φ)共、本工事にて改修
EC 1	軒天	既存化粧垂木及び既存野地板あらわし　下地調整の上、WPS
EC 2	軒天	○6 ケイカル板底目地張の上、1液水系高耐候性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料吹付
PP 1	煙突天端	既存コンクリート面高圧洗浄の上、ウレタン塗膜防水(X-2)

記号	部位	仕上
A	軒樋	塩ビ製(ｽﾁｰﾙ芯)　Φ120半丸　受け金物(@455)共軒樋同色
B	竪樋	カラーＶＵ　Φ75　足元掃除口付　揚み金物@1,300
C	水切	○0.4 ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ銅板
D	床下換気口	床下換気口 鉄製格子(W220×H150) 錆止め塗装(JIS K 5674)の上、SOP　裏面SUSネット張
E	外部木部	素地ごしらえの上　WPS
F	水切	○0.4 銅板

記号	部位	仕上
G	破風	素地ごしらえの上　WPS
H	出梁両面ｶﾊﾞｰ	○15 米ヒバ WPS

内部仕上表（既存改修部分）

1階 室名		床			巾木			腰			腰見切		壁		
現況	改修後	現況	改修後	記号	現況	改修後	記号	現況	改修後	記号	現況	改修後	現況	改修後	記号
玄関	玄関	鉄平石貼(既存のまま)	~~既存のまま、酸洗い~~	F 1				2丁掛タイル貼 ~~(一部ｶｯﾄ切の上撤去)~~	~~既存のまま、酸洗い~~ ~~2丁掛ﾀｲﾙ貼(既存合わせ)~~ ~~下地:○6 ケイカル板~~	W 1 W 2			木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗りの上、吹付タイル ~~(一部 ｶｯﾄ切の上､下地共撤去)~~	~~既存のまま､クリーニング~~ ~~一部:○6 ケイカル板の上､吹付タイル(既存合わせ)~~	W 7 W 8
ホール	ホール(1)	ｵｰｸﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ上、○6 ﾗﾜﾝ合板の上、長尺塩ビシート貼(※As) ~~(床､床組み共撤去)~~	~~○15 緑甲板張(店舗用)~~ ~~下地:○12 構造用合板~~	F 2	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP ~~(撤去)~~	~~木製巾木(H=182) WPS~~	WF 1		~~下地:○9 構造用合板の上､○6 銘木単板貼合板目板張 WPS~~	W 4		木見切 WPS	木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ又はﾓﾙﾀﾙ下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(下地共撤去)~~	~~○9.5 PB下地､EP(1)~~ ~~既存下地のまま､下地処理の上､EP(1)~~	W 9 W 13
廊下(1)	廊下(1)	ｵｰｸﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ上、○6 ﾗﾜﾝ合板の上、長尺塩ビシート貼(※As) ~~(床､床組み共撤去)~~	○15 緑甲板張(店舗用) ~~下地:○12 構造用合板~~	F 2	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP ~~(一部撤去)~~	既存木製巾木､ｹﾚﾝの上、WPS 木製巾木(H=182) WPS	WF 2 WF 1	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ H=1,355 ~~(仕上げのみ 撤去)~~	既存下地のまま､ ○6 銘木単板貼合板目板張 WPS ~~下地:○9 構造用合板の上､○6 銘木単板貼合板目板張 WPS~~	W 3 W 4	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=72) SOP	既存木見切ｹﾚﾝの上､WPS 木見切 WPS	木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ又はﾓﾙﾀﾙ下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(一部下地共撤去)~~	○9.5 PB下地、EP(1) 既存下地のまま､下地処理の上､EP(1)	W 9 W 13
事務室	事務室	OAﾌﾛｱ(H=40)下地、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼 ~~(床､床組み共撤去)~~	○6.5 タイルカーペット 下地:ＯＡフロア H=40 ○1.0 アンダーシート ~~○12 構造用合板~~ (仕上レベルを一般IFLと合わせる)	F 3	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP ~~(撤去)~~ B面:木製(H=110) SOP ~~(撤去)~~ CD面:木製(H=190) SOP ~~(撤去)~~	木製巾木(H=182) WPS	WF 1	ﾌﾟﾗｽﾀｰまたはﾓﾙﾀﾙ EP ~~(下地共 撤去)~~ B面:腰壁なし CD面:布ｸﾛｽ上、塗装 ~~(下地共 撤去)~~			木製 木製 SOP		木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ又はﾓﾙﾀﾙ下地、EP ~~(下地共撤去)~~ B面:~~○5 化粧合板(下地共撤去)~~ CD面:木摺(6×33)上､ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地、布ｸﾛｽ貼 ~~(下地共撤去)~~	○9.5 PB下地、EP(1) ○12.5 PB下地、EP(1) (ﾐﾆｷｯﾁﾝ上部2方共)	W 9 W 10
倉庫(1)		ブナフローリング張り ~~(床､床組み共撤去)~~												○9.5 化粧PB ~~(木下地共撤去)~~	
集会所	集会室	コードカーペット貼 ~~(床､床組み共撤去)~~	カーペット貼 ~~下地:○12 構造用合板~~	F 4	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP ~~(一部撤去)~~	既存木製巾木､ｹﾚﾝの上、WPS 木製巾木(H=182) WPS	WF 2 WF 1	○4 合板上､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ ~~(下地共 撤去)~~ 木見切等は既存のまま	既存下地のまま､ ○6 銘木単板貼合板目板張 WPS ~~下地:○9 構造用合板の上､○6 銘木単板貼合板目板張 WPS~~	W 3 W 4	木製	既存木見切ｹﾚﾝの上､WPS	木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地、布ｸﾛｽ貼 ~~(一部 下地共撤去､ 他の部分は仕上げのみ撤去)~~	~~既存下地のまま､下地処理の上､~~ ~~(仕上げのみ撤去)~~ ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ(SS)貼 ○12.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ(SS)貼	W 11 W 12
裏玄関	裏玄関	モルタルコテ押へ ~~(床､床組み共撤去)~~	~~○15 緑甲板張(店舗用)~~ ~~下地:○12 構造用合板~~ ~~ロープ:○2.0長尺塩ビシート(ﾉﾝｽｷｯﾌﾟ)~~ ~~下地:○12 構造用合板~~ ~~階段:○2.0長尺塩ビシート~~ ~~下地:○12 構造用合板~~ ~~物入前:○2.0長尺塩ビシート~~ ~~下地:既存ﾓﾙﾀﾙ下地処理~~	~~F 2~~ ~~F 18~~ ~~F 19~~ ~~F 20~~	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP ~~(一部撤去)~~ ｺﾝｸﾘｰﾄ立上り (既存のまま)	~~既存木製巾木､ｹﾚﾝの上､WPS~~ ~~木製巾木(H=182) WPS~~ ~~既存ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りのまま~~ ~~下地処理の上､EP塗装~~	~~WF 2~~ ~~WF 1~~ ~~WF 3~~				木製 SOP		木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ又はﾓﾙﾀﾙ下地、EP ~~(下地共撤去)~~	~~○9.5 PB下地､EP(1)~~ ~~既存下地のまま､下地処理の上､EP(1)~~	~~W 9~~ ~~W 13~~
物入(1)(2) (階段下収納)	物入(1)(2) (階段下収納)	モルタルコテ押へ (既存のまま)	既存のまま		モルタル (既存のまま) ｺﾝｸﾘｰﾄ立上り (既存のまま)	既存モルタルのまま 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りのまま							モルタル(既存のまま) 一部:別途工事にてﾓﾙﾀﾙ撤去部､既存のまま	既存のまま ~~一部(ﾓﾙﾀﾙ撤去部):既存木摺の上､~~ ~~ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押え~~	W 14
階段室(1)	階段室(1)	コードカーペット貼 ~~(仕上げのみ撤去)~~	~~カーペット貼~~ ~~下地:既存段板~~ ~~カーペット端部木見切 WPS~~	~~F 5~~	~~ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP~~ (既存のまま)	~~既存木製巾木､ｹﾚﾝの上､WPS~~	~~WF 2~~	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ H=1,355 ~~(仕上げのみ 撤去)~~	~~下地:○9 構造用合板の上､○6 銘木単板貼合板､目板張 WPS~~	~~W 4~~	木製 SOP	既存木見切ｹﾚﾝの上､WPS	木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(仕上げのみ撤去)~~ 一部:別途工事にてﾓﾙﾀﾙ撤去部､既存のまま	~~既存下地のまま､下地処理の上､EP(1)~~ ~~一部(ﾓﾙﾀﾙ撤去部):既存木摺の上､~~ ~~ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押えの上､EP(1)~~	~~W 13~~ ~~W 18~~
男子便所	男子便所(1)	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ上､ｶﾁｵﾝﾓﾙﾀﾙしごきの上、 ○2.0 長尺塩ビシート貼(※As) ~~(仕上げのみ撤去)~~ ~~一部:土間ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ切の上撤去~~ ~~(配管(別途機械設備)部のみ)~~	○2.0 長尺塩ビシート(消臭抗菌) 下地:○5.5 ﾗﾜﾝ合板 ○20 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ 乾式2重床 ~~土間撤去部ﾓﾙﾀﾙ補修~~	F 6	ビニール巾木(H=100) ~~(撤去)~~	長尺塩ビシート立上り H=60 (上部巻上げ金物)	WF 4	面台:100角ﾀｲﾙ貼 H=1,350 ~~(下地共 撤去)~~	面台下:ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼 (木目調) ｺｰﾅｰ材も木目調とする	W 5			100角ﾀｲﾙの上、下地処理の上、 内装用吹付材吹付 ~~(ﾀｲﾙ下地共撤去)~~ 一部:別途工事にて壁撤去部、既存のまま	○9.5 PB下地、EP(2) ~~一部(壁撤去部):既存木摺の上､~~ ~~ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押えの上､EP(2)~~	W 9 W 18
女子便所	女子便所(1)	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ上､ｶﾁｵﾝﾓﾙﾀﾙしごきの上、 ○2.0 長尺塩ビシート貼(※As) ~~(仕上げのみ撤去)~~ ~~一部:土間ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ切の上撤去~~ ~~(配管(別途機械設備)部のみ)~~	○2.0 長尺塩ビシート(消臭抗菌) 下地:○5.5 ﾗﾜﾝ合板 ○20 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ 乾式2重床 ~~土間撤去部ﾓﾙﾀﾙ補修~~	F 6	ビニール巾木(H=100) ~~(撤去)~~	長尺塩ビシート立上り H=60 (上部巻上げ金物)	WF 4	面台:100角ﾀｲﾙ貼 H=1,350 ~~(下地共 撤去)~~	面台下:ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼 (木目調)	W 5			100角ﾀｲﾙの上、下地処理の上、 内装用吹付材吹付 ~~(ﾀｲﾙ下地共撤去)~~ 一部:別途工事にて壁撤去部、既存のまま	○9.5 PB下地、EP(2) ○12.5 PB下地、EP(2)	W 9 W 10
倉庫(2)	倉庫(1)	ビニルタイル貼(※As) ~~(仕上げのみ撤去)~~	○2.0 長尺塩ビシート ~~下地:既存モルタル上､下地処理~~	F 7	ビニール巾木(H=100) ~~(撤去)~~	ビニール巾木(H=60)	WF 5						○5 合板張り SOP ~~(下地共撤去)~~	○9.5 PB下地、EP(2) ○12.5 PB下地、EP(2)	W 9 W 10
階段室(2)		段板の上､コードカーペット貼 ~~(階段､床組み共 撤去)~~	○2.0 長尺塩ビシート 下地:○5.5 ﾗﾜﾝ合板 ~~○12 構造用合板~~	F 8	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP ~~(撤去)~~								木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(下地共撤去)~~	○21 強化PB下地、EP(2)	W 17
ｾﾝﾀｰ長室 産学官連携室	資料保管閲覧室	フローリング上、 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼(※As)の上、 OAﾌﾛｱ(H=40)下地、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼 ~~(床､床組み共撤去)~~	○2.0 長尺塩ビシート 下地:○5.5 ﾗﾜﾝ合板 ~~○12 構造用合板~~	F 8	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP ~~(撤去)~~	ビニール巾木(木目調) H=60	WF 6						○9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(下地共撤去)~~	○9.5 PB下地、EP(2) ○12.5 PB下地、EP(2)	W 9 W 10
廊下(2)	ラウンジ	ｵｰｸﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ上、○6 ﾗﾜﾝ合板の上、 ○2.0 長尺塩ビシート貼(※As) ~~(床､床組み共撤去)~~	○15 緑甲板張(店舗用) ~~下地:○12 構造用合板~~	F 2	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP ~~(撤去)~~	木製巾木(H=182) WPS	WF 1						ﾓﾙﾀﾙ下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(下地共撤去)~~	○9.5 PB下地、EP(1) ○12.5 PB下地、EP(1)	W 9 W 10
事務室 (社会連携研究ｾﾝﾀｰ)		OAﾌﾛｱ(H=40)下地、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼 ~~(床､床組み共撤去)~~			木製(H=60) SOP ~~(撤去)~~								ﾌﾟﾗｽﾀｰ又はﾓﾙﾀﾙ下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 一部:~~○9.5 PB下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼~~ ~~(下地共撤去)~~	○9.5 PB下地、キッチンパネル貼 (4方及びｼﾞｮｲﾝﾄ部:ｼｰﾘﾝｸﾞ共)	W 19
該話室	ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(1)	ｵｰｸﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ上、○6 ﾗﾜﾝ合板の上、 ○2.0 長尺塩ビシート貼(※As) ~~(床､床組み共撤去)~~	○15 緑甲板張(店舗用) ~~下地:○12 構造用合板~~	F 2	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP ~~(撤去)~~	木製巾木(H=182) WPS	WF 1	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	下地:○9 構造用合板の上､○6 銘木単板貼合板、目板張 WPS	W 4	木製	木見切 WPS	木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ又はﾓﾙﾀﾙ下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 C面:~~○9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼~~ ~~(下地共撤去)~~	○9.5 PB下地、EP(1) ○12.5 PB下地、EP(1)	W 9 W 10
給湯室		OAﾌﾛｱ(H=40)下地、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼 ~~(床､床組み共撤去)~~			木製(H=140) SOP ~~(撤去)~~	ｺﾎﾟｯﾄ部分:○33×182 (木) WPS (No.A-24図参照)	WF 9						ABD面:~~○9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼~~ C面:木摺(6×33)上､ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地､~~ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼~~ ~~(下地共撤去)~~			
滋賀県研究者情報ﾃﾞｰﾀｻｰﾊﾞ室		ｵｰｸﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ上、○6 ﾗﾜﾝ合板の上、 ○2.0 長尺塩ビシート貼(※As) ~~(床､床組み共撤去)~~			ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP ~~(撤去)~~			ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			木製		AB面:~~○9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼~~ CD面:木摺(6×33)上､ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地､~~ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼~~ ~~(下地共撤去)~~			

1階 室名	天井			天井廻縁		天井高		備考	室名
現況	改修後	記号		現況	改修後	現況	改修後		改修後
玄関	○6 ｹｲｶﾙ板(※As)底目地張下地、吹付タイル ~~(下地共撤去)~~	~~○6 ケイカル板底目地張､EP(2)~~ ~~(軽量鉄骨天井下地25型)~~	C 1	塩ビ ~~(撤去)~~		2,550	2,350		玄関
ホール	○9.5 PB下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(軽量鉄骨天井下地共撤去)~~	~~○9.5 PB下地､EP(1)~~ ~~(軽量鉄骨天井下地19型)~~	C 2	塩ビ ~~(撤去)~~	~~塩ビ~~ ~~(底目地)~~	2,550 2,470	2,550 2,700	ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ(GP-1・GP-2/建具工事) ~~掃水板 DS-24 参照~~ ~~誘導標識~~	ホール(1)
廊下(1)	○9.5 PB下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(軽量鉄骨天井下地共撤去)~~	○9.5 PB下地、EP(1) (軽量鉄骨天井下地19型)	C 2	塩ビ ~~(撤去)~~	塩ビ (底目地)	2,560	2,550		廊下(1)
事務室	○9.5 化粧PB ~~(軽量鉄骨天井下地共撤去)~~	○9.5 化粧PB張 (軽量鉄骨天井下地19型)	C 3	木製 ~~(撤去)~~	塩ビ		2,675	ミニキッチン(W=1,050) 面台 DS-15 参照 室名札 ~~既存流し台(撤去)~~ ~~既存瞬間湯沸器(撤去)~~	事務室
倉庫(1)	○9.5 化粧PB ~~(木下地共撤去)~~			木製 ~~(撤去)~~		2,675			
集会所	平部:○9.5 PB下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(仕上げのみ撤去)~~ 折上部:○9.5 PB下地、布ｸﾛｽ貼 ~~(仕上げのみ撤去)~~ 平部の一部:~~下地共撤去~~	既存下地のまま､下地処理の上､ ビニールクロス(SS)貼 一部:○9.5 PB上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ(SS)貼	C 4 C 5	木製 OSV ~~(一部撤去)~~	既存木製木製SOP 木製 (ﾓｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ)SOP	2,590 2,825	2,590 2,825	暖炉 DS-16 参照 室名札	集会室
裏玄関	~~既存のまま､下地処理の上､EP(1)~~	~~C 6~~				2,333 一部:勾配天井	2,096 2,330 一部:勾配天井	~~スローブ No.A-39 参照~~ ~~階段 DS 参照~~ ~~手摺 DS-26 参照~~ ~~誘導標識~~	裏玄関
物入(1)(2) (階段下収納)	モルタル(既存のまま) 階段下:板張り(既存のまま)	既存のまま		木製	~~木製~~	2,100	2,100		物入(1)(2) (階段下収納)
階段室(1)	○9.5 PB下地､EP(1) ~~(軽量鉄骨天井下地共撤去)~~	~~○9.5 PB下地､EP(1)~~ ~~(軽量鉄骨天井下地19型)~~	~~C 2~~	塩ビ ~~(撤去)~~	~~木製~~ ~~(ﾓｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ)~~ ~~SOP~~	2FL+2,435	2FL+2,400	~~既存木部はすべて(手摺･手摺子共)~~ ~~ケレンの上､WPS~~	階段室(1)
男子便所	○9.5 PB下地、EP(2) ~~(軽量鉄骨下地共撤去)~~	○6 ケイカル板底目地張、EP(2) (軽量鉄骨天井下地19型)	C 1	塩ビ ~~(撤去)~~	塩ビ (底目地)	2,500	2,400	化粧鏡、壁点検口(600角･枠共) 面台 DS-14 参照、ピクトサイン 面台 DS-15 参照 スクリーン DS-19 参照	男子便所(1)
女子便所	○9.5 PB下地、EP(2) ~~(軽量鉄骨下地共撤去)~~	○6 ケイカル板底目地張、EP(2) (軽量鉄骨天井下地19型)	C 1	塩ビ ~~(撤去)~~	塩ビ (底目地)	2,500	2,400	化粧鏡 面台 DS-14 参照、ピクトサイン 面台 DS-15 参照 ~~和便器(撤去)~~	女子便所(1)
倉庫(2)	○9.5 PB下地、EP(2) ○12.5 PB下地、EP(2) ○21 強化PB下地、EP(2)	○9.5 化粧PB張 (軽量鉄骨天井下地19型)	C 3	塩ビ ~~(撤去)~~	塩ビ	2,560 一部:1,873	2,430		倉庫(1)
階段室(2)	○9.5 PB下地、EP(2) ~~(軽量鉄骨下地共撤去)~~					2FL+2,435			
ｾﾝﾀｰ長室 産学官連携室	ビニールクロス貼 ~~(軽量鉄骨天井下地共撤去)~~	○9.5 化粧PB張 (軽量鉄骨天井下地19型)	C 3	塩ビ ~~(撤去)~~	塩ビ	2,470	2,500		資料保管閲覧室
廊下(2)	○9.5 PB下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(軽量鉄骨下地共撤去)~~	○9.5 PB下地、EP(1) (軽量鉄骨天井下地19型)	C 2	塩ビ ~~(撤去)~~	塩ビ (底目地)	2,300	2,600 2,950	面台 DS-15 参照 ミニキッチン(W=900) 室名札	ラウンジ
事務室 (社会連携研究ｾﾝﾀｰ)	○9.5 PB下地､EP(1) ~~(軽量鉄骨下地共撤去)~~			木製 ~~(撤去)~~		2,450			
該話室	○9.5 PB下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 ~~(軽量鉄骨下地共撤去)~~	○9.5 PB下地、EP(1) (軽量鉄骨天井下地19型) 化粧梁あらわし WPS	C 2		塩ビ (底目地)	2,510 2,300	勾配天井 2,700～ 3,600	面台 DS-15 参照 暖炉 DS-16 参照 ~~既存ﾐﾆｷｯﾁﾝ(撤去)~~ 室名札	ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(1)
給湯室	○9.5 PB下地､EP(1) ~~(軽量鉄骨下地共撤去)~~			塩ビ ~~(撤去)~~		2,355	水平天井 3,600		
滋賀県研究者情報ﾃﾞｰﾀｻｰﾊﾞ室	○9.5 化粧PB ~~(軽量鉄骨下地共撤去)~~			塩ビ ~~(撤去)~~		2,380			

訂正	月	日	工事名称	56 枚のうち 11 号	課長	副課長	係長	係員
	・		滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	縮尺 －				
	・		図面名称 仕上表(1)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・							

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055

設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	整理番号
				滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 11
島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称 仕上表(1) / 縮尺	図面番号 A — 2

内部仕上表（既存改修部分）

2階 室名 現況	室名 改修後	床 現況	床 改修後	記号	巾木 現況	巾木 改修後	記号	腰 現況	腰 改修後	記号	腰見切 現況	腰見切 改修後	壁 現況	壁 改修後	記号	天井 現況	天井 改修後	記号	天井廻縁 現況	天井廻縁 改修後	天井高 現況	天井高 改修後	備考	室名 改修後
	廊下(3)	コードカーペット貼(撤去) 下地:⊘5.5 ﾌﾗﾝｼﾞ合板(既存のまま) ⊘18 旧床板(既存のまま)	⊘2.8 天然木突板タイル 下地:⊘9 構造用合板張(@TN50@150) 既存下地のまま 一部(④)～(⑧通り): ⊘2.8 天然木突板タイル 下地:⊘12 構造用合板 根太(45×33 @300) ⊘24 構造用合板(@TN75@150)	F 9 F 15	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP (撤去)	木製巾木(H=182) WPS 木製巾木(H=60) WPS	WF 1 WF 7	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ H=1,359 一部:仕上げのみ撤去 一部:ｶｯﾀｰ切の上、下地共撤去 既存腰見切は再使用の為、取外し保管	⊘6 銘木単板貼合板 目板張 WPS 下地:⊘9 構造用合板 (@TN50@150) ⊘6 銘木単板貼合板 底目地張 WPS 下地:⊘9 構造用合板 (@TN50@150)	W 4 W 6			木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 一部:ｶｯﾀｰ切の上､下地共撤去	⊘9.5 PB下地、EP(1) ⊘12.5 PB下地、EP(1)	W 9 W 10	⊘9.5 化粧PB (軽量鉄骨天井下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) (軽量鉄骨天井下地19型)	C 2	塩ビ (撤去)	木製 (ﾓｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ) SOP		2,400	~~誘導標識~~	ホール(2)
	ホール(2)																							
	教材開発室	一部(④)～(⑧通り): コードカーペット貼(撤去) 下地:⊘5.5 ﾌﾗﾝｼﾞ合板(撤去) ⊘18 旧床板(撤去)	⊘6.5 タイルカーペット 下地:ＯＡフロア H=40 ⊘1.0 アンダーシート ⊘24 構造用合板(@TN75@150)	F 10		木製巾木(H=60) WPS	WF 7		⊘6 銘木単板貼合板 底目地張 WPS 下地:⊘9 構造用合板 (@TN50@150)	W 6			木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ又はﾓﾙﾀﾙ下地、 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1)	W 9	⊘9.5 化粧PB (軽量鉄骨天井下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) (軽量鉄骨天井下地19型)	C 2	塩ビ (撤去)	塩ビ (底目地)	2,450	2,500	~~ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ(SW=1/建具工事)~~ 室名札	教材開発室
	宿泊室(1)(2)	コードカーペット貼(撤去) 下地:⊘5.5 ﾌﾗﾝｼﾞ合板(撤去) ⊘18 旧床板(撤去)			ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP (撤去)						木製 SOP		木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ又はﾓﾙﾀﾙ下地、 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(下地共撤去)	⊘12.5 PB下地、EP(1) ホワイトボードシート貼	W 10 W 16	⊘9.5 化粧PB (軽量鉄骨天井下地共撤去)	天井裏に⊘9.5 PB		塩ビ (撤去)		2,435		~~既存ﾃｰﾌﾞﾙﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ(鏡共､撤去)~~	
	宿泊室(3)	コードカーペット貼(撤去) 下地:⊘5.5 ﾌﾗﾝｼﾞ合板(撤去) ⊘18 旧床板(撤去)	⊘6.5 タイルカーペット 下地:ＯＡフロア H=40 ⊘1.0 アンダーシート ⊘24 構造用合板(@TN75@150)	F 10	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP (撤去)	木製巾木(H=60) WPS	WF 7		⊘6 銘木単板貼合板 底目地張 WPS 下地:⊘9 構造用合板 (@TN50@150)	W 6			木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ又はﾓﾙﾀﾙ下地、 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) ⊘12.5 PB下地、EP(1)	W 9 W 10	⊘9.5 化粧PB (軽量鉄骨天井下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) (軽量鉄骨天井下地19型) 天井裏に⊘9.5 PB	C 2	塩ビ (撤去)	塩ビ (底目地)	2,435	2,278	~~間仕切壁内:⊘50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(24K)~~ 室名札	スタジオ
	社会連携研究センター長室	⊘AフロアP下地、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼 踏込部:ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 (⊘AﾌﾛｱP･床仕上材 撤去)	⊘6.5 タイルカーペット 下地:ＯＡフロア H=40 ⊘1.0 アンダーシート ⊘24 構造用合板(@TN75@150)	F 10	ビニル巾木(H=100) (撤去) ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP (撤去)	木製巾木(H=60) WPS	WF 7		⊘6 銘木単板貼合板 底目地張 WPS 下地:⊘9 構造用合板 (@TN50@150)	W 6			ABD面:⊘9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 C面:木摺(6×33)上､ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (下地共撤去) 木摺(6×33)上､ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 一部:⊘9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) ⊘12.5 PB下地、EP(1) ホワイトボードシート貼	W 9 W 10 W 16	⊘9.5 化粧PB (軽量鉄骨天井下地共撤去) ⊘9.5 化粧PB (軽量鉄骨天井下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) (軽量鉄骨天井下地19型) 天井裏に⊘9.5 PB	C 2	塩ビ (撤去) 塩ビ (撤去)	塩ビ (底目地)	2,505 2,450	2,500	~~天井点検口(目地タイプ)450角~~ 室名札 ~~既存洗面台(撤去)~~	ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(2)
	リネン室	300角ビニルタイル貼(※As) 下地:⊘5.5 ﾌﾗﾝｼﾞ合板(撤去) ⊘18 旧床板(撤去) (床仕上材 撤去)						一部(手洗前): ｷｯﾁﾝﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾙ H=905(撤去)																
	専任教員研究室	コードカーペット貼 下地:⊘5.5 ﾌﾗﾝｼﾞ合板(撤去) ⊘18 旧床板(撤去) (床仕上材 撤去)	⊘6.5 タイルカーペット 下地:ＯＡフロア H=40 ⊘1.0 アンダーシート 下地:⊘9 構造用合板張(@TN50@150) 既存下地のまま ⊘2.8 天然木突板タイル 下地:⊘9 構造用合板張(@TN50@150) 既存下地のまま スロープ部分: ⊘6.5 タイルカーペット 下地:ＯＡフロア専用部材(H=50用を加工)	F 16 F 9 F 17	ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP (撤去) ｱﾋﾞﾄﾝ(H=182) SOP (撤去) (UB 撤去)	木製巾木(H=60) WPS	WF 7		⊘6 銘木単板貼合板 底目地張 WPS 下地:⊘9 構造用合板 (@TN50@150)	W 6			木摺(6×33)上､ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (下地共撤去) 木摺(6×33)上､ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 一部:⊘9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) ⊘12.5 PB下地、EP(1)	W 9 W 10	⊘9.5 化粧PB (軽量鉄骨天井下地共撤去) ⊘9.5 化粧PB (軽量鉄骨天井下地共撤去) (UB 撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) (軽量鉄骨天井下地19型) 天井裏に⊘9.5 PB	C 2	塩ビ (撤去) 塩ビ (UB) (撤去)	塩ビ (底目地)	2,450 2,430	2,456 2,500	室名札 ~~既存洗面台(撤去)~~ ~~既存UB(撤去)~~	ミーティング室
	洋 室 UB																							
	押入	⊘9 ラワン合板 (床仕上材 撤去)	⊘6.5 タイルカーペット 下地:ＯＡフロア H=40 ⊘1.0 アンダーシート 下地:⊘9 構造用合板張(@TN50@150) 既存下地のまま ⊘2.8 天然木突板タイル 下地:⊘9 構造用合板張(@TN50@150) 既存下地のまま スロープ部分: ⊘6.5 タイルカーペット 下地:ＯＡフロア専用部材(H=50用を加工)	F 16 F 9 F 17	雑巾摺(撤去)	木製巾木(H=60) WPS	WF 7						⊘4 ラワン合板張り (下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) ⊘12.5 PB下地、EP(1)	W 9 W 10	⊘4 ラワン合板張り (木下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) (軽量鉄骨天井下地19型) 天井裏に⊘9.5 PB	C 2	(撤去)	塩ビ (底目地)	2,100	2,235 2,600	~~天井点検口(目地タイプ)450角~~ ~~既存避難はしご~~ 室名札	サテライト管理室
	踏込(板間)	(床仕上材 撤去)											⊘9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (下地共撤去)			(木下地共撤去)			(撤去)					
	和室8帖	⊘55 畳敷き 下地床板:⊘12 ラワン合板 (畳･下地床板 撤去)			畳寄せ(撤去)								⊘9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (下地共撤去)			杉柾合板張り (木下地共撤去)			木製 (撤去)		2,410			
	押入	⊘9 ラワン合板 (床仕上材 撤去)			雑巾摺(撤去)								⊘4 ラワン合板張り (下地共撤去)			⊘4 ラワン合板張り (木下地共撤去)			木製 (撤去)		2,100			
	床の間	床框 集成材 床板⊘9 化粧合板 (床仕上材 撤去)			雑巾摺(撤去)								⊘9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (下地共撤去)			杉柾合板張り (木下地共撤去)			木製 (撤去)		2,235			
	縁	⊘15 天然木化粧フローリング(桧) (床仕上材 撤去)			雑巾摺(撤去)								⊘9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (下地共撤去)			杉柾合板張り (木下地共撤去)			木製 (撤去)		2,410			
	便所 (ﾄｲﾚﾕﾆｯﾄ)	給湯室	踏込部:カーペット貼(仕上材撤去) 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼(※As)(仕上材撤去) ﾕﾆｯﾄ部分:ﾌﾛｱｰﾍﾞｰｽ床張(ﾕﾆｯﾄ撤去) 一部:別途工事にて床板･床組撤去部 (既存のまま)	⊘2.0 長尺塩ビシート(木目調) 下地:⊘9 構造用合板張(@TN50@150) 既存下地のまま 一部(床板･床組撤去部): 同厚の新材にて床組復旧の上、 下地:⊘9 構造用合板(@TN50@150) ⊘2.0 長尺塩ビシート(木目調)	F 23 F 21	ビニル巾木(H=100) (撤去)	ビニール巾木(木目調) H=60	WF 6						木摺(6×33)上､ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 一部:⊘9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(2) ⊘12.5 PB下地、EP(2) (ﾐﾆｷｯﾁﾝ上部3方共)	W 9 W 10	⊘6 化粧PB (軽量鉄骨天井下地共撤去)	⊘6 ケイカル板底目地張 EP(2) (軽量鉄骨天井下地19型)	C 1	塩ビ (撤去)	塩ビ (底目地)	2,400	2,400	~~ミニキッチン(W=1,050)~~ ~~既存ﾄｲﾚﾕﾆｯﾄ(撤去・便器撤去は別途)~~	給湯室
	流し台	廊下(2)	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼(※As)(仕上材撤去)	⊘2.8 天然木突板タイル 下地:⊘9 構造用合板張(@TN50@150) 既存下地のまま	F 9	ビニル巾木(H=100) (撤去)	木製巾木(H=60) WPS	WF 7					⊘9.5 PB下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 一部:木摺(6×33)上､ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地､ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) ⊘12.5 PB下地、EP(1)	W 9 W 10	⊘6 ケイカル板(※As) EP (軽量鉄骨天井下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(1) (軽量鉄骨天井下地19型)	C 2	塩ビ (撤去)	塩ビ (底目地)	2,450	2,400	~~既存流し台(撤去)~~	廊下(2)
	ボイラー室	モルタル(撤去) ﾎﾞｲﾗｰ下:根太補強( )			雑巾摺(撤去)								⊘6 ケイカル板張り EP (下地共撤去)			⊘6 ケイカル板(※As) EP (軽量鉄骨天井下地共撤去)			塩ビ (撤去)					
	脱衣室	女子便所(2)	⊘15 天然木化粧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(桧)(撤去) (既存床上ｺﾝﾊﾟｯﾄ床組 撤去) 踏込部:長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼(※As)(撤去)	⊘2.0 長尺塩ビシート(抗菌消臭)) 下地:⊘9 構造用合板張(@TN50@150) 既存下地のまま	F 11	ビニル巾木(H=100) (撤去)	長尺塩ビシート立上り H=60 (上部巻上げﾗｲﾝ/ｱｼｽﾄ)	WF 4		面台下:ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼 (木目調)	W 5			木摺(6×33)上、ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地、EP (下地共撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(2) ⊘12.5 PB下地、EP(2)	W 9 W 10	⊘6 ケイカル板(※As) EP (軽量鉄骨天井下地共撤去)	⊘6 ケイカル板底目地張 EP(2) (軽量鉄骨天井下地19型)	C 1	塩ビ (撤去)	塩ビ (底目地)	2,300	2,400	~~化粧鏡(350×600)~~ ~~面台 DS-14 ～ DS-15 参照~~	女子便所(2)
	ＵＢ	男子便所(2)	(UB 撤去)	⊘2.0 長尺塩ビシート(抗菌消臭) 下地:⊘9 構造用合板張(@TN50@150) 既存下地のまま	F 11	(UB 撤去)	長尺塩ビシート立上り H=60 (上部巻上げﾗｲﾝ/ｱｼｽﾄ)	WF 4		面台下:ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼 (木目調)	W 5			(UB 撤去)	⊘9.5 PB下地、EP(2) ⊘12.5 PB下地、EP(2)	W 9 W 10	(UB 撤去)	⊘6 ケイカル板底目地張 EP(2) (軽量鉄骨天井下地19型)	C 1	塩ビ (撤去)	塩ビ (底目地)		2,400	~~既存UB(撤去)､既存ﾎﾞｲﾗｰ(撤去)~~ ~~化粧鏡(350×600)~~ ~~面台 DS-14 ～ DS-15 参照~~ ~~スクリーン DS-19 参照~~	男子便所(2)
	階段室(2)	倉庫(2)	段板の上､コードカーペット貼 (階段､床組み共 撤去) 階段上部吹抜(既存のまま)	⊘2.0 長尺塩ビシート 下地:⊘5.5 ラワン合板張の上、 ⊘12 構造用合板(@TN50@150) 根太(75×100 @300)	F 13		ビニール巾木 H=60	WF 5							⊘9.5 PB下地、EP(2) ⊘12.5 PB下地、EP(2)	W 9 W 10	⊘9.5 化粧PB (軽量鉄骨天井下地共撤去)	⊘9.5 化粧PB (軽量鉄骨天井下地19型)	C 3	塩ビ (撤去)	塩ビ		2,400	~~天井点検口(額縁タイプ)450角~~	倉庫(2)
	物置 (小屋裏収納)	物置 (小屋裏収納)	ラワン合板(一部撤去)	既存床板の上、⊘12 ラワン合板張 一部撤去部:⊘12 ﾗﾜﾝ合板張の上、 ⊘12 ラワン合板	F 14 F 22	雑巾摺(撤去)	雑巾摺 WPS	WF 8					ラワン合板張(一部撤去)	既存壁の上、⊘5.5 ラワン合板張 一部撤去部:木胴縁の上､⊘5.5 ﾗﾜﾝ合板張	W 15 W 20	ラワン合板張(既存のまま)	既存のまま	C 7	木製 (既存のまま)	既存のまま	勾配天井	勾配天井		物置 (小屋裏収納)

特記事項

1．(W 9) ⊘9.5 PB下地､EP 部分は、下地の耐力壁(⊘12 構造用合板)に直張りするものとする

2．特記なくも、外部・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする （既存木部はケレン共）

3．(W 9) (W 10) (C 2) の内、ＥＰ(1)は内装用多意匠装飾仕上塗と読み替える

ＥＰ(2)はＥＰ(合成樹脂エマルションペイント塗)とする

4．撤去する新築当初部材のうち、3方枠・巾木等は一時保管し、再使用できる場合は再使用すること

~~5．既存床仕上げ及び、既存天井仕上げに表記する(※As)は石綿含有成形板であるため、撤去・運搬・処分~~

~~は関係法令を遵守し、適切に行うものとする。~~

~~6．既存衛生機器・ミニキッチン・流し台・瞬間湯沸器・ユニットバス・トイレユニット・ボイラー等の切り離しはすべて別途設備工事にて行うが、~~

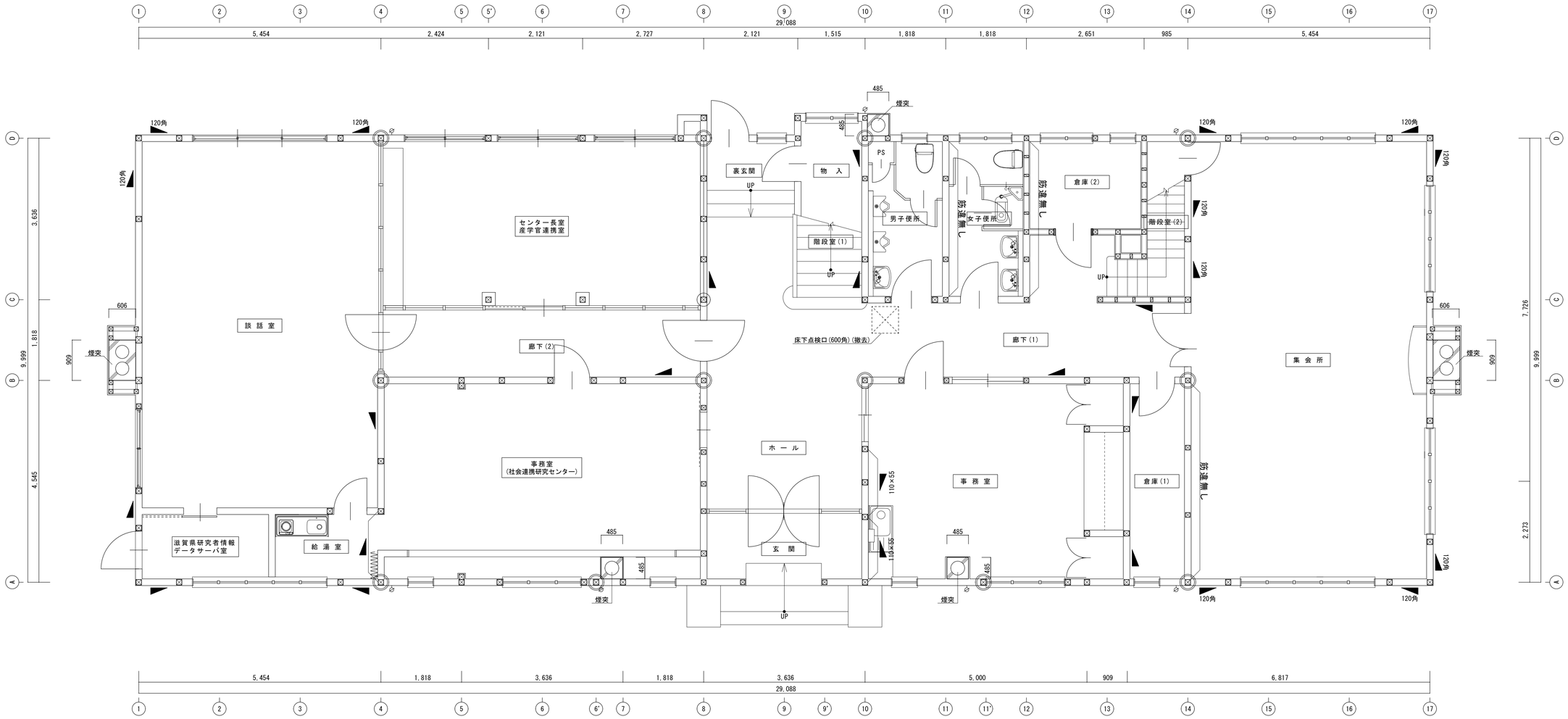
~~撤去・運搬・処分は建築工事の範囲とする。~~

~~別途設備工事にて撤去(運搬・処分)を行うものは洋風大便器(ﾕﾆｯﾄﾄｲﾚの便器共)・小便器・手洗器(陶器製)及び、水栓・ガスコックとする。~~

木材グレード

訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 12 号	課長	副課長	係長	係員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	匠工房 TAKUMI KOBO	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号	56 — 12
	・			縮尺	－									島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称	仕上表(2)	縮尺	図面番号 A — 3
	・			図面名称	仕上表(2)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課														
	・																				

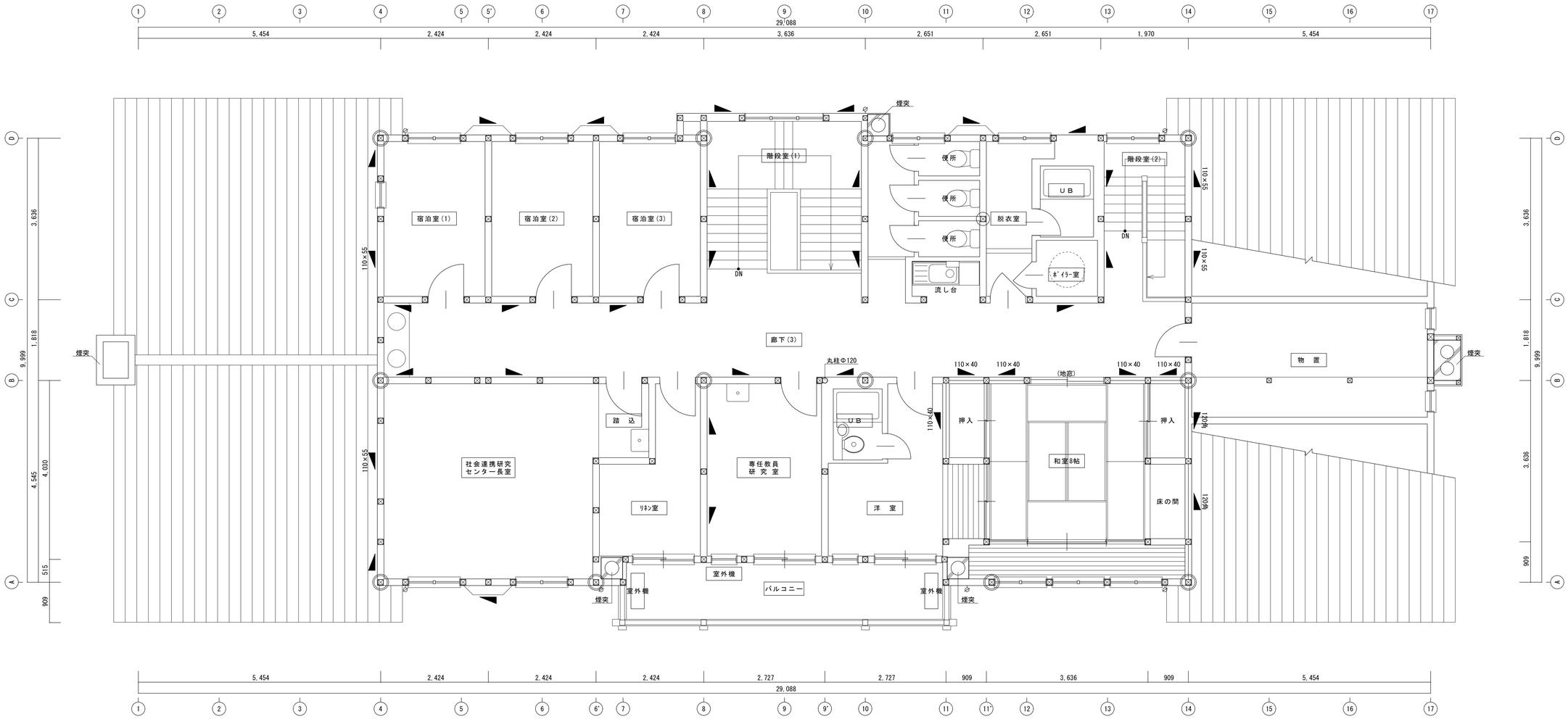
Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055



現況（１期工事着工前） 1階平面図　S=1:50

凡　例	
記　号	内　容
(下) □ ◣ (上) □	筋違(ｼﾝｸﾞﾙ)
	断面寸法の特記の無い筋違は120×120
◎	通し柱を示す
◎	柱(構造上重要な柱)を示す
□	管柱を示す
⊠	土塗り真壁(片面)

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 13 号	課　長	副課長	係　長	係　員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KO BO 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号	56 — 13
	・				縮尺 －															
	・		図面名称	現況　1階平面図	作成 令和4年3月								島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称	現況（１期工事着工前） 1階平面図	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 A — 4
	・					滋賀大学施設管理課														



現況（１期工事着工前） 2階平面図 S=1:50

凡 例	
記 号	内 容
(下) (上)	筋違(ｼﾝｸﾞﾙ)
	断面寸法の特記の無い筋違は120×120
	土塗り真壁(片面)

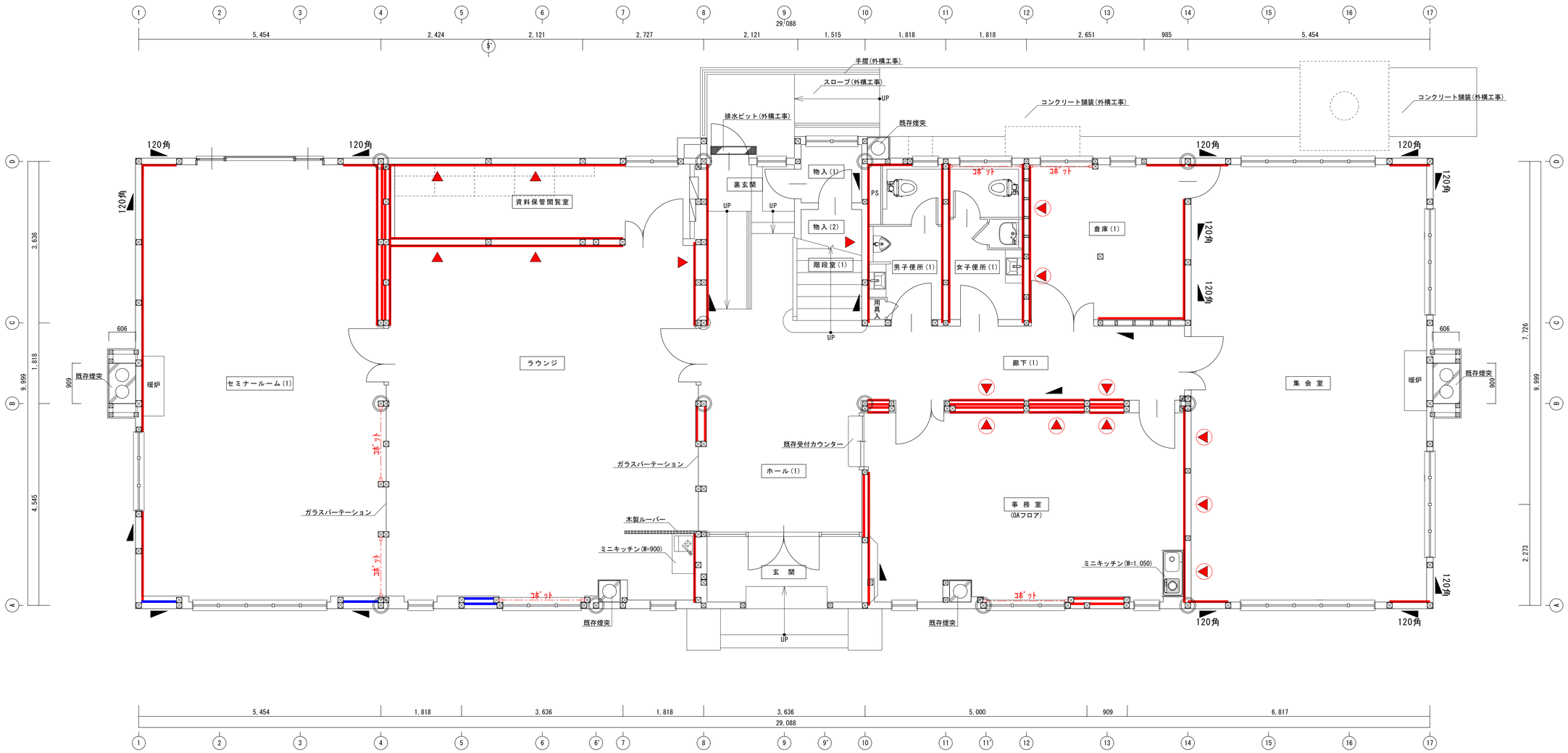
訂正	月 日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 14 号	課 長	副課長	係 長	係 員
	・				縮尺 -				
	・		図面名称	現況 2階平面図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275

Architect & Associate
株式会社
匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055

一級建築士登録第159949号
島 田 廣 巳

設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号
						56 — 14
島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称	現況（１期工事着工前） 2階平面図	縮 尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100
						図面番号 A — 5



改修後　耐力壁配置1階平面図　S=1:50

凡　例		
記　号	内　容	備　考
━━	既存⌀12 構造用合板張り(2.5倍)	大壁又は真壁　釘:N50 @150
━━	既存⌀12 構造用合板張り(3.7倍)	大壁　釘:CN50 @75
▲	既存筋違(120角)ｼﾝｸﾞﾙ	筋違ﾌﾟﾚｰﾄ(3倍用)上下
▲	既存筋違(90×45)ﾀﾞﾌﾞﾙ	筋違ﾌﾟﾚｰﾄ(2倍用)上下
コポット	既存ステンレスブレース(コポット)	既存コポットのステンロッド脱着を行うこと(本工事・計6ヶ所)

凡　例		
記　号	内　容	備　考
(下)◣(上)	既設筋違(ｼﾝｸﾞﾙ)	
	断面寸法の特記の無い筋違は 120×120	

特記

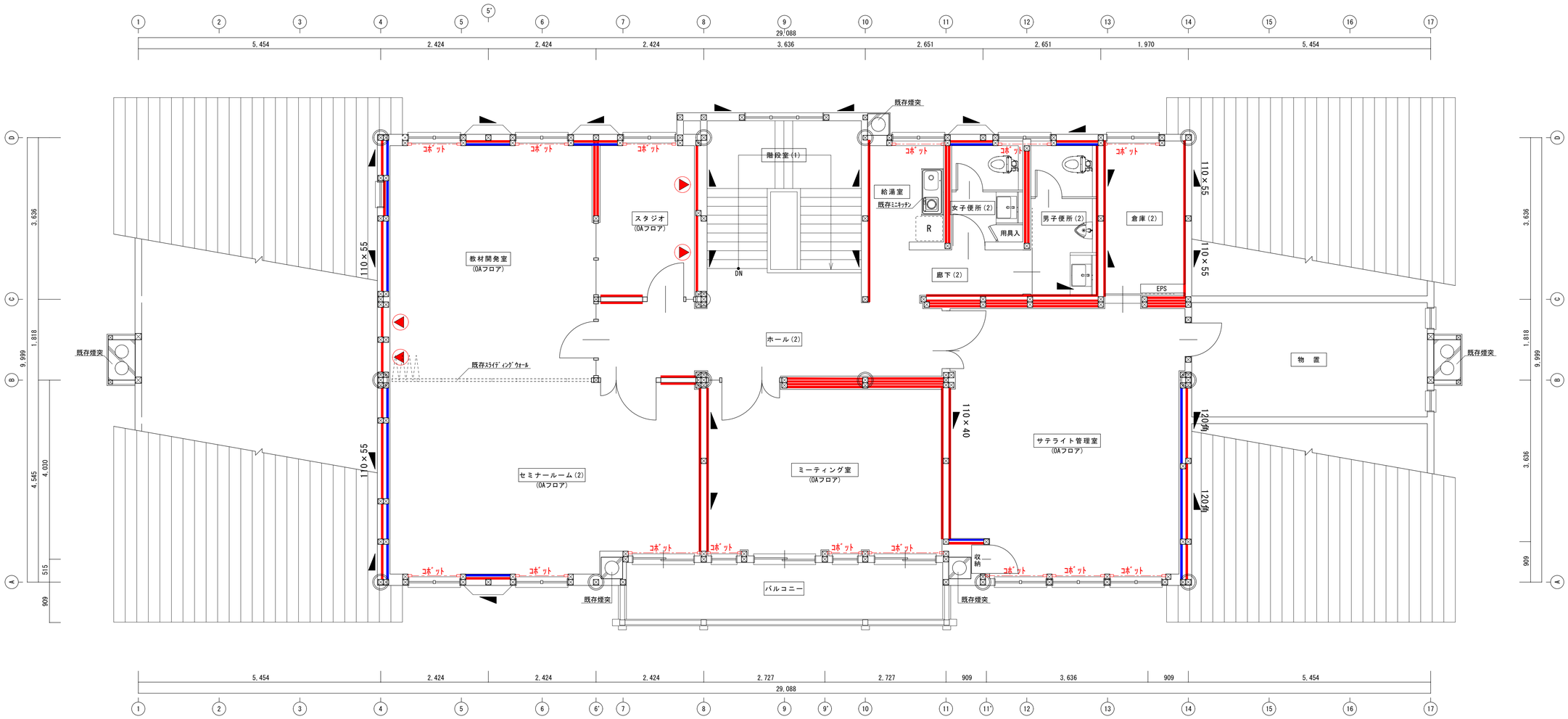
~~1.本工事において既設筋違端部(上下)に筋違ﾌﾟﾚｰﾄを取付すること。既存筋違(120角)においては~~

~~壁倍率3倍用、既存筋違(110×40,110×55)においては壁倍率2倍用の筋違プレートとする。~~

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 15 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	改修後　耐力壁配置1階平面図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 ― 15
島田 廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称	改修後　耐力壁配置1階平面図　縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 A ― 6



改修後　耐力壁配置2階平面図　S=1:50

凡　例		
記　号	内　容	備　考
	既存φ12 構造用合板張り(2.5倍)	大壁又は真壁　釘:N50 @150
	既存φ12 構造用合板張り(3.7倍)	大壁　釘:CN50 @75
▲	既存筋違(120角)ｼﾝｸﾞﾙ	筋違ﾌﾟﾚｰﾄ(3倍用)上下
▲	既存筋違(90×45)ﾀﾞﾌﾞﾙ	筋違ﾌﾟﾚｰﾄ(2倍用)上下
コポット	既存ステンレスブレース(コポット)	

凡　例		
記　号	内　容	備　考
(下)◣(上)	既設筋違(ｼﾝｸﾞﾙ)	
	断面寸法の特記の無い筋違は 120×120	

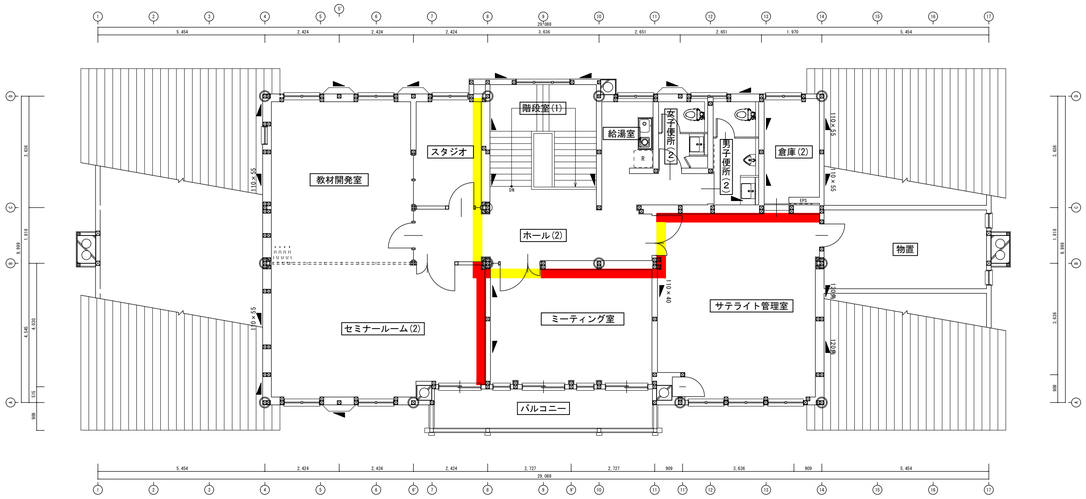
特記

~~1.本工事において既設筋違端部(上下)に筋違ﾌﾟﾚｰﾄを取付すること。既存筋違(120角)においては壁倍率3倍用、既存筋違(110×40,110×55)においては壁倍率2倍用の筋違ﾌﾟﾚｰﾄとする。~~

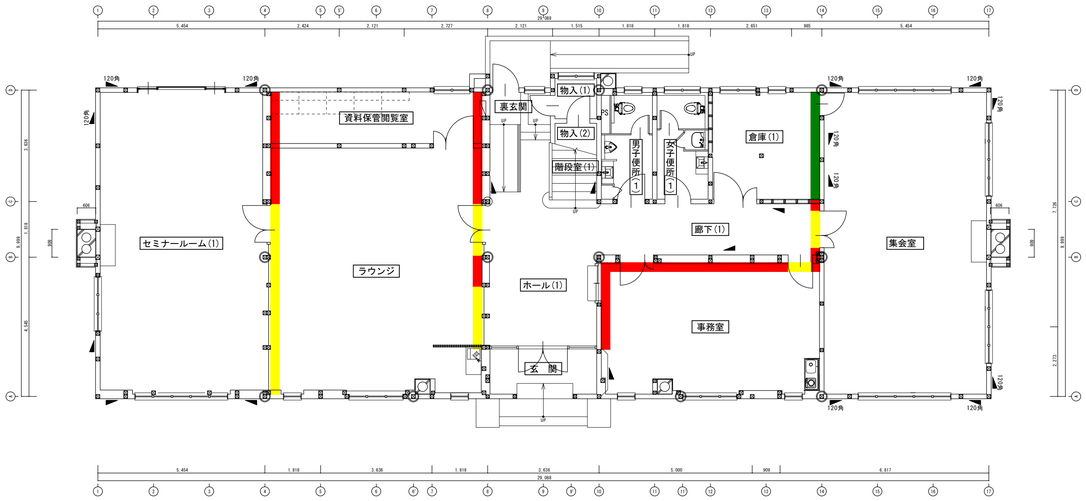
訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 16 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺 -				
	・		図面名称	改修後　耐力壁配置2階平面図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房
TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 16
島田　廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称	改修後　耐力壁配置2階平面図	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100
						図面番号 A — 7

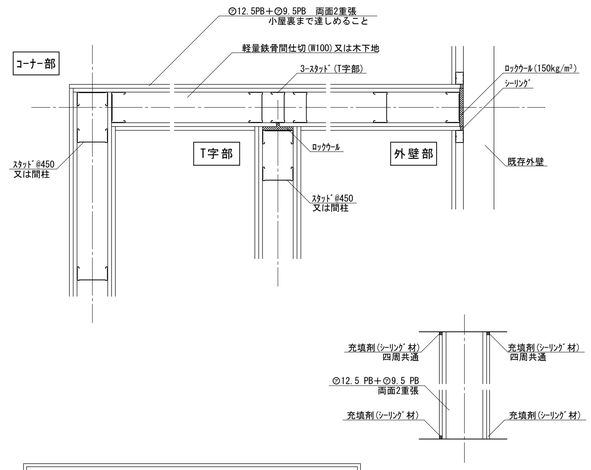


2階　区画位置図　S=1:50



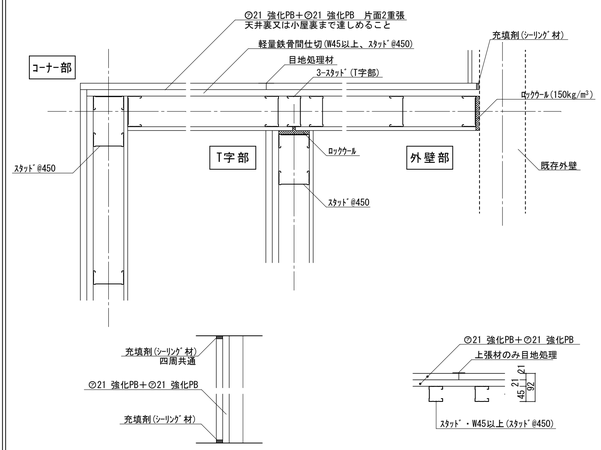
1階　区画位置図　S=1:50

ＤＳ-①	防火上主要な間仕切壁（両面施工）詳細図	S=1:10



防火上主要間仕切壁(準耐火構造)　【告示仕様】

ＤＳ-②	防火上主要な間仕切壁（片面施工）詳細図	S=1:10



防火上主要間仕切壁(準耐火構造)【FP060NP-0192】

特記　1.防火上主要な間仕切壁の設置はすべて１期工事(本工事)の範囲とする

凡　例

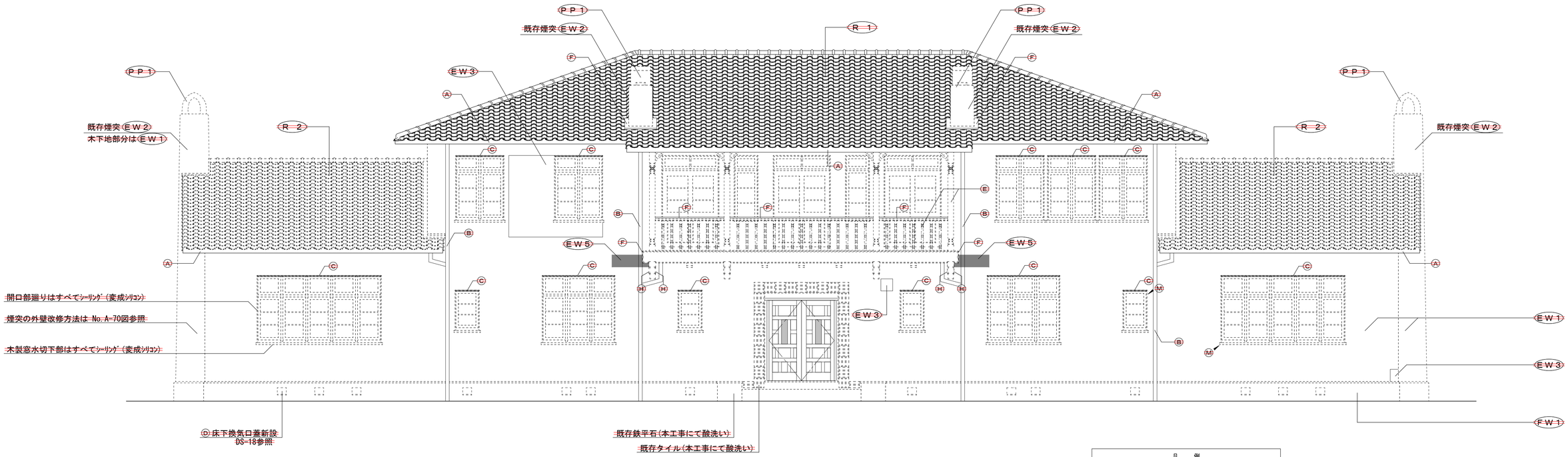
記　号	内　　容	備　　考
	防火上主要な間仕切壁　天井裏又は小屋裏まで達せしめる	DS-① 参照
	【両面2重張】⊘12.5 PB＋⊘9.5 PB　木下地又は軽量鉄骨下地	H12建設省告示第1358号
	準耐火構造　設備配管等の区画貫通処理は設備工事の範囲	
	防火上主要な間仕切壁　天井裏又は小屋裏まで達せしめる	DS-② 参照
	【片面2重張】⊘21 強化PB＋⊘21 強化PB　軽量鉄骨下地	FP060NP-0007
	準耐火構造　設備配管等の区画貫通処理は設備工事の範囲	
	防火上主要な間仕切壁(天井裏のみ)　天井裏又は小屋裏まで達せしめる	DS-① 参照
	【両面2重張】⊘12.5 PB＋⊘9.5 PB　木下地又は軽量鉄骨下地	H12建設省告示第1358号
	準耐火構造　設備配管等の区画貫通処理は設備工事の範囲	

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 17 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	区画位置図・区画詳細図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 17
島田 廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称	区画位置図・区画詳細図　縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 A — 8

凡　例	
記　号	内　容
	既存のままの部分を示す
	改修部分を示す

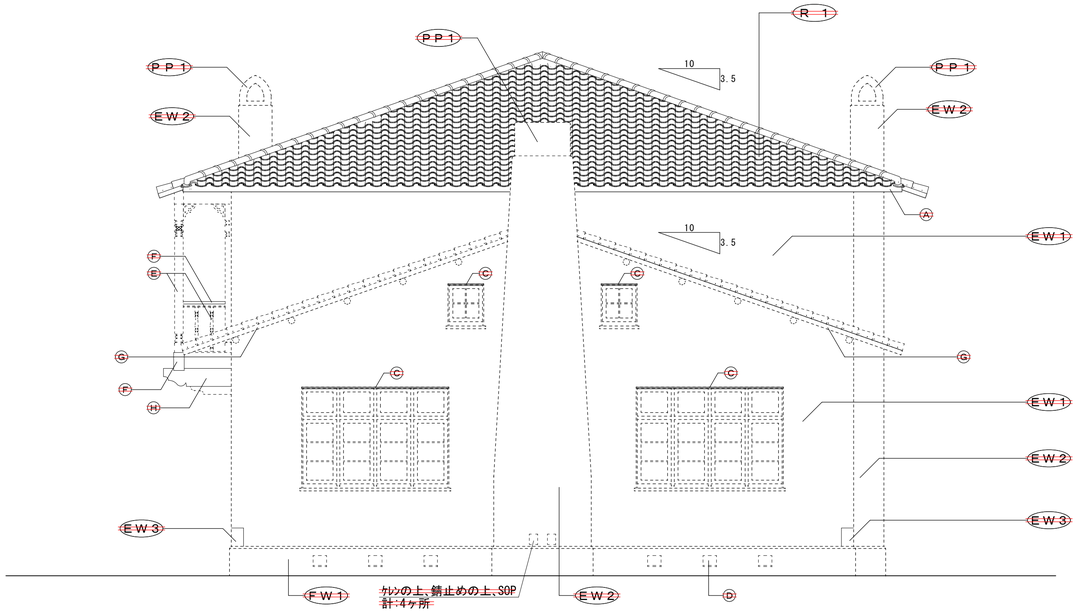


改修後　東立面図　S=1:50

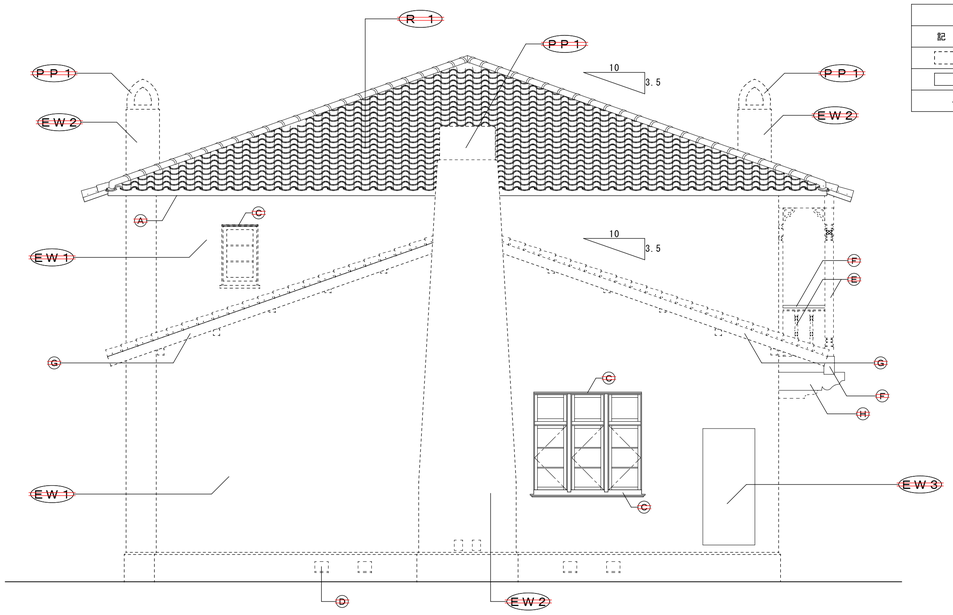
凡　例	
記　号	内　容
(M)	部分的なモルタル充填ヶ所を示す。

特記　1.本工事及び別途設備工事による撤去工事にて外壁に孔が残る部分はすべてモルタル補修の上、
外壁改修工事を行うこと
2.　(EW4)(FW2)　の範囲はNo.A-72・A-73図参照

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事	56 枚のうち　18 号	課　長	副課長	係　長	係　員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その２)	整理番号	56 — 18
	・				縮尺　－														
	・		図面名称	改修後　立面図(1)	作成　令和4年3月					滋賀県 米原市 柏原4316-6	TEL 0749-57-1055	島田　廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称	改修後　立面図(1)	縮　尺 A1　S=1:50 A3　S=1:100	図面番号 A — 9
	・								滋賀大学施設管理課										

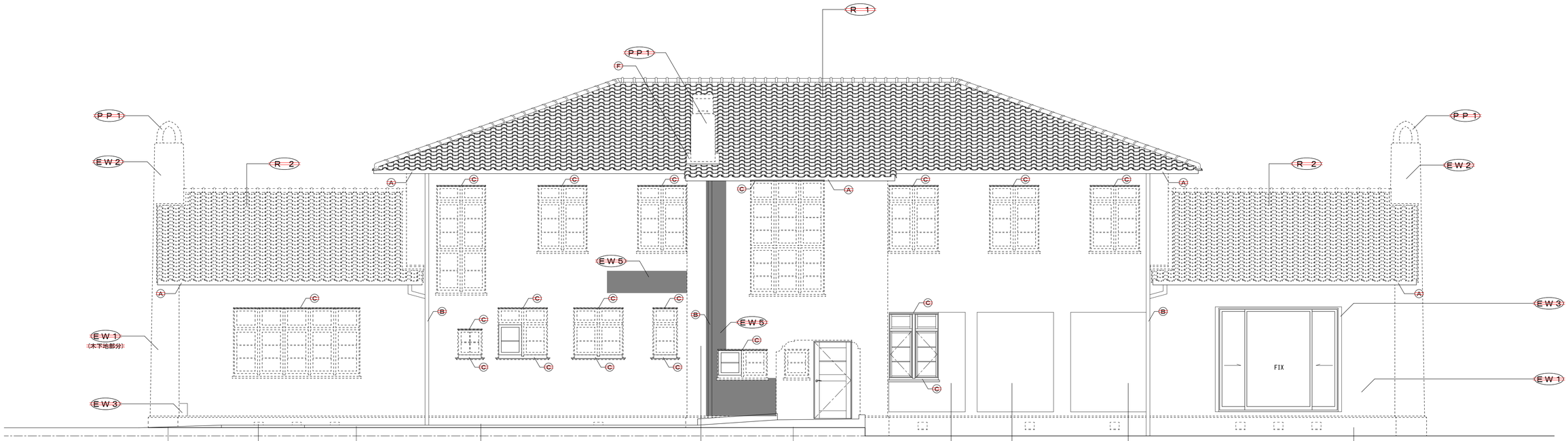


改修後　北立面図　S=1:50



改修後　南立面図　S=1:50

凡　例	
記　号	内　容
	既存のままの部分を示す
	改修部分を示す
	ｼｰﾘﾝｸﾞ（変成ｼﾘｺﾝ）箇所を示す



改修後　西立面図　S=1:50

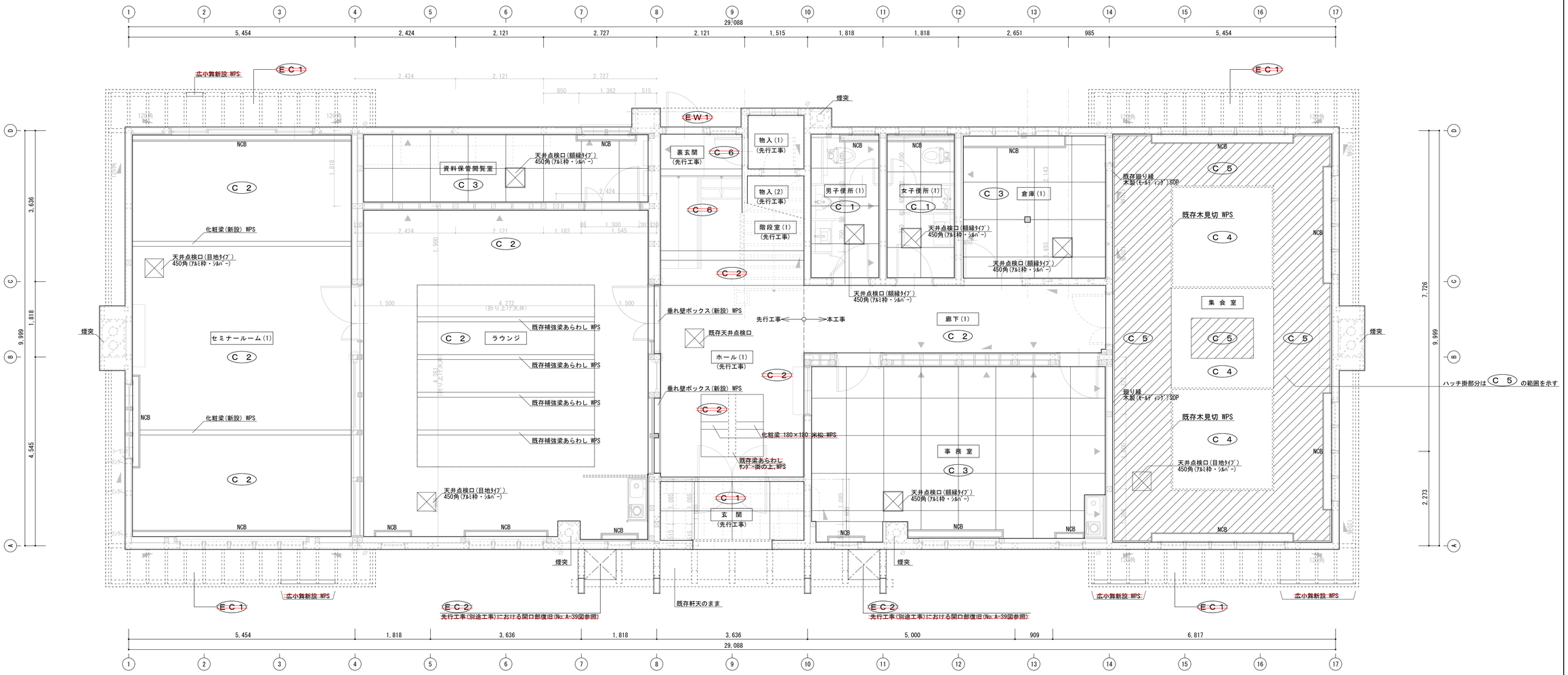
訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 19 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	改修後　立面図(2)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社
匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 19
島田　廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称 改修後　立面図(2)	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 A — 10

凡　例	
記　号	内　容
----------	既存のままの部分を示す
————	改修部分(新設部材)を示す
NCB	新設カーテンボックスを示す
☒	天井点検口(目地タイプ)　450角
	アルミ枠(シルバー)　計：3ヶ所
☒	天井点検口(額縁タイプ)　450角
	アルミ枠(シルバー)　計：5ヶ所

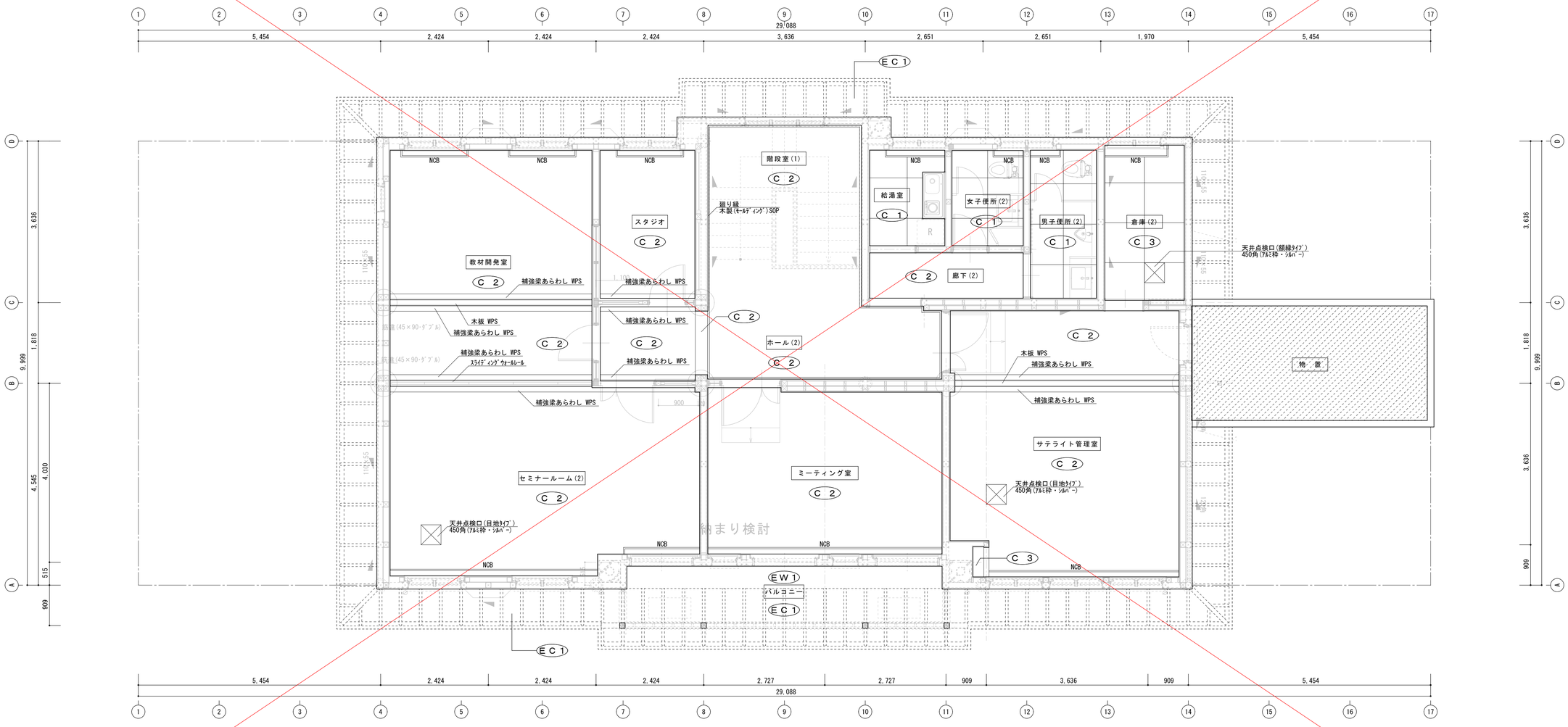
特記　1. 本工事にて新設する天井点検口(計8ヶ所)の設置位置は
　　現場監督職員の指示位置とする



改修後　1階天井伏図　　S=1:50

訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 20 号	課長	副課長	係長	係員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 20
	・			図面名称	改修後1階天井伏図	縮尺 －								島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称	改修後1階天井伏図	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100
	・					作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課													図面番号 A — 11
	・																			

凡　例	
記　号	内　容
- - - - - - - -	既存のままの部分を示す
————	改修部分(新設部材)を示す
▨	既存天井のままの範囲を示す
NCB	新設カーテンボックスを示す



改修後　2階天井伏図　S=1:50

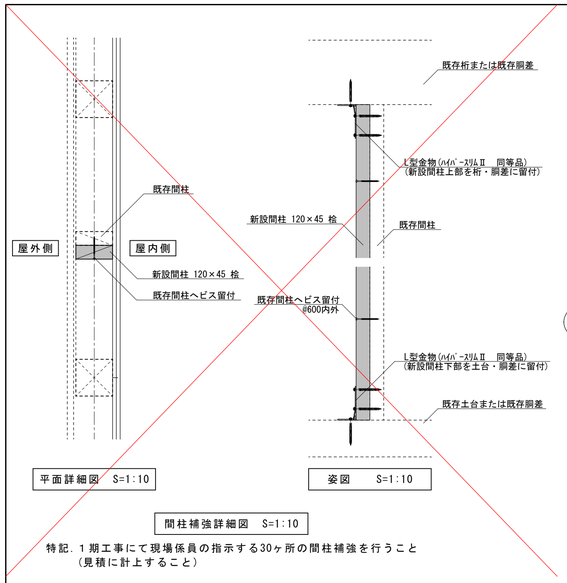
訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事	56 枚のうち 21 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺 -				
	・		図面名称	改修後2階天井伏図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275

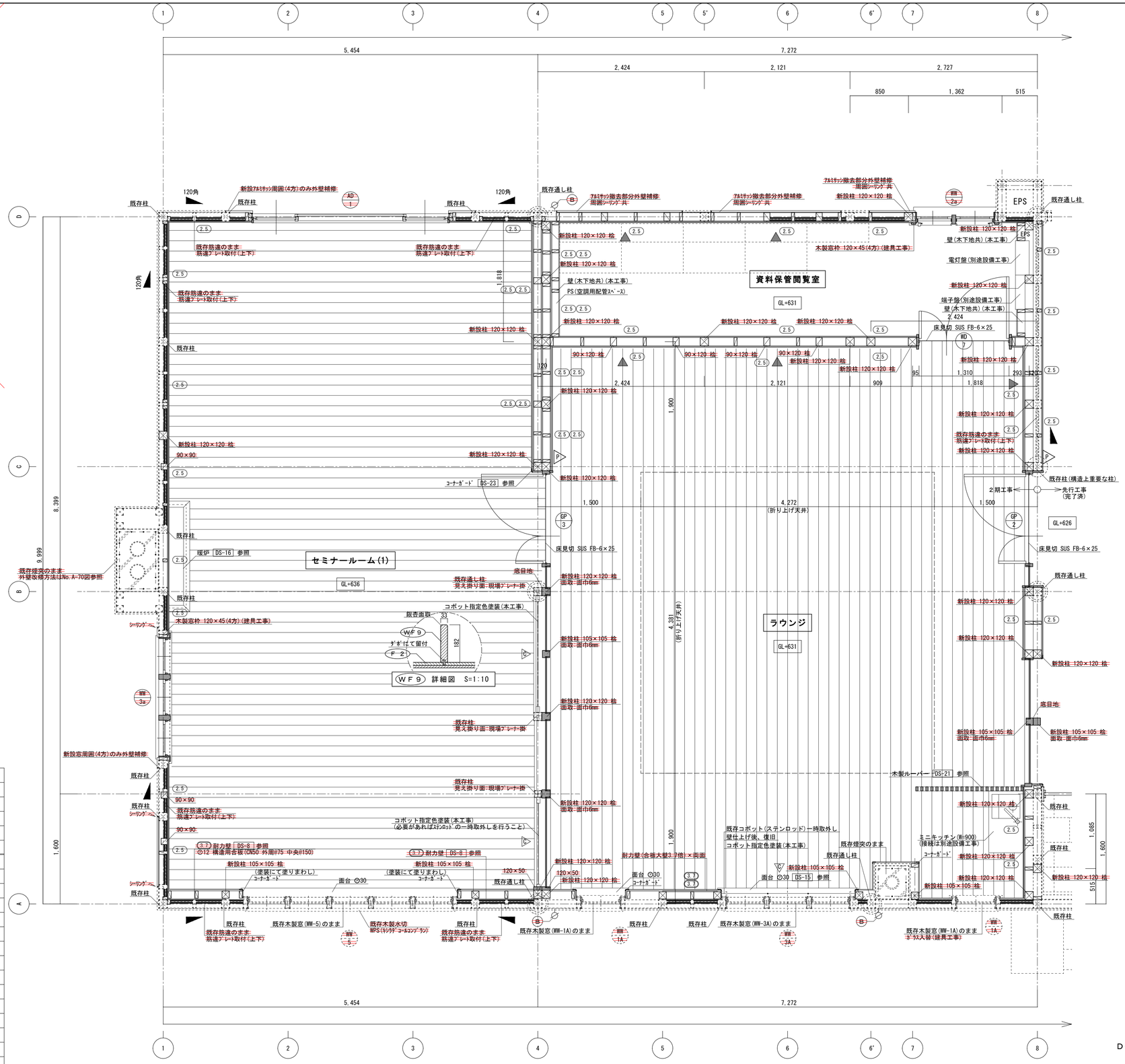
Architect & Associate
株式会社
匠工房
TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055

一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

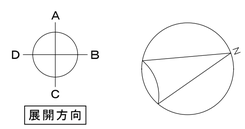
設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その2) 2期工事	整理番号 56 — 21
島田 廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称 改修後2階天井伏図	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 A — 12



特記．1期工事にて現場係員の指示する30ヶ所の間柱補強を行うこと
(見積に計上すること)



改修後 1階平面詳細図(1)　S=1:30



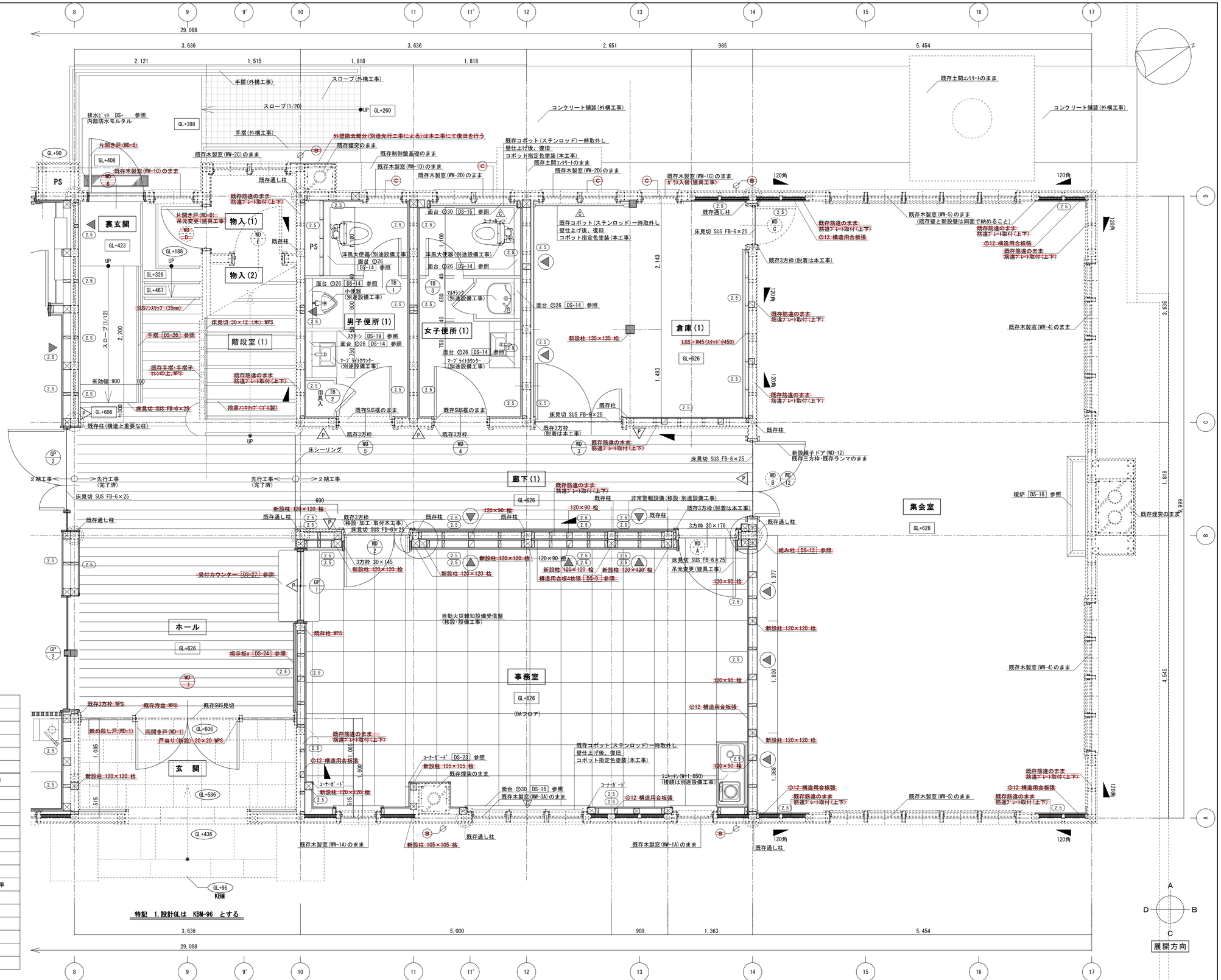
展開方向

凡例			
記号	内容		
――――	新設の部分を示す		
- - - - -	既存のままの部分を示す		
▭	改修後の仕上レベルを示す		
⬭	現況のレベルを示す		
記号	名称	内容	備考
⊠	柱	120×120　桧(一等)	
Ⅱ	間柱	45×120　桧(一等)	
Ⅱ	造作材	特記なき造作材は外部は米ヒバ 内部は米松及び米栂(上小節)・杉(赤白・上小節)	
∅	既存竪樋	Ⓑ カラーVU　Φ75　足元補除口付　掴み金物#1,300	
△A	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	平付型 150×150 (SUS製・印刷共)	
▽A	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	突出型 150×150 (SUS製・印刷共)	
誘	誘導標識		
消	消火器	ABC粉末10型　設置台共	別途工事
(下)◣□ (上)□◢	既存筋違	既存筋違(ｼﾝｸﾞﾙ)　筋違金物(3倍用)取付は本工事 断面寸法の特記の無い筋違は120×120	
▲	既存筋違	筋違(120×120 ｼﾝｸﾞﾙ)新設 筋違金物(3倍用)取付共	
◮	既存筋違	筋違(90×45 ﾀﾞﾌﾞﾙ)新設 筋違金物(2倍用)取付共	
△	既存 ｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾚｰｽ	ｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾚｰｽ(ｺﾎﾞｯﾄ)　見え掛り部:指定色塗装(本工事)	本工事にて既存ｺﾎﾞｯﾄのｽﾃﾝﾛｯﾄﾞ計6ヶ所の脱着を行うこと
(2.5)	既存 構造用合板張	⊘12 構造用合板(釘:N50 @150)　大壁又は真壁	
(3.7)	既存 構造用合板張	⊘12 構造用合板(釘:CN50 @75)　大壁	

特記事項

1. ~~特記なくも、外部の新設見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする~~
2. ✐ はシーリング(変成シリコン)箇所を示す

訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その2)	56 枚のうち 22 号	課長	副課長	係長	係員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その3)	整理番号	56 — 22
	・			図面名称	改修後　1階平面詳細図(1)	縮尺 -						Architect & Associate		島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称	改修後　1階平面詳細図(1)	縮尺 A1 S=1:30 A3 S=1:60	図面番号 A — 13
	・					作成 令和4年3月															
	・						滋賀大学施設管理課					滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055									



特記 1.設計GLは KBM-96 とする

凡 例	
記 号	内 容
――――	新設の部分を示す
- - - - -	既存のままの部分を示す
▭	改修後の仕上レベルを示す
◯	現況のレベルを示す

記 号	名 称	内 容	備 考
⊠	柱	120×120 桧(一等)	
▯	間柱	45×120 桧(一等)	
Ⅱ	造作材	特記なき造作材は外部は米ヒバ 内部は米松及び米栂(上小節)・杉(赤白・上小節)	
∅	既存竪樋	Ⓑ カラーVU Φ75 足元掃除口付 揚み金物@1,300	
△A	ピクトサイン	平付型 150×150 (SUS製・印刷共)	
▽V	ピクトサイン	突出型 150×150 (SUS製・印刷共)	
誘	誘導標識		
消	消火器	ABC粉末10型 設置台共	別途工事
(下)◣(上)	既存筋違	既存筋違(シングル) 筋違金物(3倍用)取付は本工事 断面寸法の特記の無い筋違は120×120	
▲	既存筋違	筋違(120×120 シングル)新設 筋違金物(3倍用)取付共	
◮	既存筋違	筋違(90×45 ダブル)新設 筋違金物(2倍用)取付共	
△S	既存 ステンレスブレース	ステンレスブレース(コボット) 見え掛り部:指定色塗装(本工事)	
2.5	既存 構造用合板張	Φ12 構造用合板(釘:N50 @150) 大壁又は真壁	
3.7	既存 構造用合板張	Φ12 構造用合板(釘:CN50 @75) 大壁	

特記事項

~~1. 特記なくも、外部の新設見え掛り本部はすべてWPS(ｷﾝﾗﾌﾞｺｰﾄ) 2回塗りとする~~

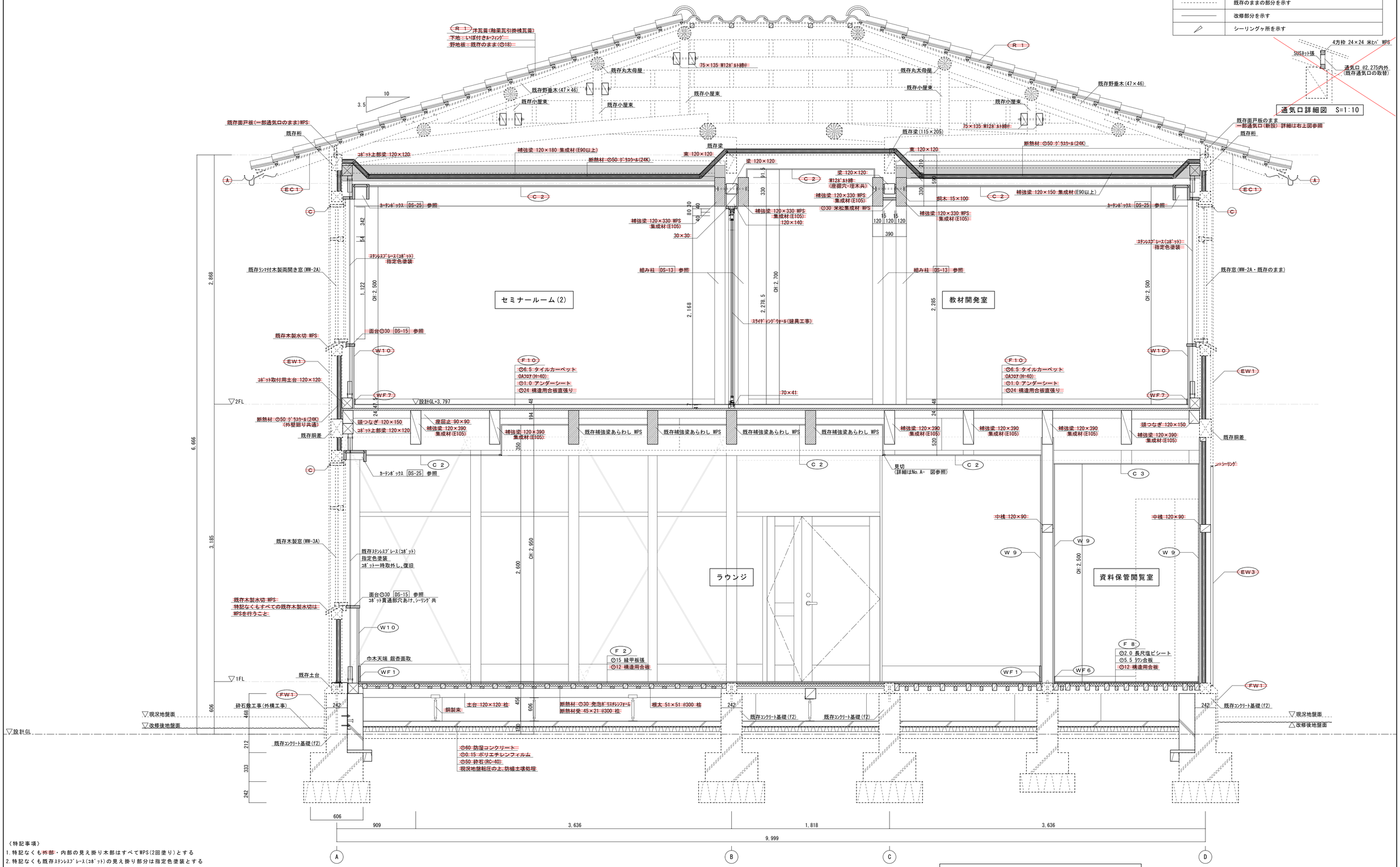
2. ✐ はシーリング(変成シリコン)箇所を示す

展開方向

改修後 1階平面詳細図(2) S=1:30

訂正	月 日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その2)	56 枚のうち 23 号	課 長	副課長	係 長	係 員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その3)	整理番号 56 — 23
	・				縮尺 -								島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称	改修後 1階平面詳細図(2)	縮尺 A1 S=1:30 A3 S=1:60
	・		図面名称	改修後 1階平面詳細図(2)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課													図面番号 A — 14
	・																		

凡 例	
記 号	内 容
----------	既存のままの部分を示す
————	改修部分を示す
✎	シーリングヶ所を示す



改修後 矩計図(1)【ﾗｳﾝｼﾞ～資料保管閲覧室】 S=1:20

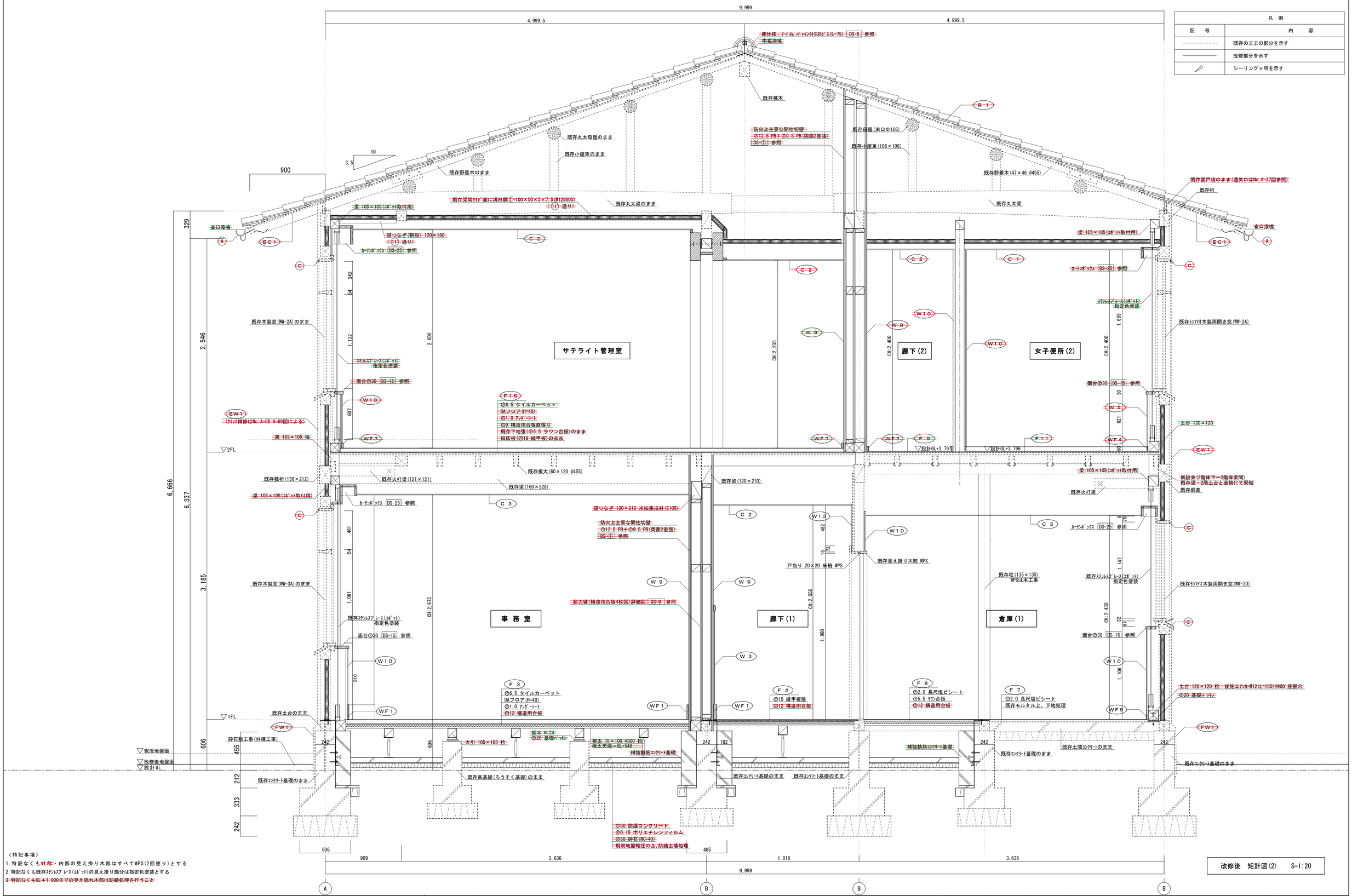
（特記事項）
1.特記なくも~~外部~~・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする
2.特記なくも既存ｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾚｰｽ(ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄ)の見え掛り部分は指定色塗装とする
~~3.特記なくもGL＋1,000までの見え隠れ木部は防蟻処理を行うこと~~

訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 24 号	課 長	副 課 長	係 長	係 員
	・					縮尺 －				
	・			図面名称	改修後 矩計図(1)【ﾗｳﾝｼﾞ～資料保管閲覧室】	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・									

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号 島田 廣巳

設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	整理番号
				滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 24
島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称 改修後 矩計図(1)【ﾗｳﾝｼﾞ～資料保管閲覧室】	縮 尺 A1 S=1:20 A3 S=1:40 / 図面番号 A — 15

凡 例	
記 号	内 容
----------	既存のままの部分を示す
————	改修部分を示す
／	シーリング ヶ所を示す

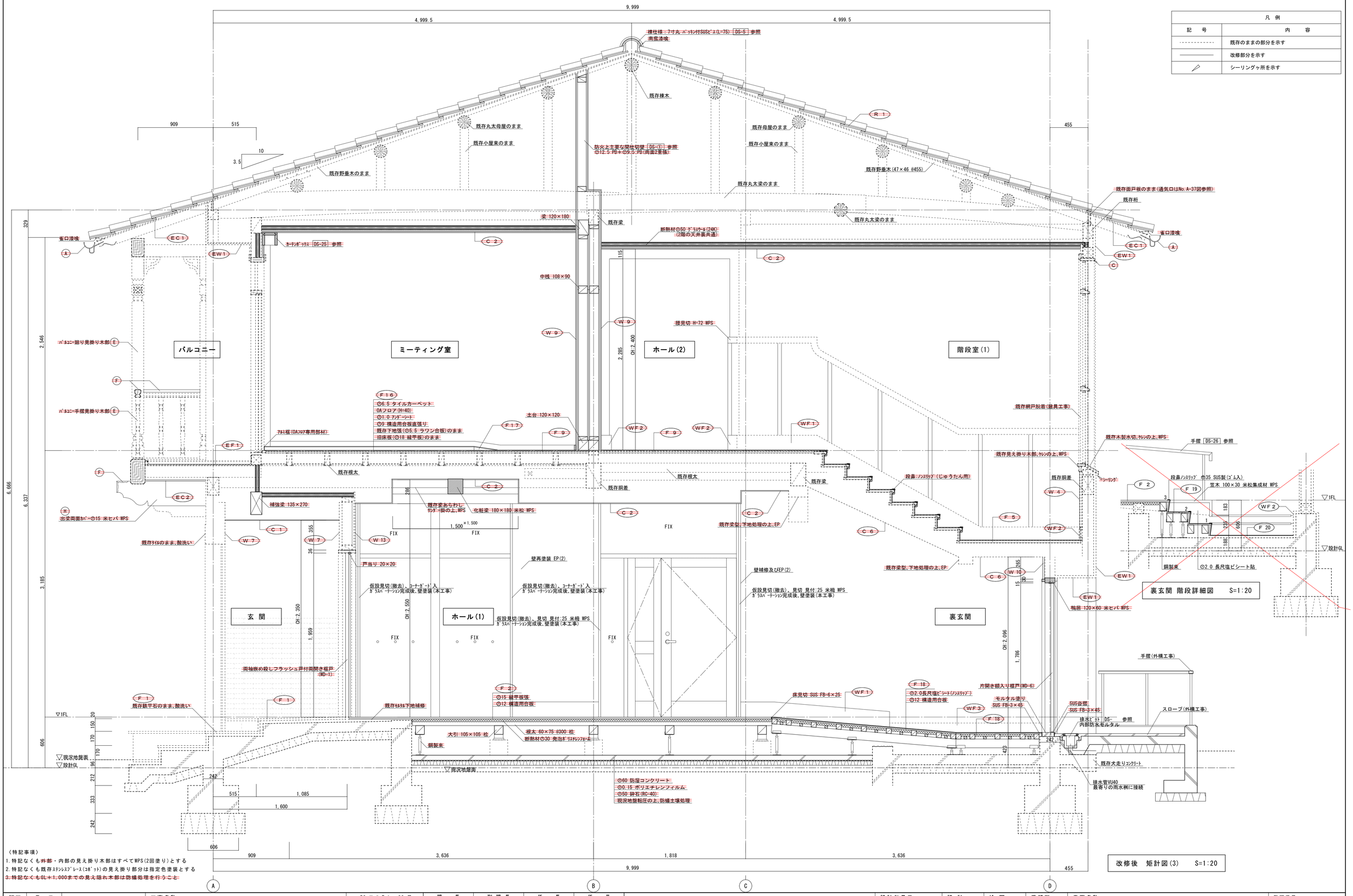


（特記事項）

1. 特記なくも~~外部~~・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする
2. 特記なくも既存ｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾚｰｽ(ｺﾎﾞｯﾄ)の見え掛り部分は指定色塗装とする
~~3. 特記なくもGL＋1,000までの見え隠れ木部は防蟻処理を行うこと~~

改修後　矩計図(2)　S=1:20

訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 25 号	課 長	副 課 長	係 長	係 員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島 田 廣 巳	設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称 滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 25
	・			縮尺	－									島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称 改修後 矩計図(2)【事務室～倉庫(1)】	縮 尺 A1 S=1:20 A3 S=1:40
	・			図面名称	改修後 矩計図(2)【事務室～倉庫(1)】	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課												図面番号 A — 16
	・																		



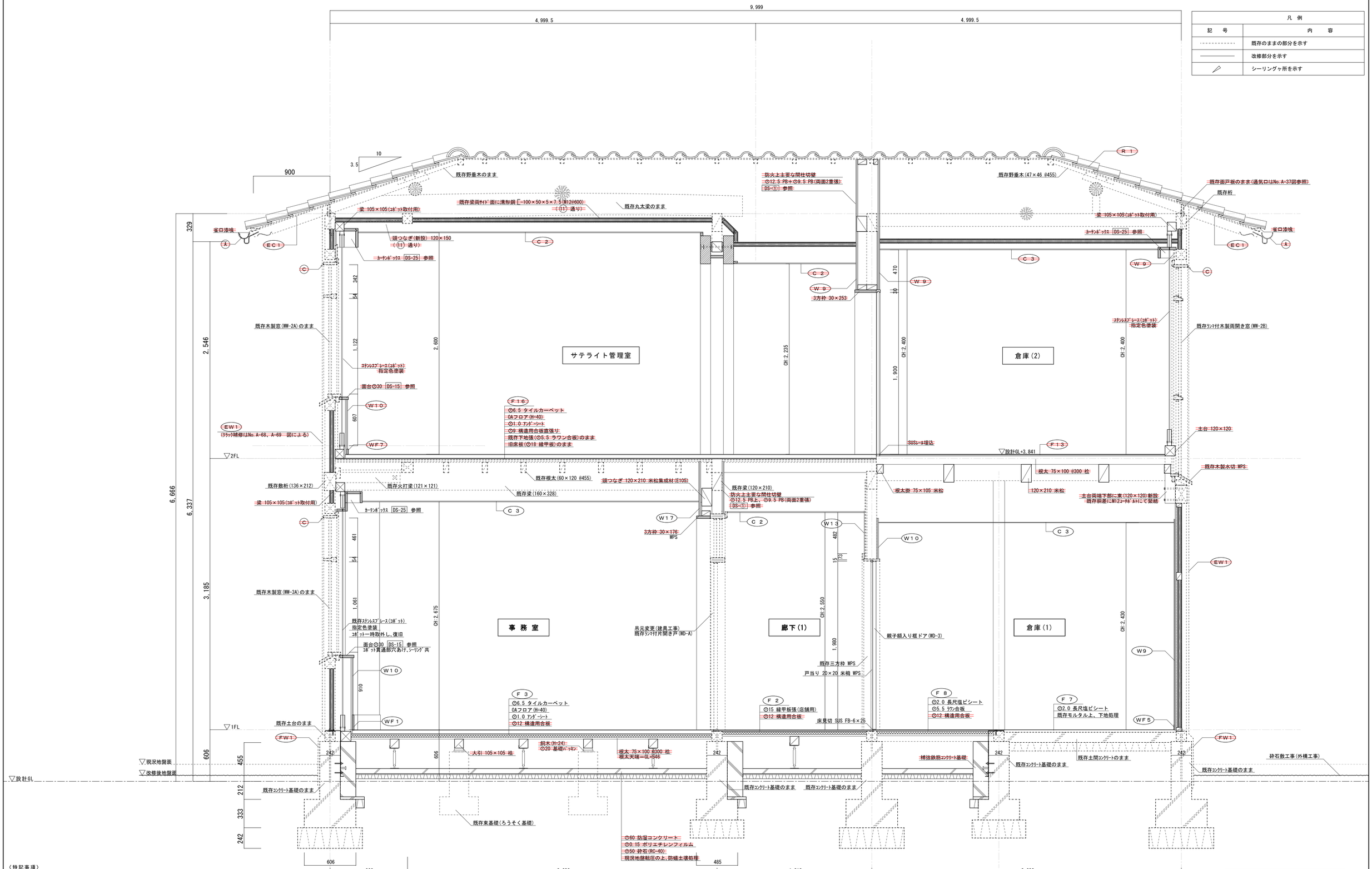
〈特記事項〉
1. 特記なくも外部・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする
2. 特記なくも既存ｽﾃﾝﾚｽﾌﾟﾚｰｽ(ｺﾎﾟｯﾄ)の見え掛り部分は指定色塗装とする
3. 特記なくもGL＋1,000までの見え隠れ木部は防蟻処理を行うこと

訂正	月 日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その2)	56 枚のうち 26 号	課 長	副 課 長	係 長	係 員
	・				縮尺 -				
	・		図面名称	改修後 矩計図(3)【玄関～裏玄関】	作成 令和4年3月				
	・					滋賀大学施設管理課			

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ
一級建築士登録第159949号 島田 廣巳
滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055

設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その3)	整理番号 56 — 26
島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称 改修後 矩計図(3)【玄関～裏玄関】	縮 尺 A1 S=1:20 A3 S=1:40	図面番号 A — 17

凡 例	
記 号	内 容
----------	既存のままの部分を示す
————	改修部分を示す
✎	シーリング ヶ所を示す



〈特記事項〉

1. 特記なくも~~外部~~・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする
2. 特記なくも既存ｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾚｰｽ(ｺﾎﾞｯﾄ)の見え掛り部分は指定色塗装とする
~~3. 特記なくもGL＋1,000までの見え隠れ木部は防蟻処理を行うこと~~

改修後 矩計図(4) S=1:20

訂正	月	日	工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その2)	56 枚のうち 27 号	課 長	副 課 長	係 長	係 員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	改修後 矩計図(4)【事務室～倉庫(1)】	作成 令和4年3月				
	・					滋賀大学施設管理課			

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275

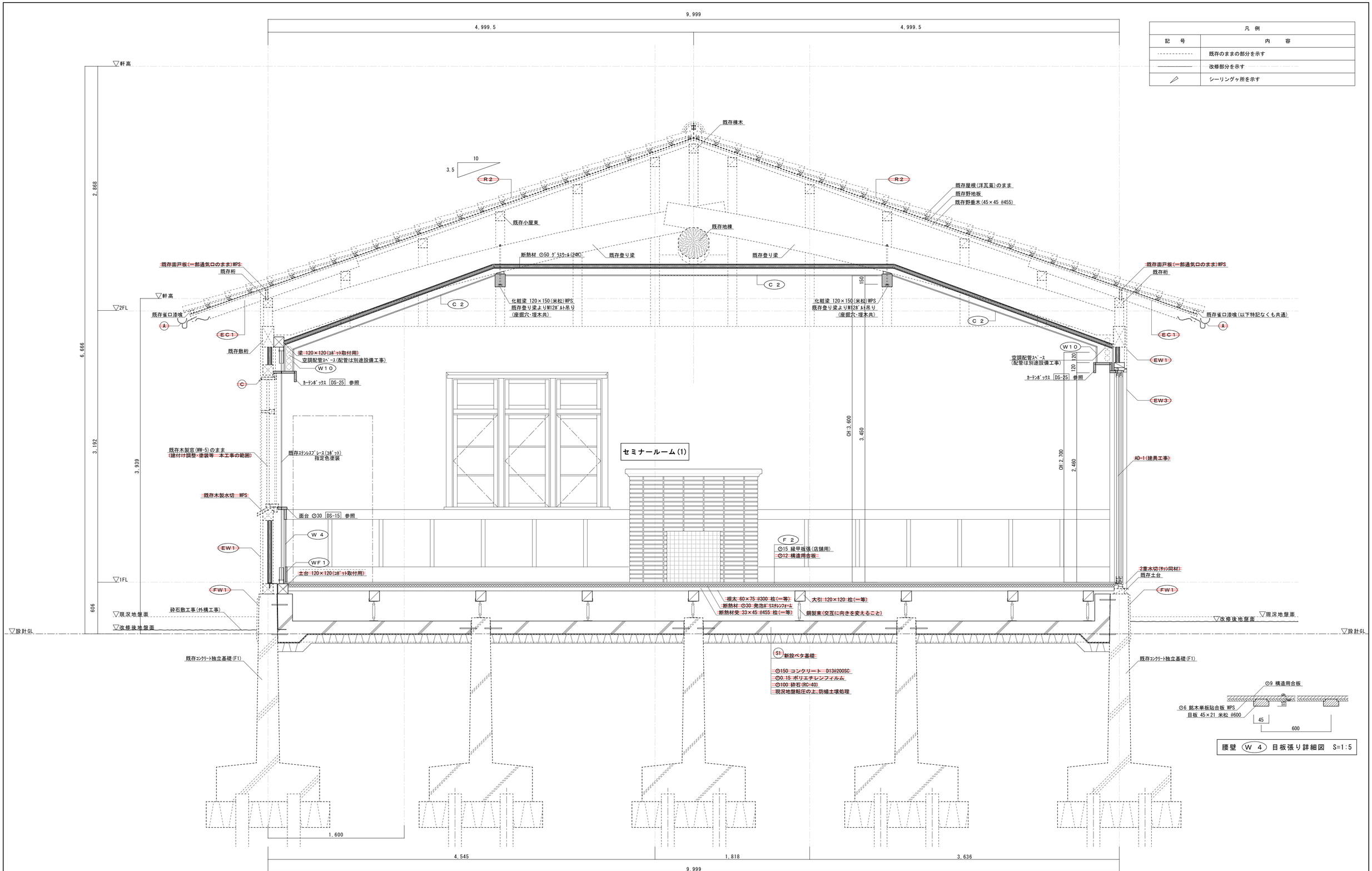
Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ

滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055

一級建築士登録第159949号 島田 廣巳

設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その3)	整理番号 56 — 27
島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称	改修後 矩計図(4)【事務室～倉庫(1)】	縮 尺 A1 S=1:20 A3 S=1:40
						図面番号 A — 18

凡 例	
記 号	内 容
- - - - - - - -	既存のままの部分を示す
————	改修部分を示す
✎	シーリングヶ所を示す



腰壁 W4 目板張り詳細図 S=1:5

〈特記事項〉
1.特記なくも外部・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする
2.特記なくも既存ｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾚｰｽ(ｺﾎﾞｯﾄ)の見え掛り部分は指定色塗装とする
3.特記なくもGL＋1,000までの見え隠れ木部は防蟻処理を行うこと

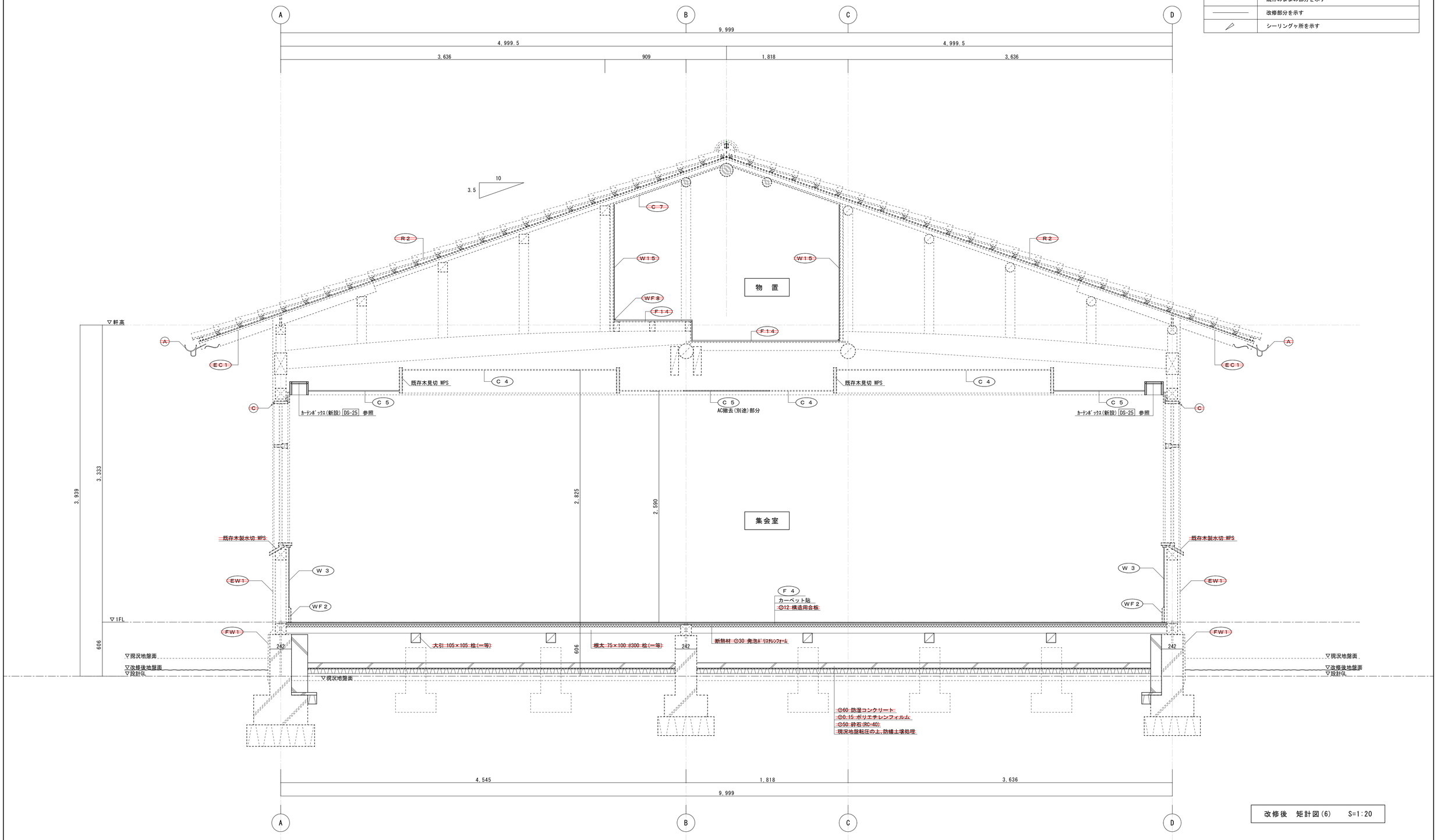
改修後 矩計図(5)【ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(1)】 S=1:20

訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 28 号	課 長	副課長	係 長	係 員
	・					縮尺 -				
	・			図面名称	改修後 矩計図(5)【ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(1)】	作成 令和4年3月				
	・						滋賀大学施設管理課			

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房
TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	整理番号
				滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 28
島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称 改修後 矩計図(5)【ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(1)】	縮 尺 A1 S=1:20 A3 S=1:40 / 図面番号 A — 19

凡　例	
記　号	内　容
- - - - - - - -	既存のままの部分を示す
————	改修部分を示す
✎	シーリングヶ所を示す



改修後　矩計図(6)　S=1:20

〈特記事項〉

1. 特記なくも~~外部~~・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする

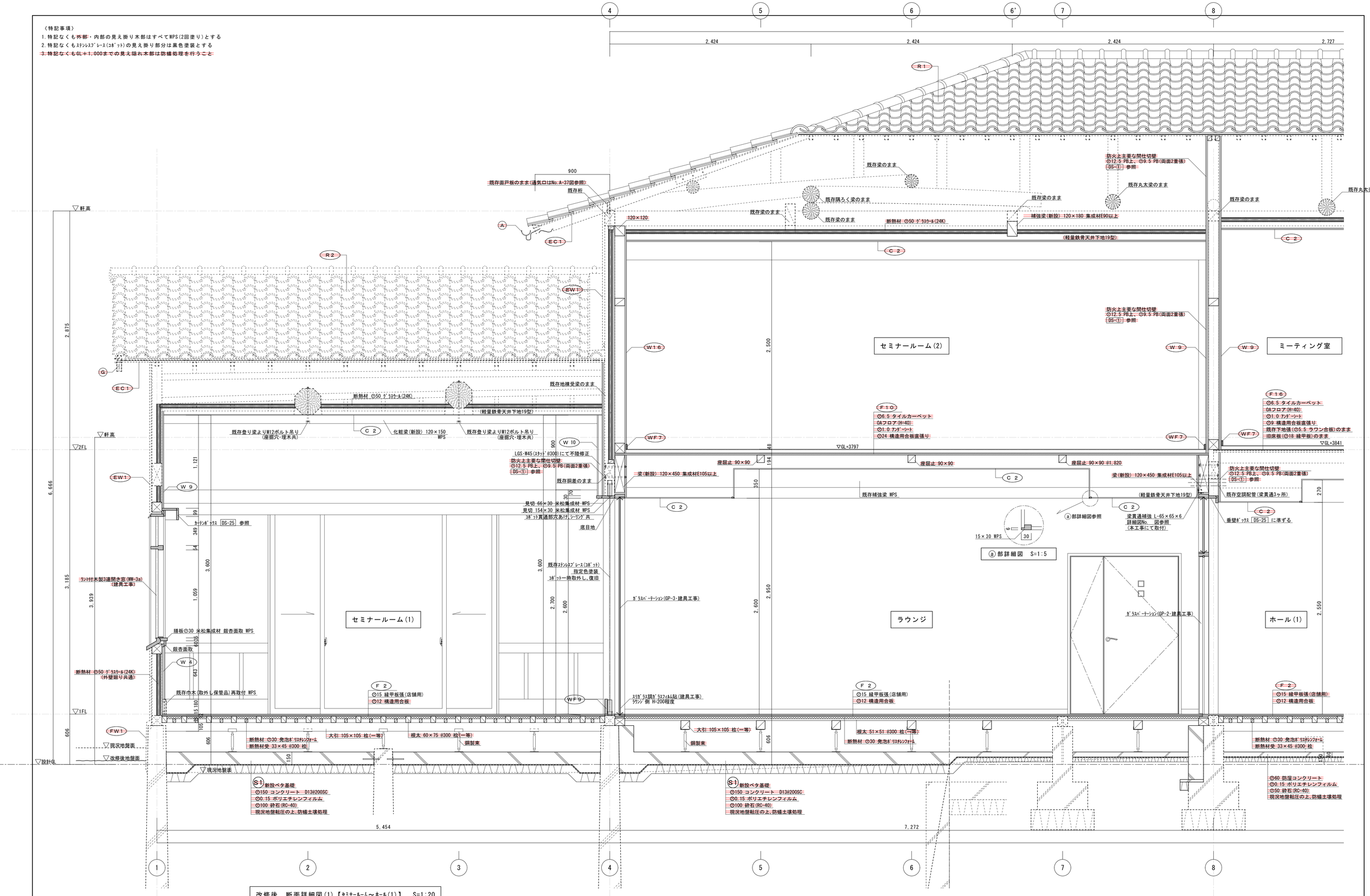
~~2. 特記なくもGL＋1,000までの見え隠れ木部は防蟻処理を行うこと~~

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 29 号	課　長	副 課 長	係　長	係　員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	改修後　矩計図(6)【集会室】	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島 田 廣 巳

設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 29
	島田　廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称 改修後　矩計図(6)【集会室】	縮　尺 A1 S=1:20 A3 S=1:40	図面番号 A — 20

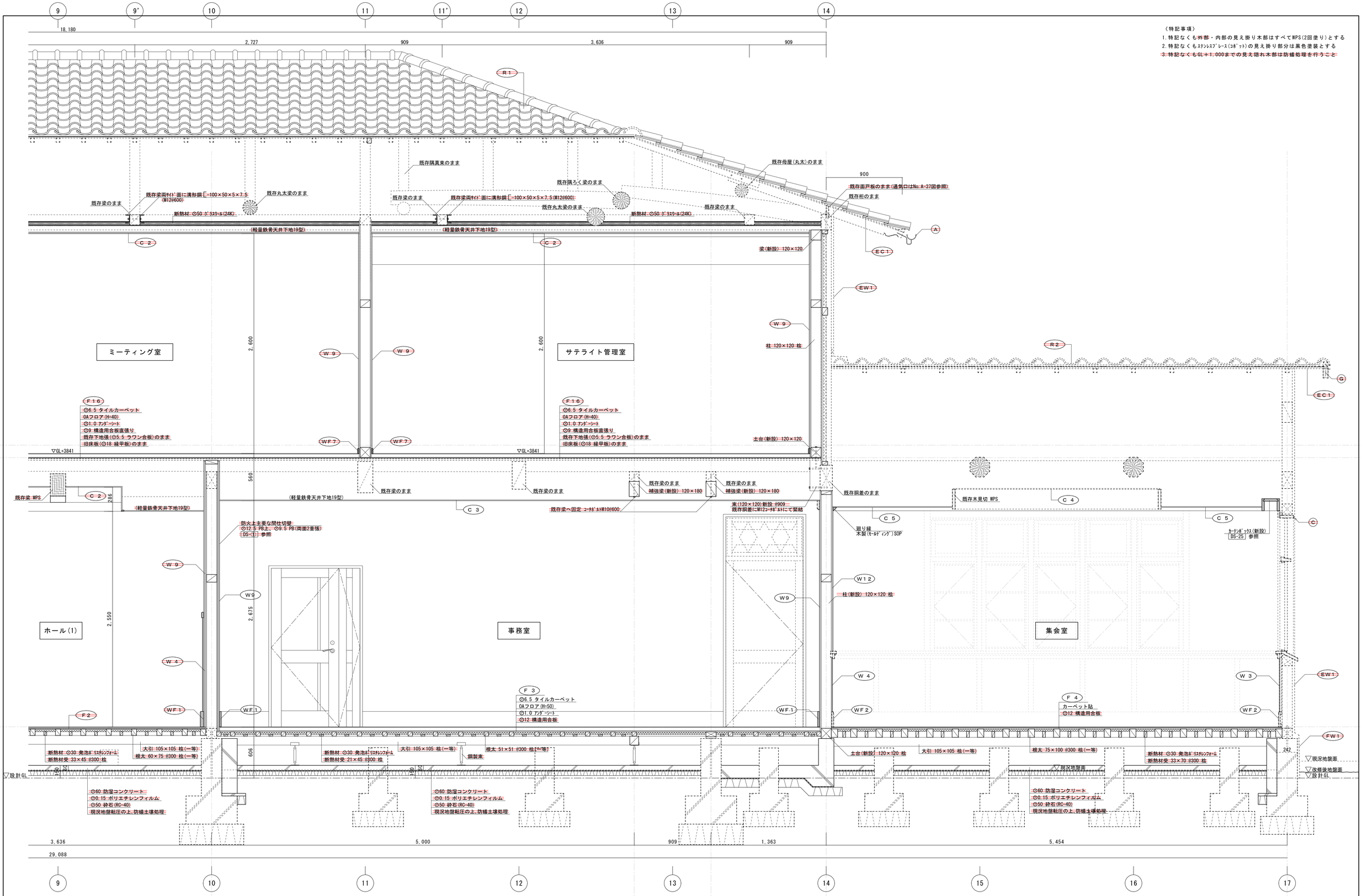
〈特記事項〉
1. 特記なくも~~外部~~・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする
2. 特記なくもｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾚｰｽ(ｺﾎﾞｯﾄ)の見え掛り部分は黒色塗装とする
~~3. 特記なくもGL＋1,000までの見え隠れ木部は防蟻処理を行うこと~~



改修後　断面詳細図(1)【ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ～ﾎｰﾙ(1)】　S=1:20

工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 30 号	課　長	副課長	係　長	係　員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称 滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 30
図面名称	改修後　断面詳細図(1)【ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ～ﾎｰﾙ(1)】	縮尺 － 作成 令和4年3月				滋賀大学施設管理課				島田　廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称 改修後　断面詳細図(1)【ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ～ﾎｰﾙ(1)】 縮尺 A1 S=1:20 A3 S=1:40	図面番号 A — 21

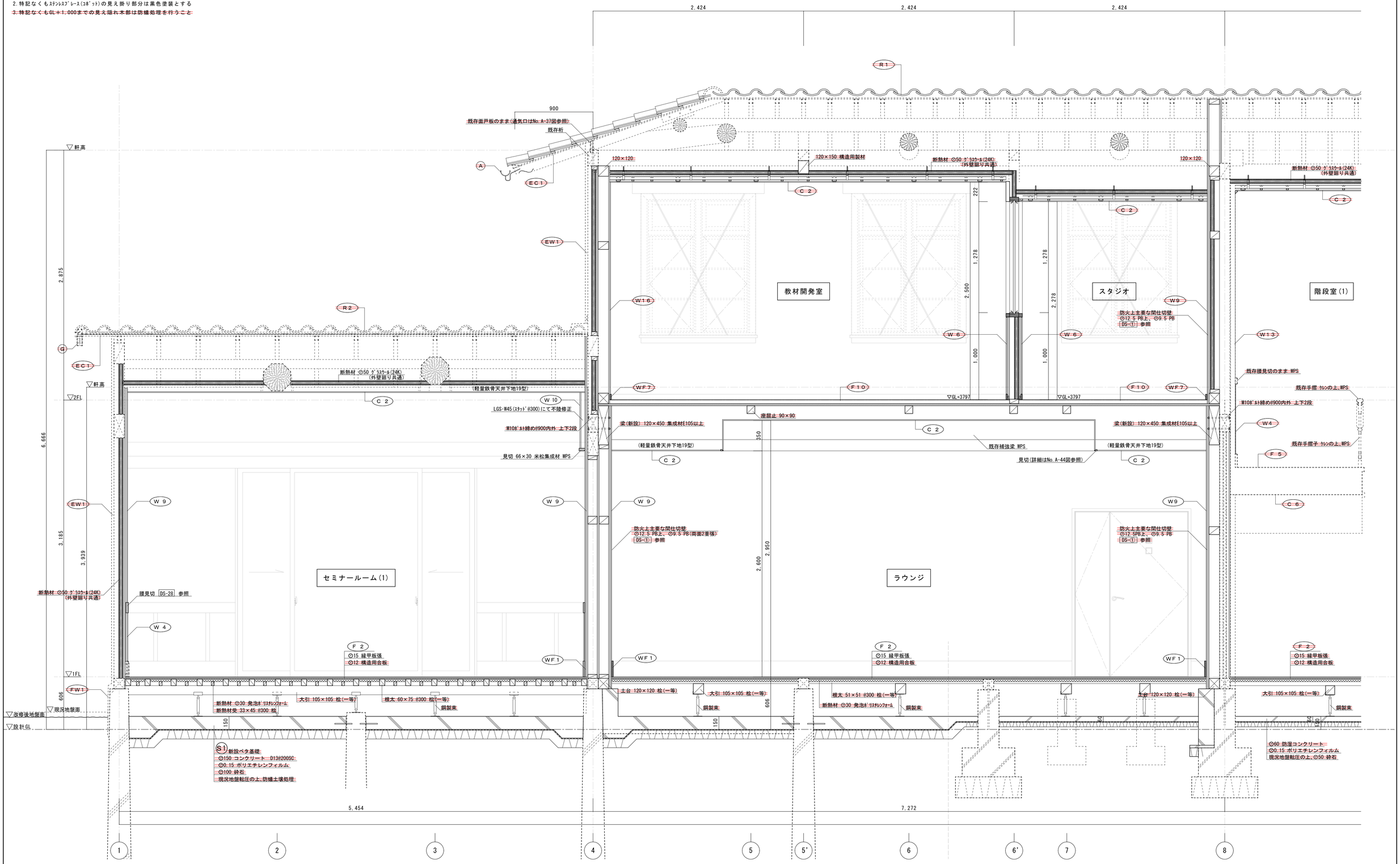
〈特記事項〉
1.特記なくも外部・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする
2.特記なくもｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾚｰｽ(ｺﾎﾞｯﾄ)の見え掛り部分は黒色塗装とする
3.特記なくもGL＋1,000までの見え隠れ木部は防蟻処理を行うこと



改修後　断面詳細図(2)【ﾎｰﾙ(1)～集会所】　S=1:20

工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 31 号	課　長	副 課 長	係　長	係　員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島 田 廣 巳	設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称 滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 31
図面名称	改修後　断面詳細図(2)【ﾎｰﾙ(1)～集会室】	縮尺 －								島田　廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称 改修後　断面詳細図(2)【ﾎｰﾙ(1)～集会室】	縮 尺 A1 S=1:20 A3 S=1:40
		作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課												図面番号 A — 22

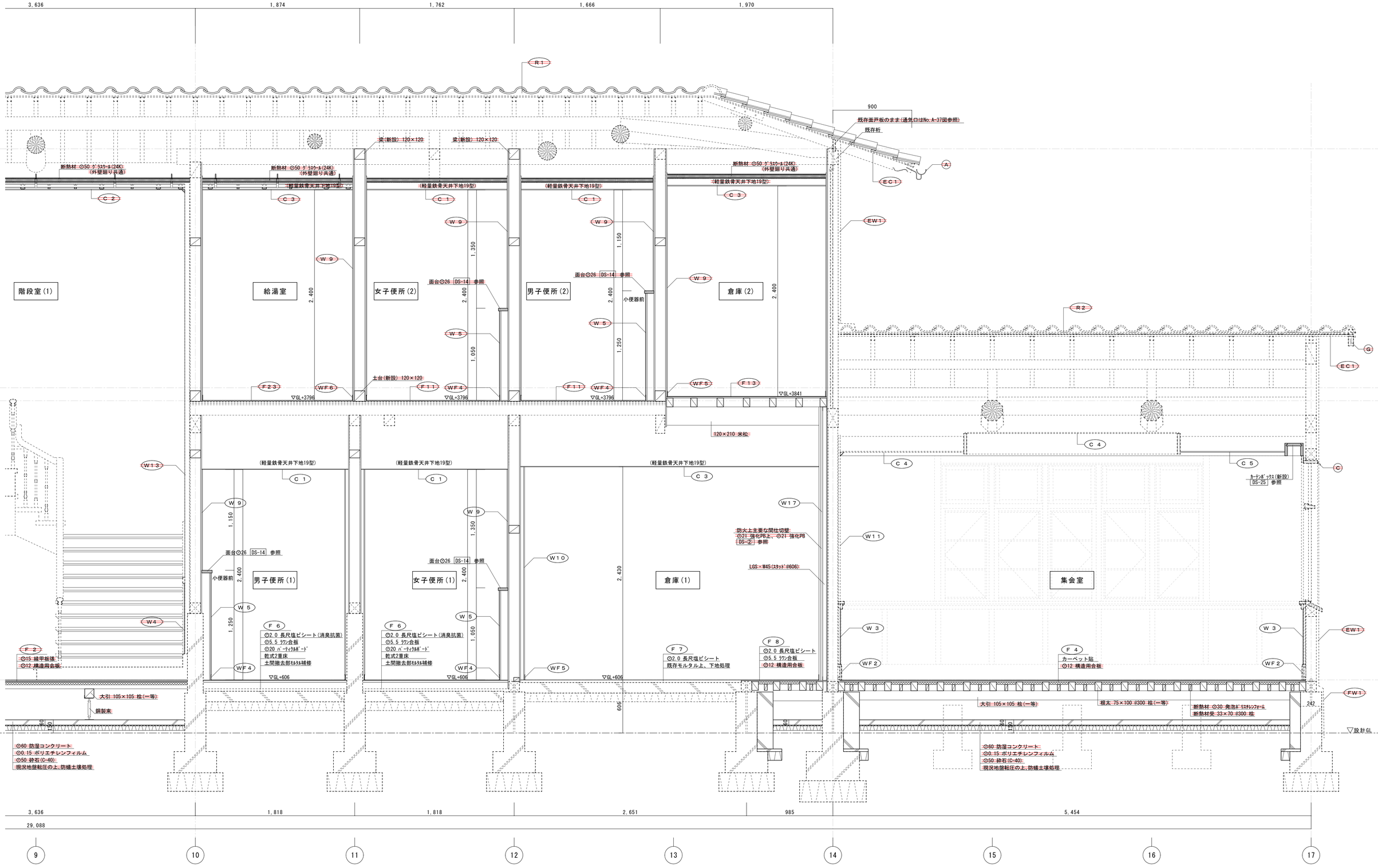
〈特記事項〉
1.特記なくも~~外部~~・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする
2.特記なくもｽﾃﾝﾚｽｽﾞﾚｰｽ(ｺﾎﾞｯﾄ)の見え掛り部分は黒色塗装とする
~~3.特記なくもGL＋1,000までの見え隠れ木部は防蟻処理を行うこと~~



改修後　断面詳細図(3)【ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(1)～ﾗｳﾝｼﾞ】　S=1:20

工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 32 号	課　長	副課長	係　長	係　員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称 滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 32
図面名称	改修後　断面詳細図(3)【ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(1)～ﾗｳﾝｼﾞ】	縮尺 －								島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称 改修後　断面詳細図(3)【ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(1)～ﾗｳﾝｼﾞ】	縮尺 A1 S=1:20 A3 S=1:40
		作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課												図面番号 A — 23

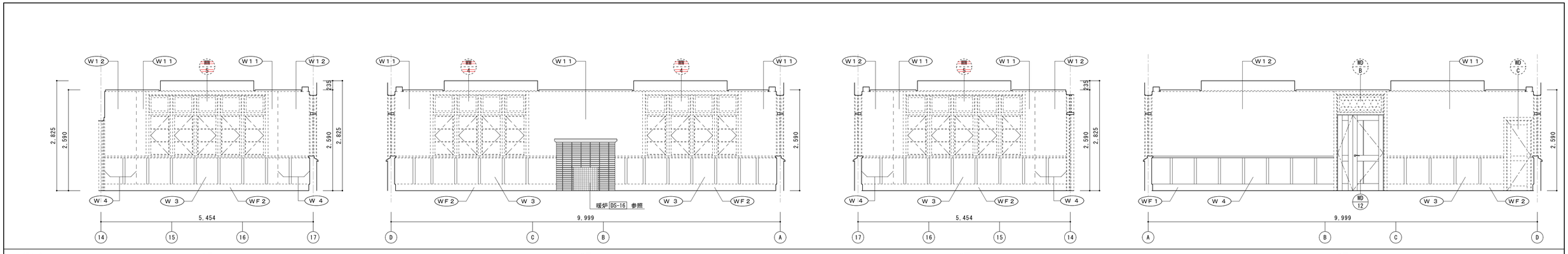
〈特記事項〉
1.特記なくも~~外部~~・内部の見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)とする
2.特記なくもｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾚｰｽ(ｺﾎﾞｯﾄ)の見え掛り部分は黒色塗装とする
~~3.特記なくもGL＋1,000までの見え隠れ木部は防蟻処理を行うこと~~



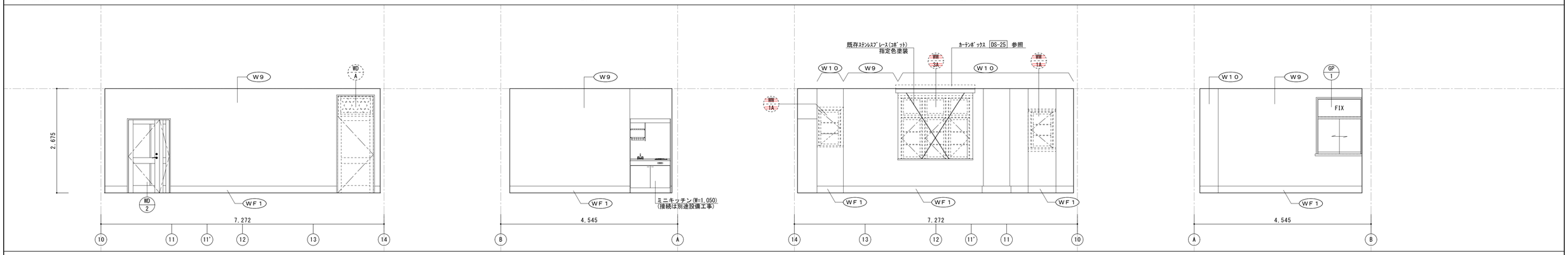
改修後　断面詳細図(4)【男子便所(1)～集会室】　S=1:20

工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 33 号	課　長	副 課 長	係　長	係　員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設 計	検 図	受領印
図面名称	改修後　断面詳細図(4)【男子便所(1)～集会室】	縮尺 －								島田　廣巳	製 図	担 当	受領年月日
		作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課										

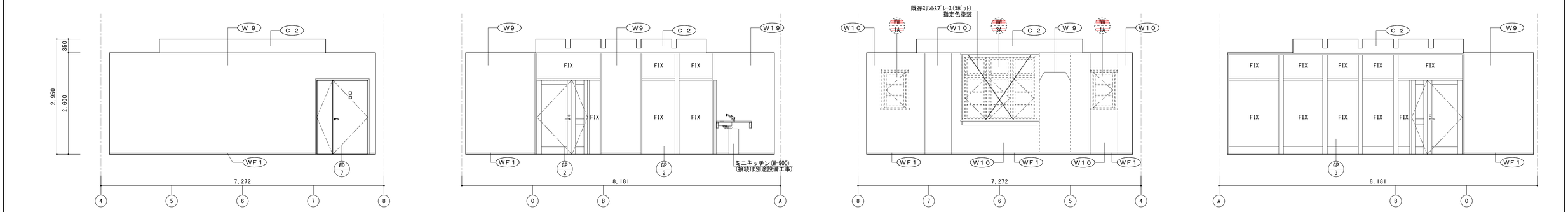
業務名称	整理番号
滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 33
図面名称 改修後　断面詳細図(4)【男子便所(1)～集会室】	図面番号 A — 24
縮 尺 A1 S=1:20 A3 S=1:40	



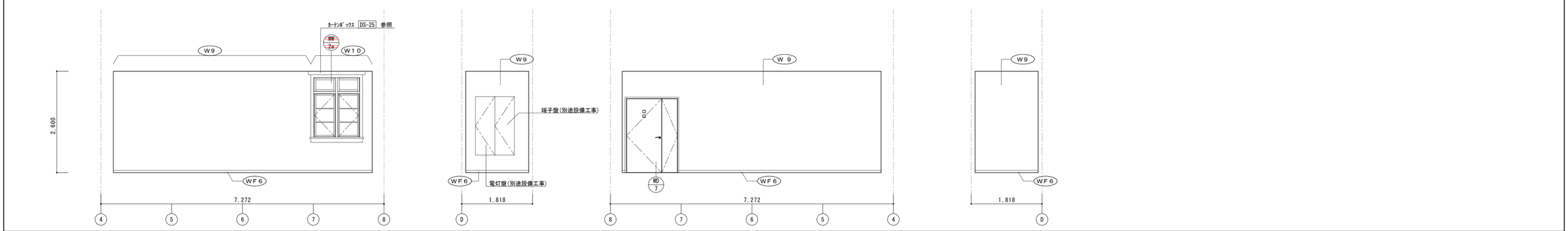
1F 集会室　A面　B面　C面　D面



1F 事務室　A面　B面　C面　D面

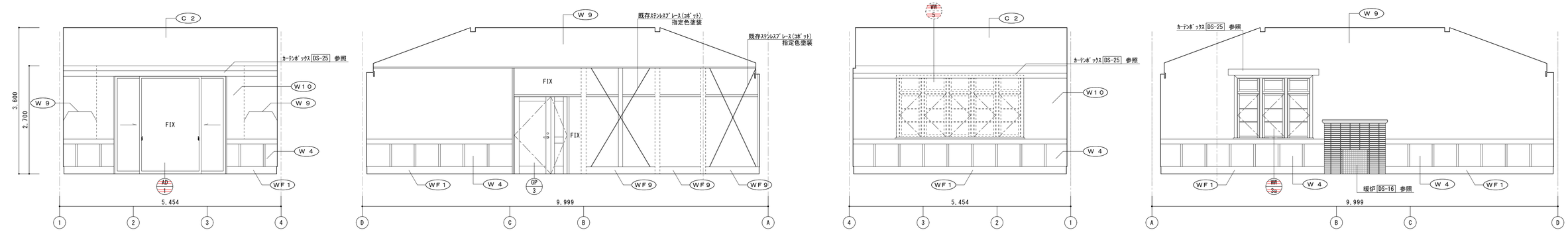


1F ラウンジ　A面　B面　C面　D面

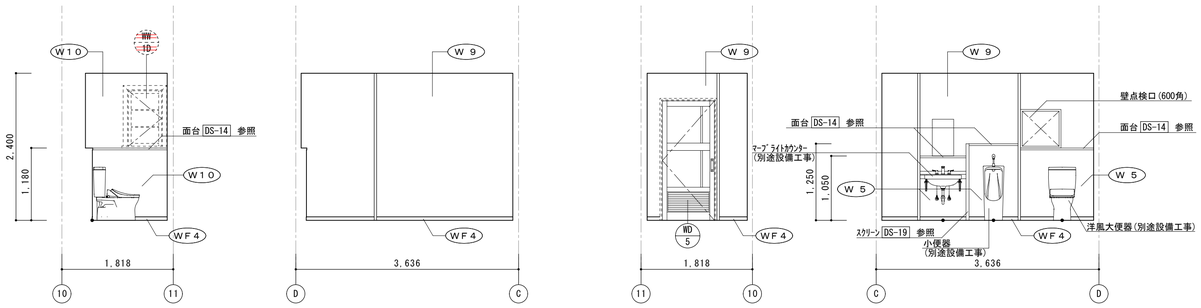


1F 資料閲覧保管室　A面　B面　C面　D面

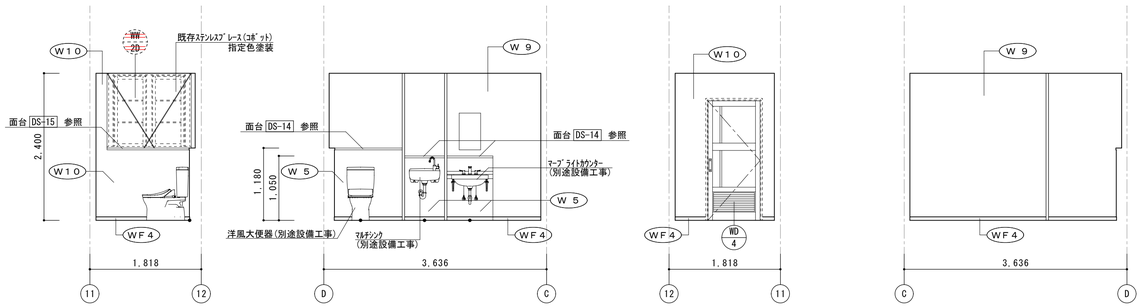
訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 34 号	課長	副課長	係長	係員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称 滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 34
	・					縮尺 －													
	・			図面名称	改修後　展開図(1)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課							島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称 改修後　展開図(1) 【集会室・事務室・ﾗｳﾝｼﾞ・資料閲覧保管室】	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 A — 25
	・																		



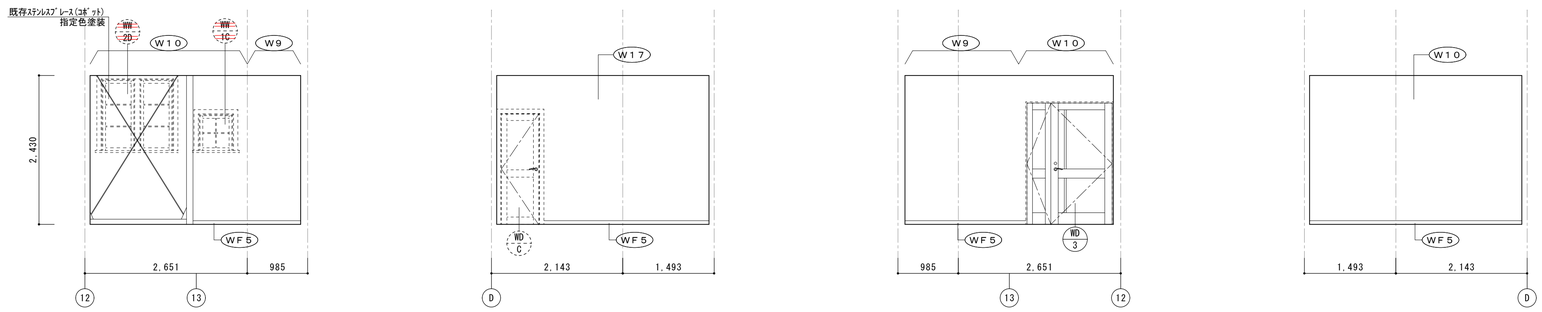
1F セミナールーム(1)　A面　B面　C面　D面



1F 男子便所(1)　A面　B面　C面　D面



1F 女子便所(1)　A面　B面　C面　D面

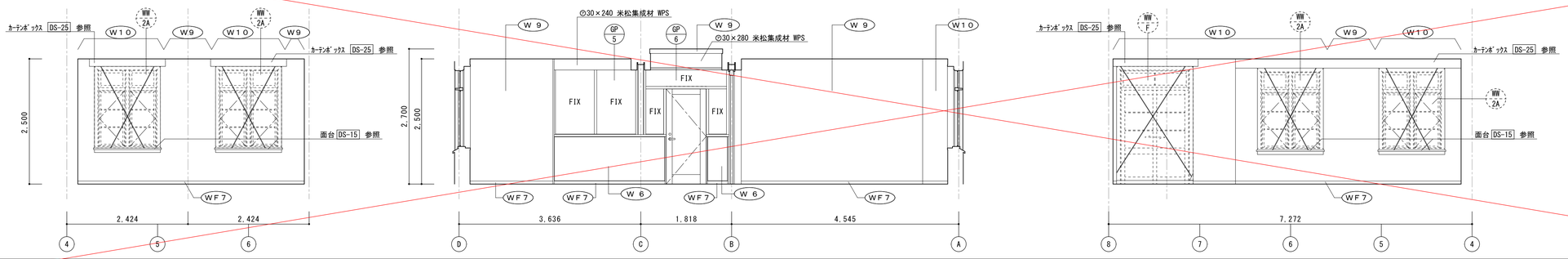


1F 倉庫(1)　A面　B面　C面　D面

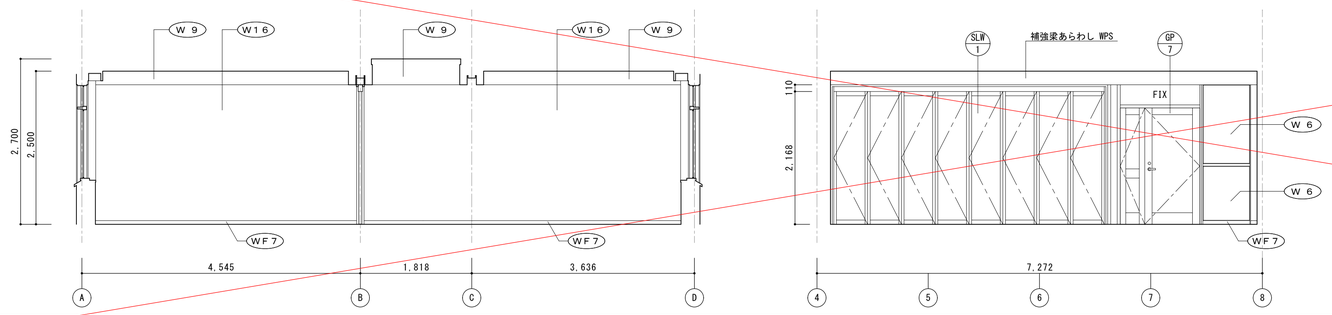
訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その2)	56 枚のうち 35 号	課長	副課長	係長	係員
	・					縮尺 －				
	・			図面名称	改修後展開図(2)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・									

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

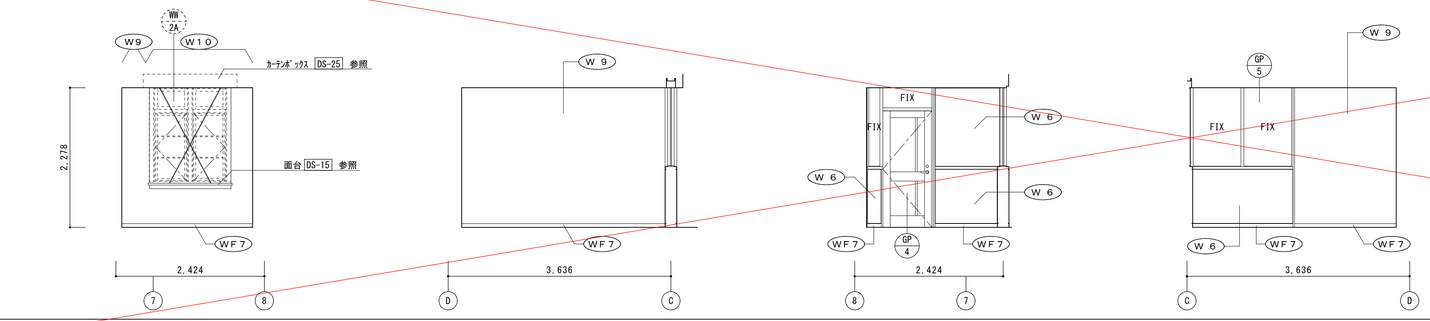
設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	整理番号
				滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その3)	56 — 35
島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称 改修後展開図(2)【セミナールーム(1)・男子便所(1)・女子便所(1)・倉庫(1)】	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100 / 図面番号 A — 26



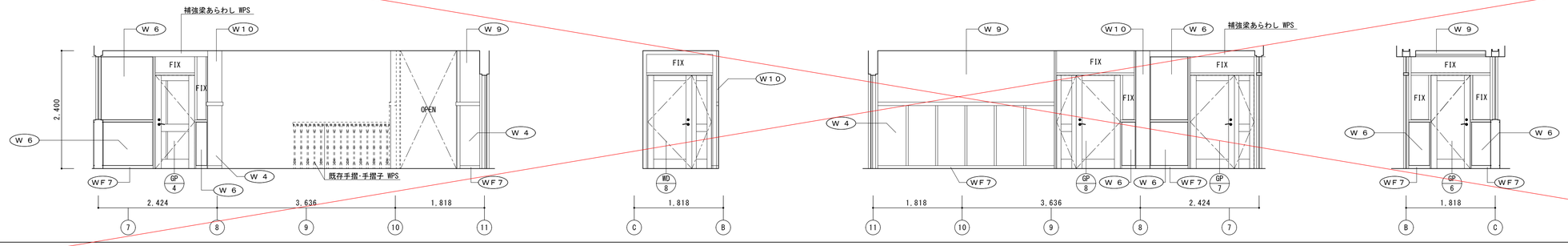
2F 教材開発室・セミナールーム(2)　A面　B面　C面



2F 教材開発室・セミナールーム(2)　D面　A' 面

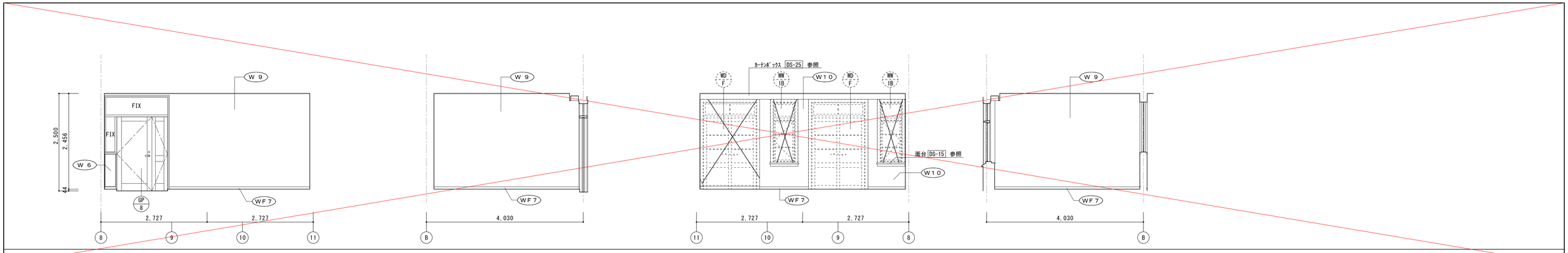


2F スタジオ　A面　B面　C面　D面

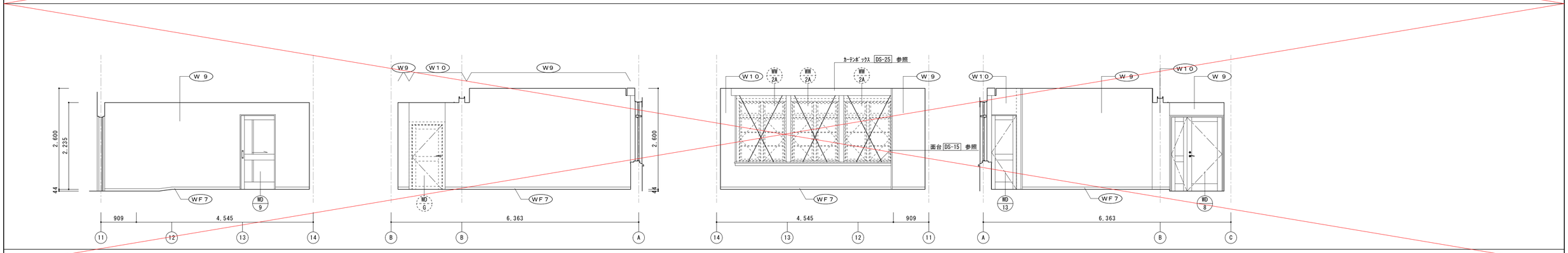


2F ホール(2)　A面　B面　C面　D面

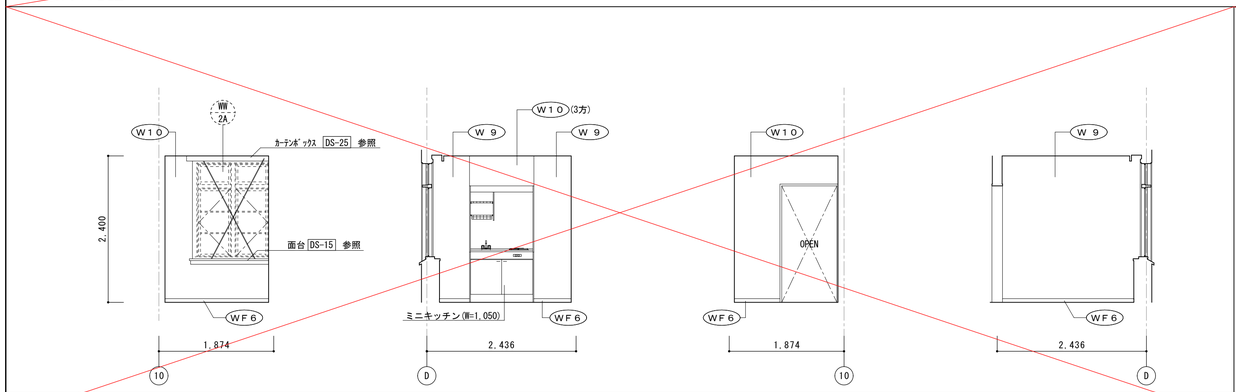
訂正	月	日	工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その2)	56 枚のうち 36 号	課長	副課長	係長	係員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その3)	整理番号	56 — 36
	・		図面名称	改修後 展開図(3)	縮尺 -								島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称	改修後 展開図(3) 【教材開発室・ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(2)・ｽﾀｼﾞｵ・ﾎｰﾙ(2)】	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号	A — 27
	・				作成 令和4年3月															
	・								滋賀大学施設管理課											



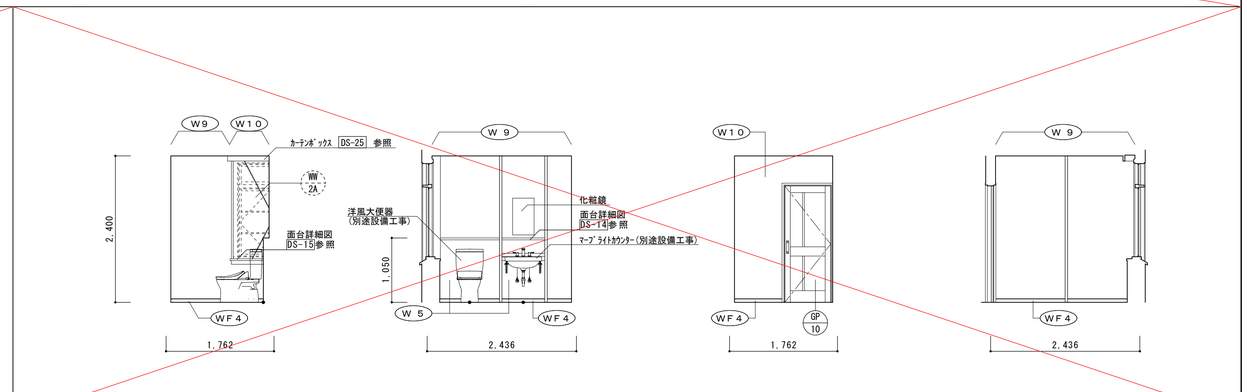
2F ミーティング室　A面　B面　C面　D面



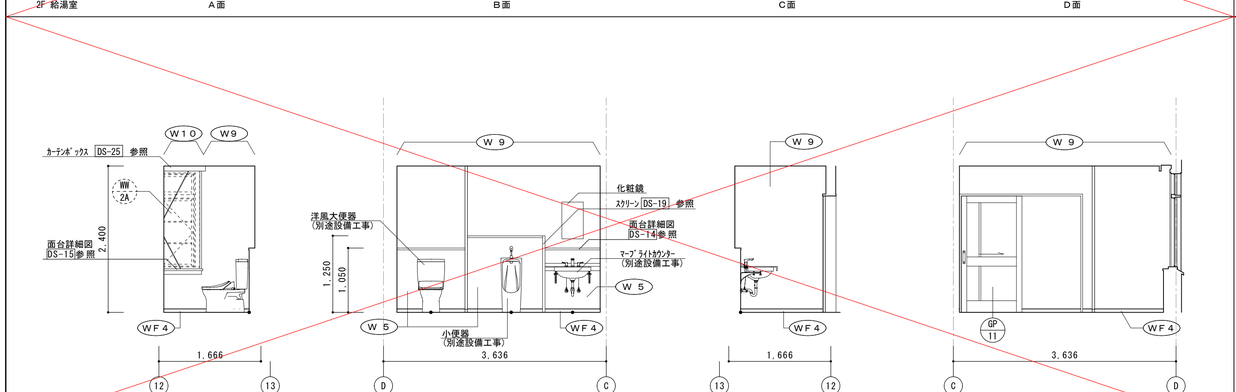
2F サテライト管理室　A面　B面　C面　D面



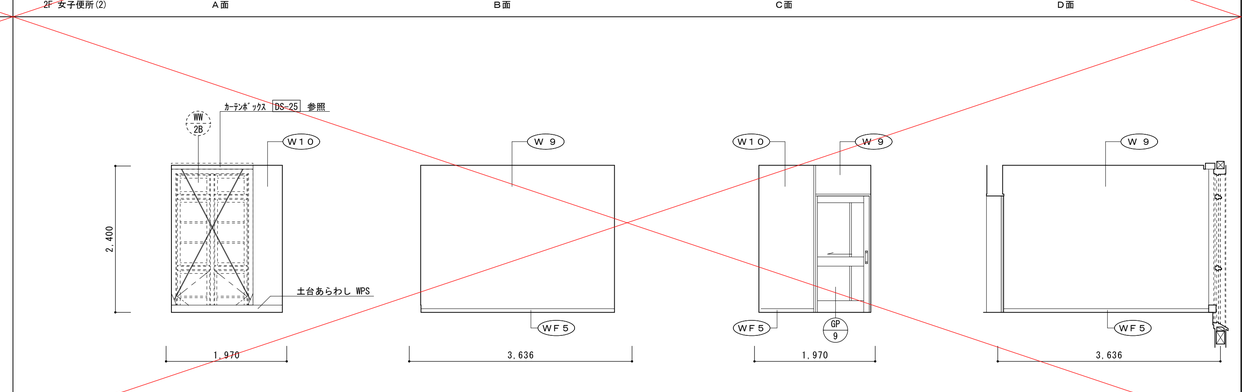
2F 給湯室　A面　B面　C面　D面



2F 女子便所(2)　A面　B面　C面　D面

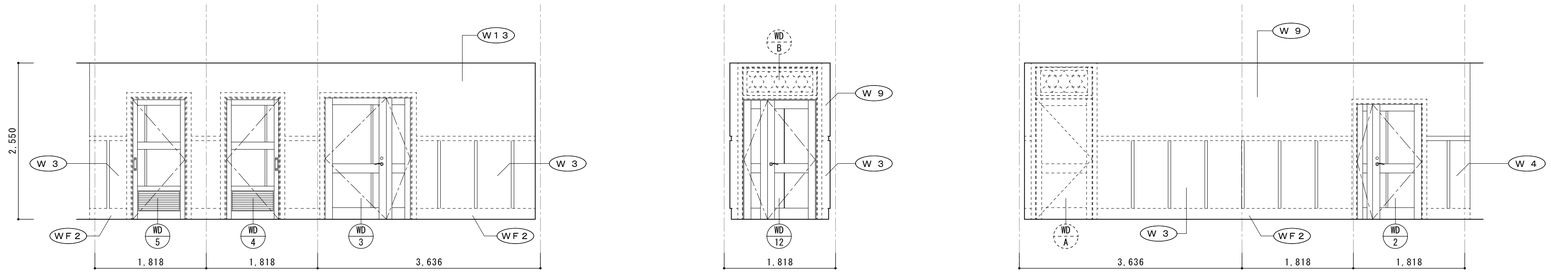


2F 男子便所(2)　A面　B面　C面　D面

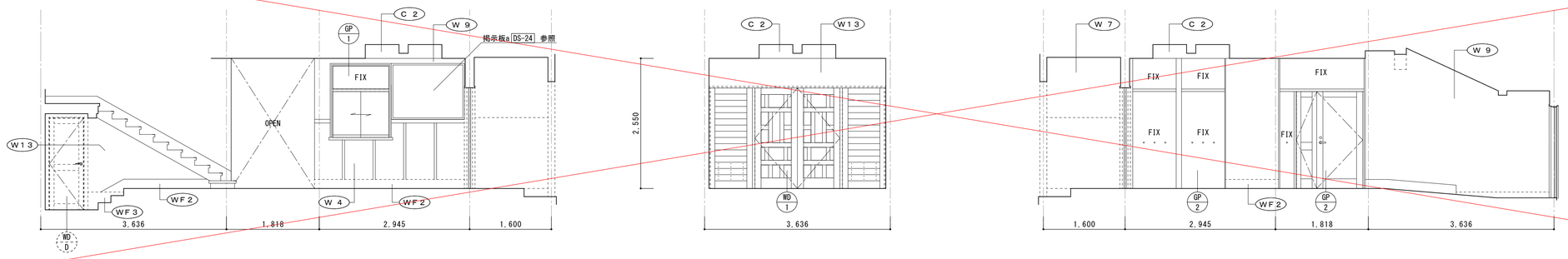


2F 倉庫(2)　A面　B面　C面　D面

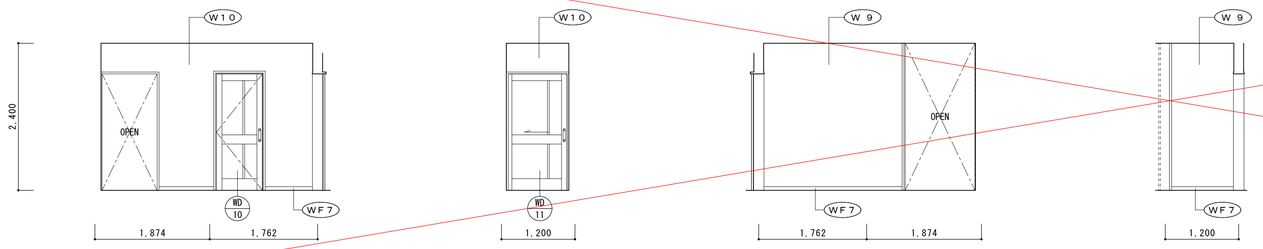
訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その2)	56 枚のうち 37 号	課長	副課長	係長	係員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称 滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その3)	整理番号 56 — 37
	・					縮尺 -													
	・			図面名称	改修後 展開図(4)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課						島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称 改修後 展開図(4) 【ミーティング室・サテライト管理室・給湯室 女子便所(2)・男子便所(2)・倉庫(2)】	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 A — 28
	・											滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055							



1F 廊下(1)　　A面　　B面　　C面



1F ホール　　B面　　C面　　D面



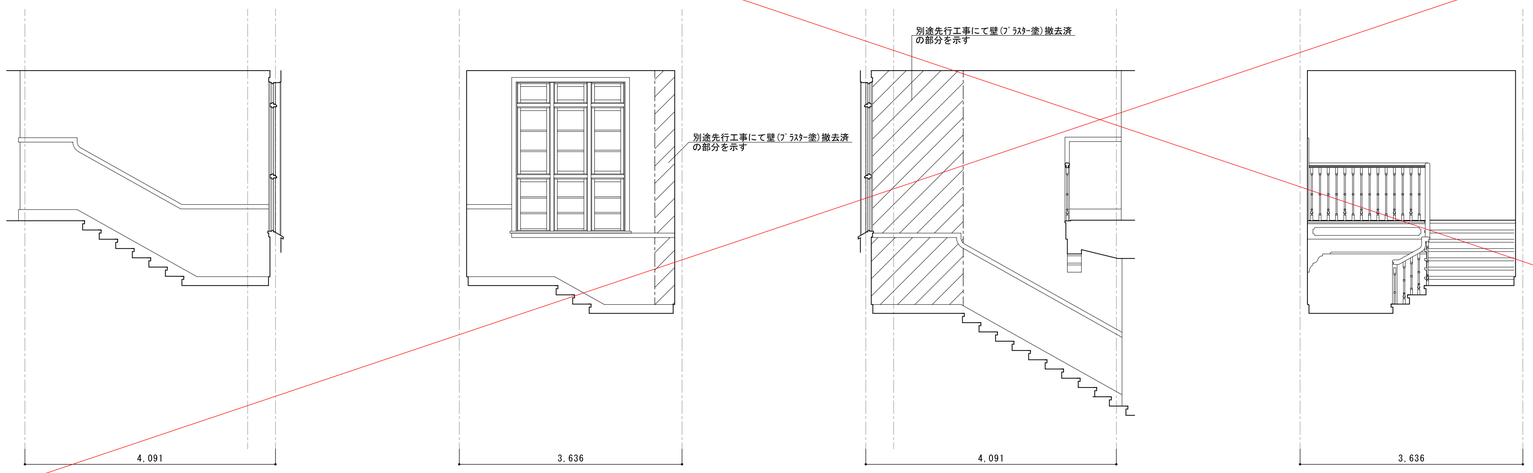
2F 廊下(2)　　A面　　B面　　C面　　D面

A面　　B面　　C面　　D面

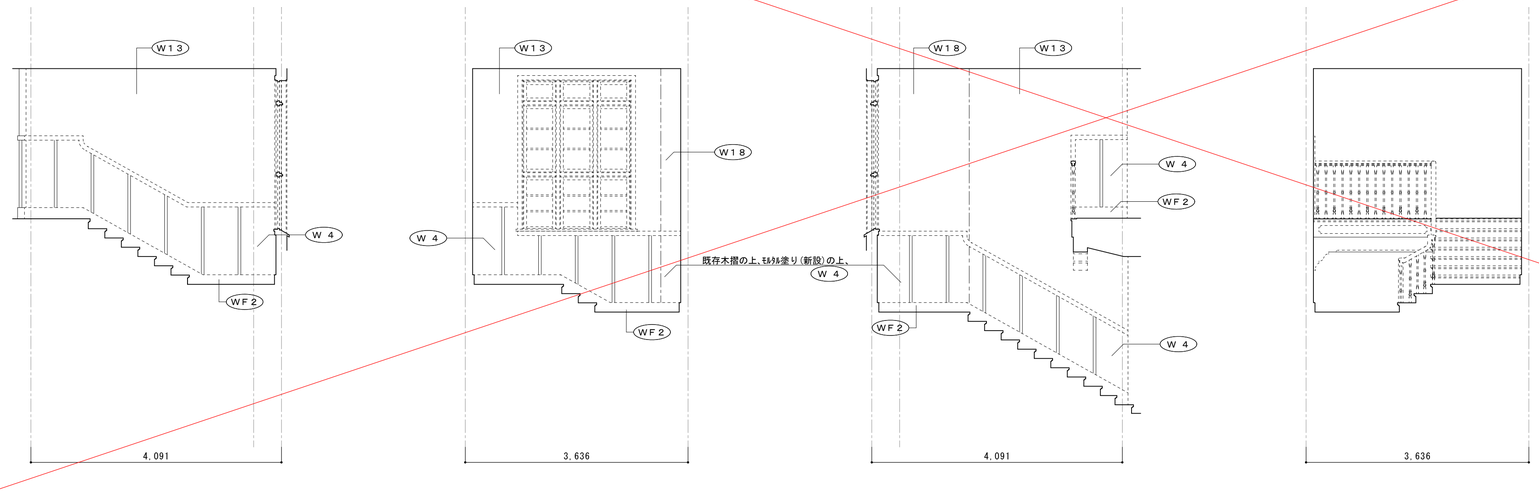
訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 38 号	課　長	副 課 長	係　長	係　員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	改修後展開図(5) 1・2階	作成 令和4年3月	滋 賀 大 学 施 設 管 理 課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社
匠 工 房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島 田 廣 巳

設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	整理番号
				滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 38
島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称 / 縮 尺	図面番号
				改修後展開図(5) 1・2階【廊下(1)(2)・ホール】 / A1 S=1:50 A3 S=1:100	A — 29



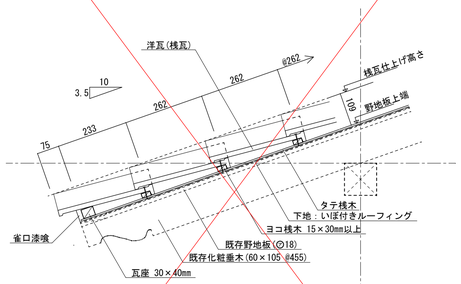
現況　階段室(1)　　D面　　A面　　B面　　C面



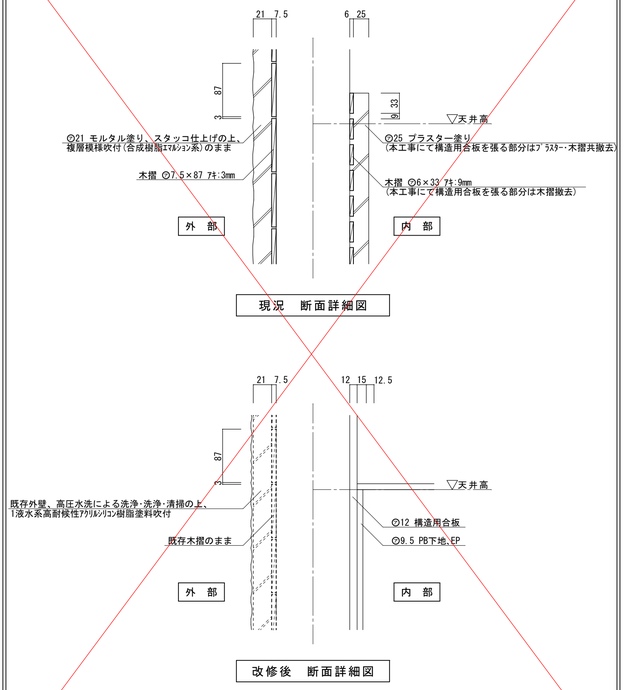
改修後　階段室(1)　　D面　　A面　　B面　　C面

訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 39 号	課長	副課長	係長	係員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号	56 — 39
	・			縮尺	－																
	・			図面名称	現況・改修後展開図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課							島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称	現況・改修後展開図【階段室(1)】	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 A — 30
	・																				

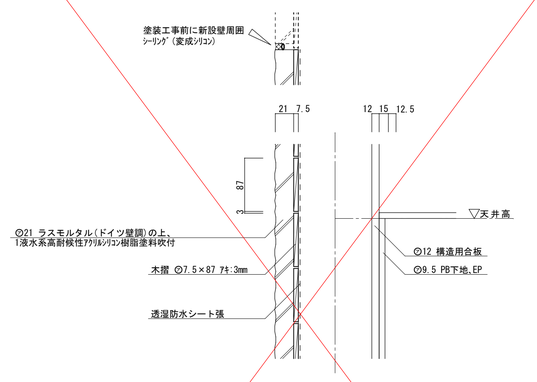
ＤＳ－１　軒先詳細図　S=1:10



ＤＳ－２　外壁改修詳細図　S=1:5

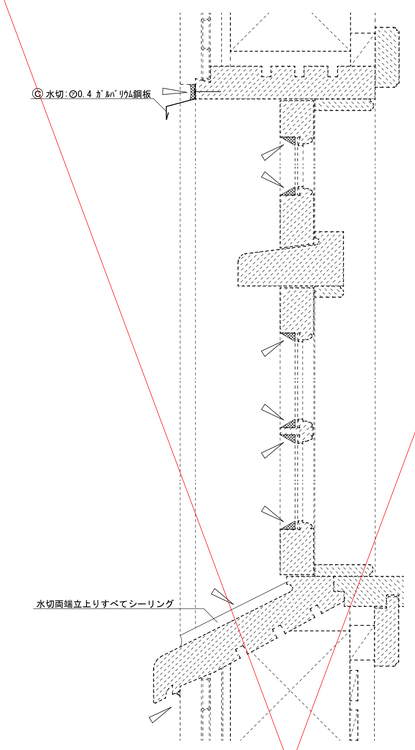


ＤＳ－３　新設外壁 (ＥＷ３)(ＥＷ５) 詳細図　S=1:5



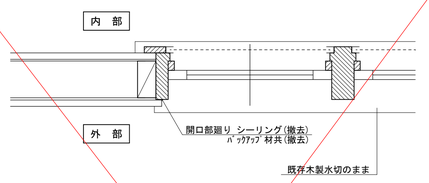
断面詳細図　S=1:5

ＤＳ－７　既存開口部廻り詳細図　S=1:3

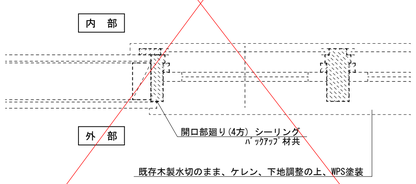


既存木製開口部廻り断面詳細図　S=1:3

ＤＳ－４　既存開口部廻り詳細図　S=1:10

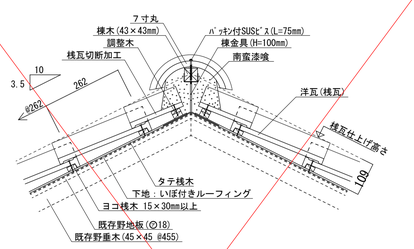


既存開口部廻り平面図　S=1:10

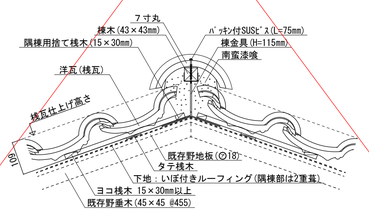


改修後開口部廻り平面図　S=1:10

ＤＳ－５　棟(大棟・隅棟)詳細図　S=1:10

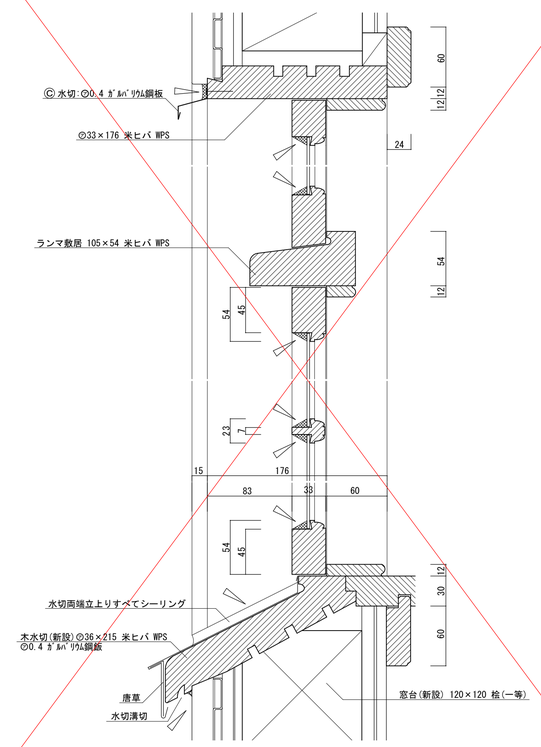


大棟　断面詳細図

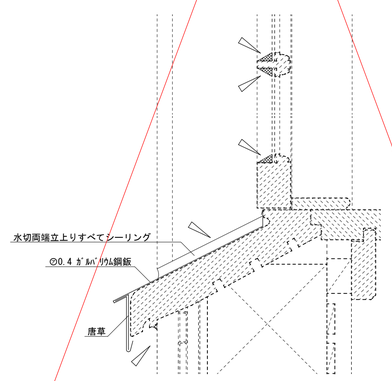


隅棟　断面詳細図

ＤＳ－６　新設開口部(WW-2a・WW-3a)廻り詳細図　S=1:3



新設木製開口部廻り断面詳細図　S=1:3



既存木製開口部廻り断面詳細図　S=1:3

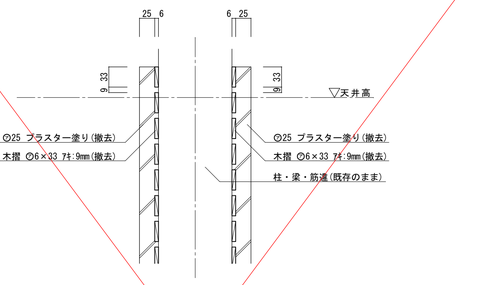
【水切◎0.4 ガルバリウム鋼鈑新設の部分】

訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 40 号	課長	副課長	係長	係員
	・					縮尺 －				
	・			図面名称	部分詳細図(1)　外部	作成 令和4年3月				
	・						滋賀大学施設管理課			

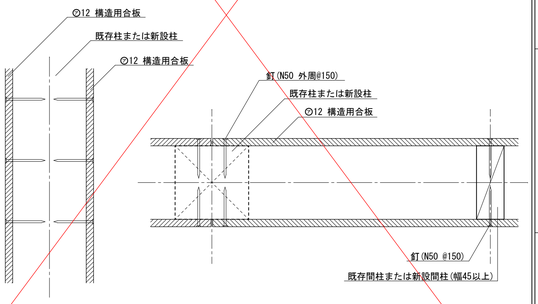
一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	整理番号
島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 40
				図面名称 部分詳細図(1)　外部 / 縮尺	図面番号 A — 31

ＤＳ－８　内部耐力壁（間仕切壁・構造用合板張）詳細図　S=1:5



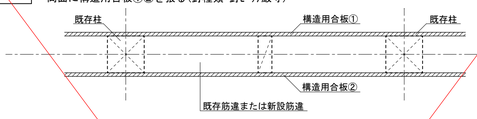
現況　間仕切壁詳細図　S=1:5



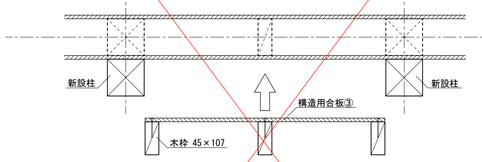
改修後　間仕切壁詳細図　S=1:5

ＤＳ－９　耐力壁（間仕切壁・構造用合板4枚張）詳細図　S=1:10

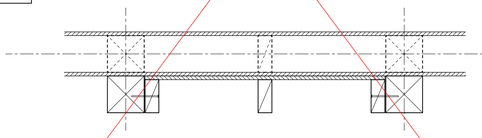
工程１　既存柱に筋違、筋違プレート、柱頭柱脚金物を設置する。
両面に構造用合板①②を張る（釘種類・釘ﾋﾟｯﾁ厳守）



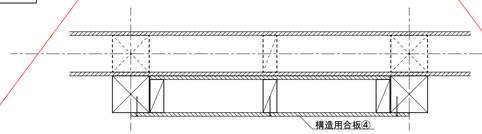
工程２　新設柱を設置し、柱頭柱脚金物を設置する。
構造用合板③に木枠を取付したパネルを製作する（釘種類・釘ﾋﾟｯﾁ厳守）



工程３　構造用合板③パネルを新設柱間に嵌め込み、金物にて留め付けする

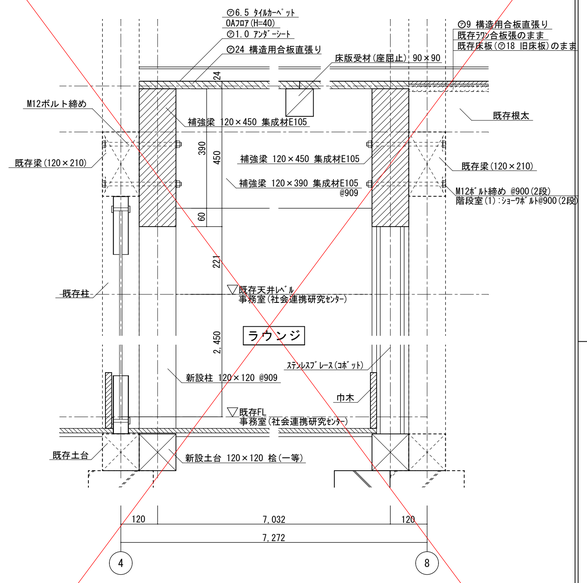


工程４　構造用合板④を取付する（釘種類・釘ﾋﾟｯﾁ厳守）



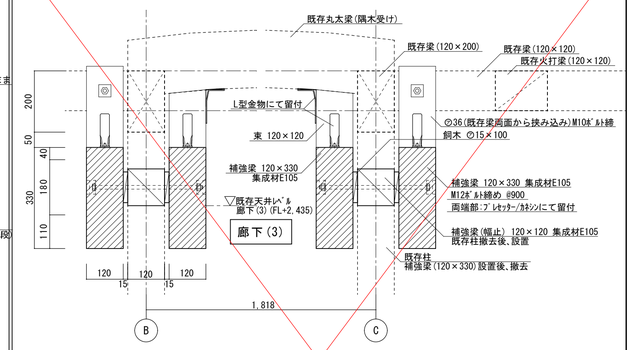
注記　1.構造用合板4枚張の位置はNo.A-6図・A-7図参照

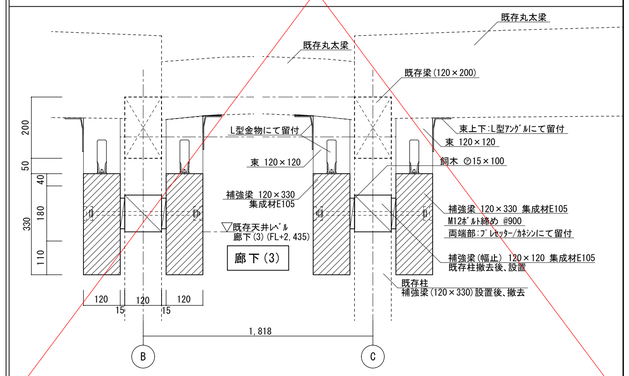
ＤＳ－１０　1階ラウンジ　補強梁詳細図　S=1:10



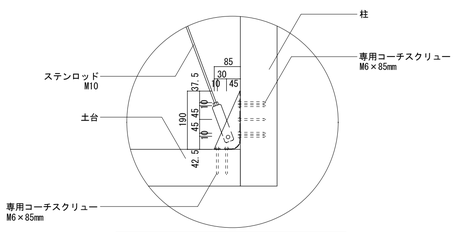
注記　1.補強梁と既存梁との連結について、M12ボルト締めができない位置については、同サイズの
ショーワボルト締めとする

ＤＳ－１１　2階　補強梁詳細図　S=1:10





ＤＳ－１２　ステンレスブレース（コボット）取付詳細図　S=1:

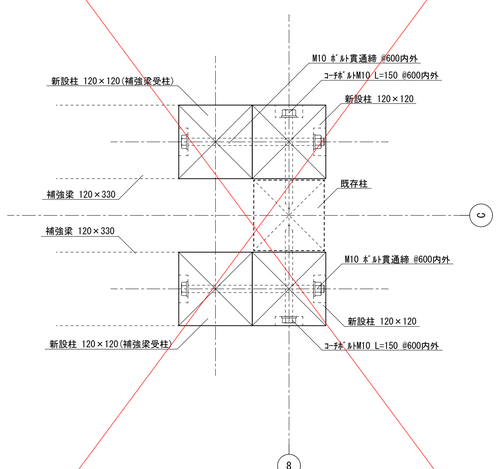


コボット取付詳細図　S=1:10

1. コボット1個あたり専用コーチスクリュー(M6×85mm)9本にて留め付けすること
2. コボットの見え掛りとなる部分は指定色塗装を行うこと

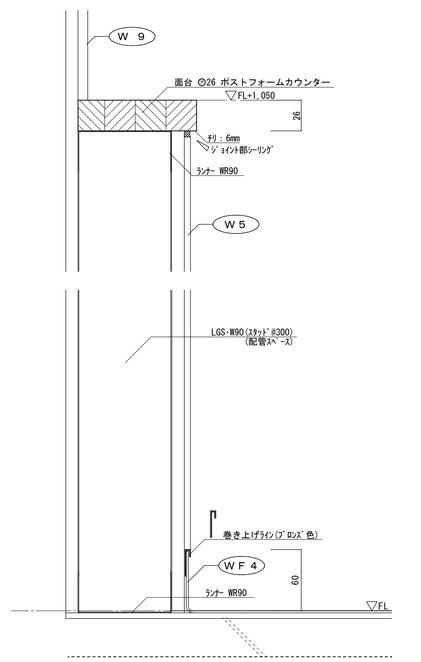
注記.　SUS部塗料は　2液速乾弱溶剤形変成エポキシ系さび止め塗料下塗の上、2液弱溶剤形オールマイティ
ウレタン樹脂塗料塗り(指定色・3分ツヤ)塗りとする

ＤＳ－１３　組み柱詳細図　S=1:5



注記
1)1階 ⑪×Ⓑ、⑭×Ⓑ、
2階 ④×Ⓑ、④×Ⓒ、⑧×Ⓑ、⑪×Ⓑ、⑭×Ⓑ通りも上記『組み柱』に準ずること
2) 新設柱の柱頭・柱脚は後施工金物〈柱頭・柱脚用〉を使用して既存梁又は新設梁に固定すること

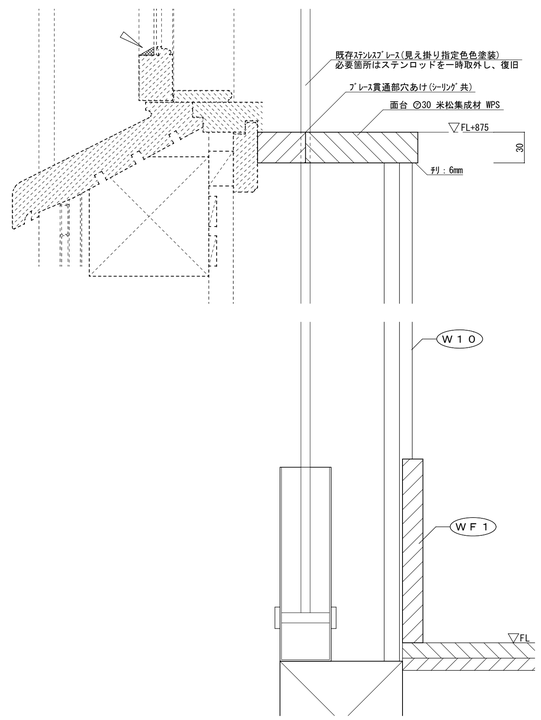
ＤＳ－１４　面台（ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑｶｳﾝﾀｰ）詳細図　S=1:3



ｼｰﾘﾝｸﾞを示す

※面台の高さのについては、各展開図を参照すること

ＤＳ－１５　面台（ｺﾎﾞｯﾄﾌﾞﾚｰｽ部分）詳細図　S=1:3



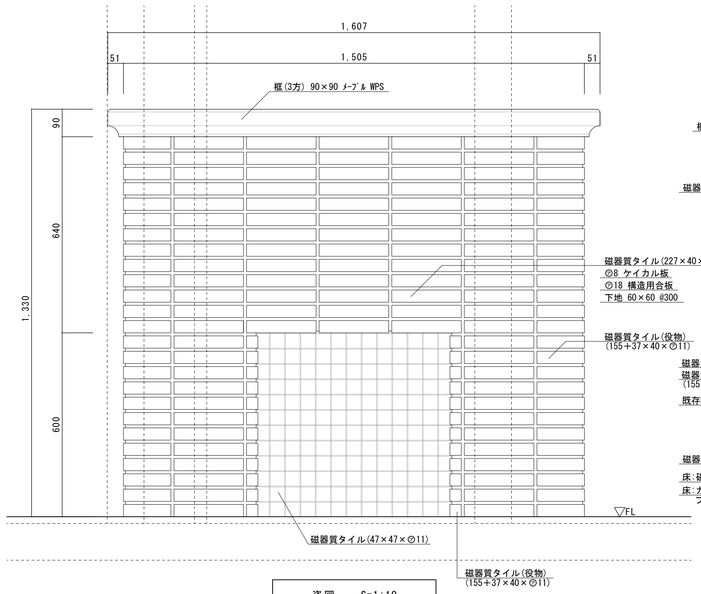
訂正	月	日	工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 41 号	課長	副課長	係長	係員
	・		図面名称	部分詳細図(2)　内部	縮尺 －				
	・				作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房
TAKUMI KŌBŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

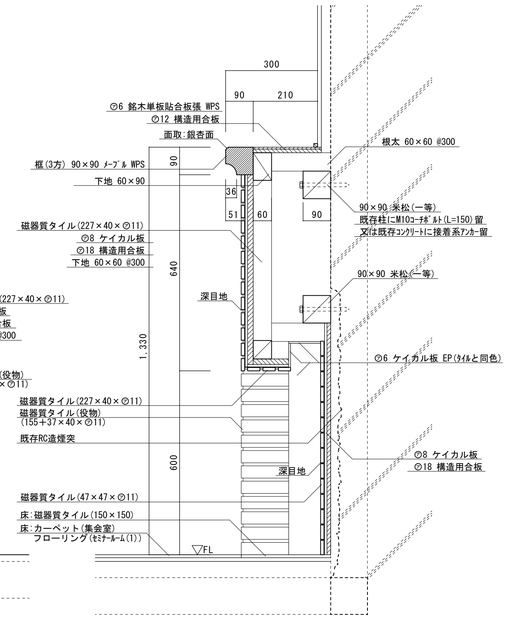
設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	整理番号
島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 41
				図面名称 部分詳細図(2)　内部 / 縮尺	図面番号 A — 32

ＤＳ－１６　集会室・セミナールーム(1)　暖炉詳細図　S=1:10

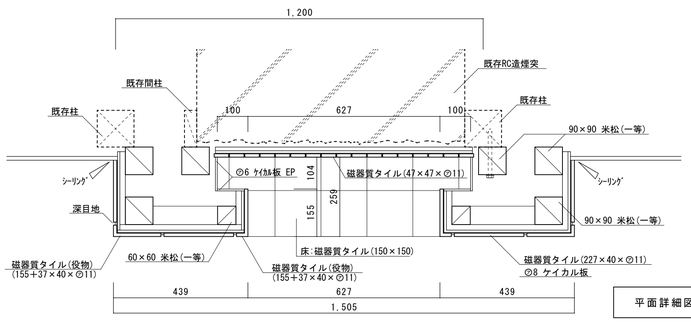
特記　1.暖炉は集会室およびセミナールーム(1)の2ヶ所に設置すること



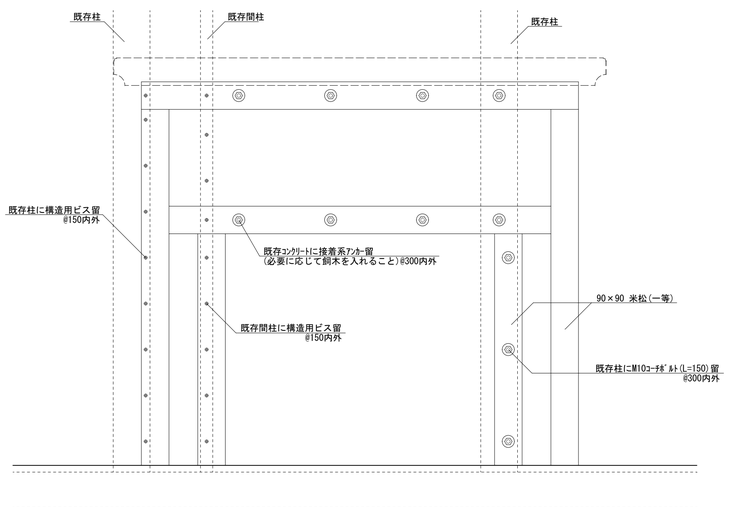
姿図　S=1:10



断面図　S=1:10

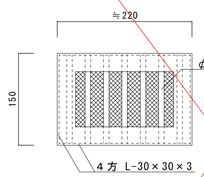


平面詳細図　S=1:10

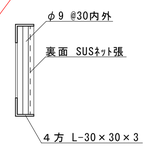


下地姿図　S=1:10

ＤＳ－１８　床下換気口　S=1:5



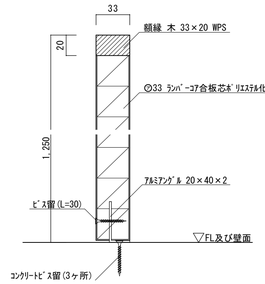
正面図　S=1:5



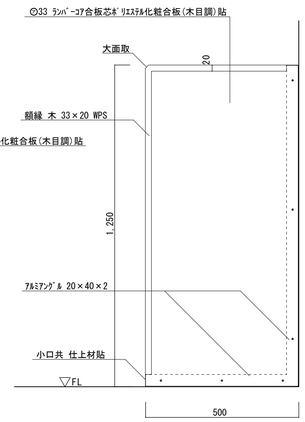
断面図　S=1:5

特記　鉄部すべて錆止めの塗装の上、SOP2回塗りとする。

ＤＳ－１９　便所　スクリーン詳細図　S=1:3　S=1:10



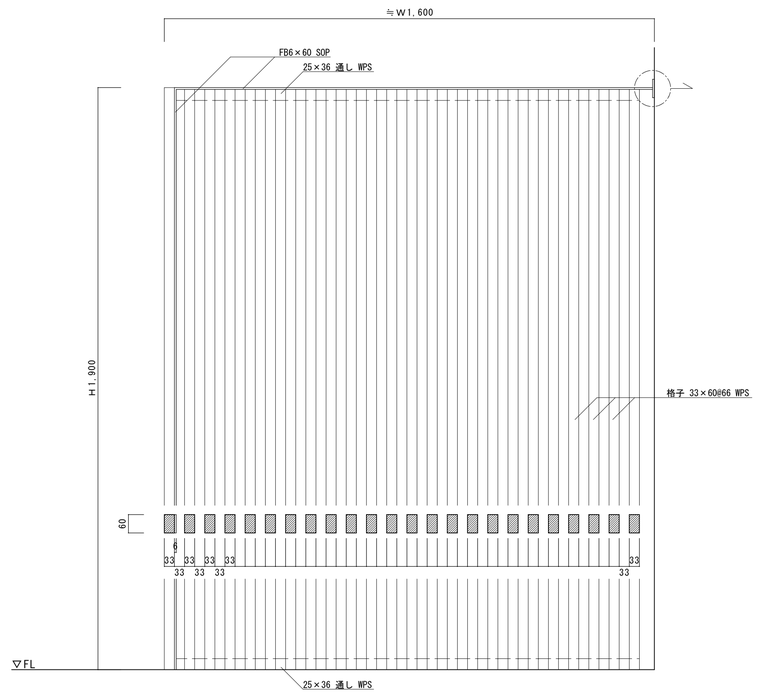
取付部詳細図　S=1:3

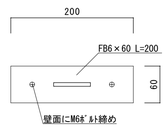


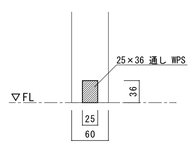
姿図　S=1:10

特記　製作前に現場監督職員に寸法を確認すること

ＤＳ－２１　木製ルーバー詳細図　S=1:5　S=1:10





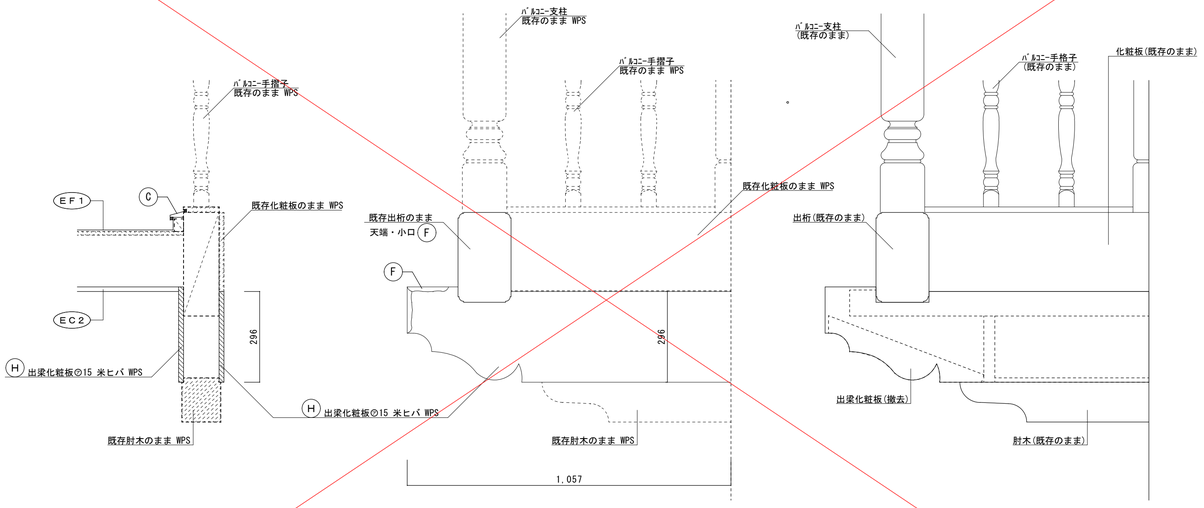


訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 42 号	課長	副課長	係長	係員
	・					縮尺 －				
	・			図面名称	部分詳細図(3)　内部	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・									

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社
匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	整理番号
				滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 42
島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称 部分詳細図(3)　内部　縮尺	図面番号 A — 33

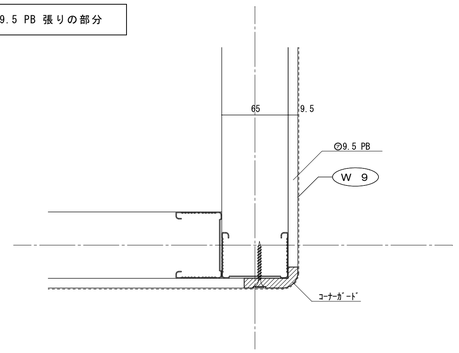
ＤＳ－２２　バルコニー出梁部改修詳細図　S=1:10



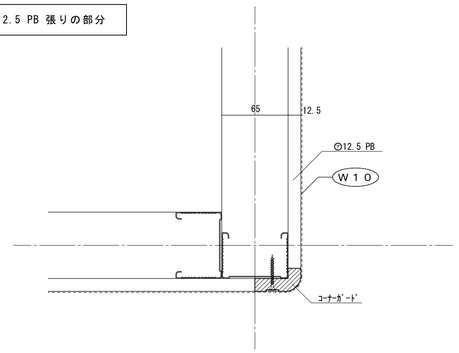
改修後断面図　S=1:10　　改修後側面図　S=1:10　　現況側面図　S=1:10

ＤＳ－２３　コーナーガード詳細図　S=1:3

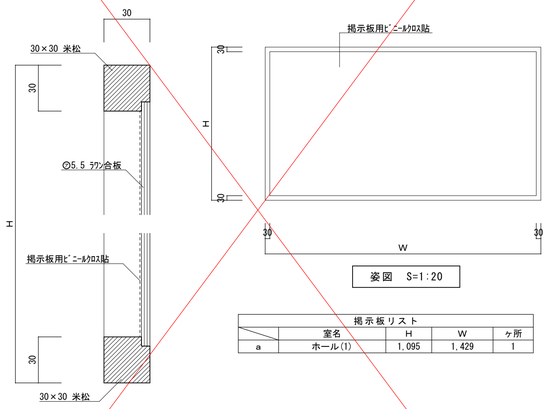
◎9.5 PB 張りの部分



◎12.5 PB 張りの部分



ＤＳ－２４　掲示板詳細図　S=1:2

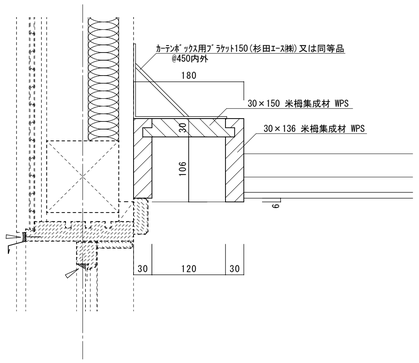


断面図　S=1:2　　姿図　S=1:20

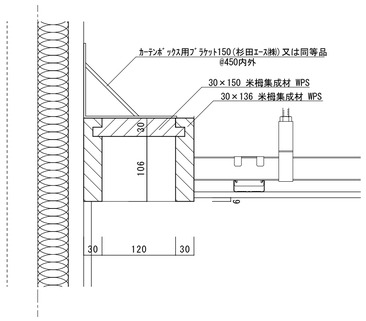
掲示板リスト				
	室名	H	W	ヶ所
a	ホール(1)	1,095	1,429	1

ＤＳ－２５　カーテンボックス詳細図　S=1:5

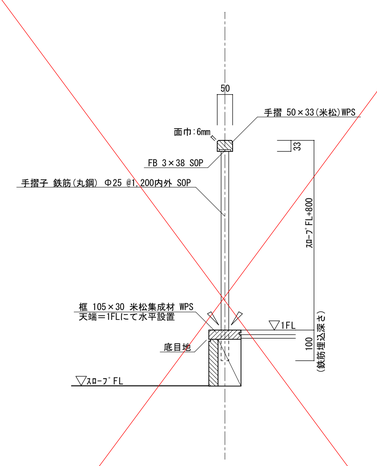
Aタイプ



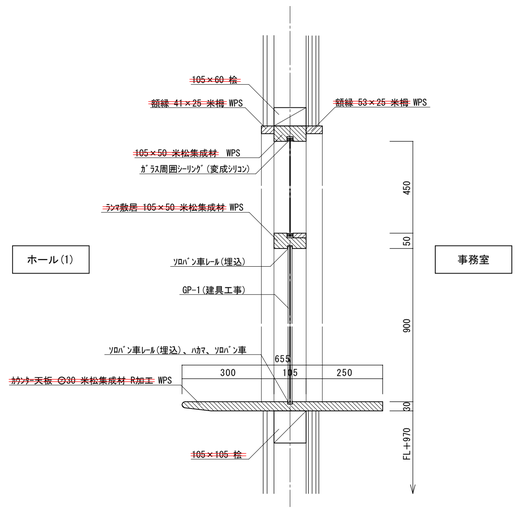
Bタイプ



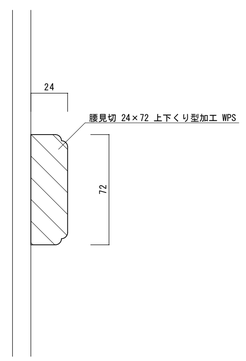
ＤＳ－２６　手摺詳細図　S=1:10



ＤＳ－２７　受付カウンター詳細図　S=1:10

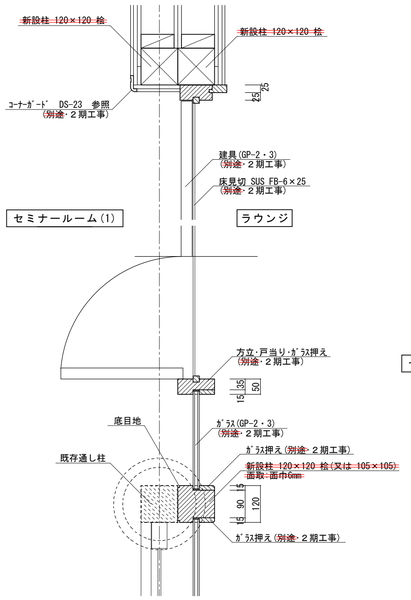


ＤＳ－２８　腰見切詳細図　S=1:2

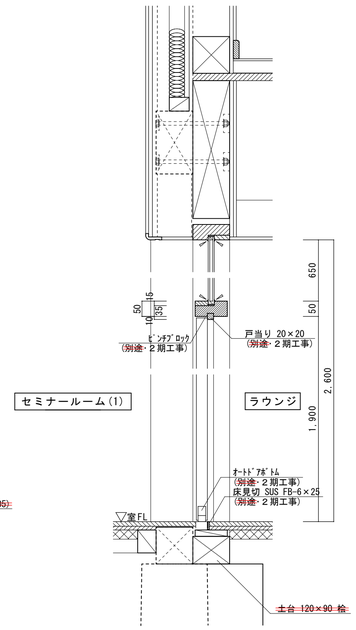


訂正	月	日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 43 号	課長	副課長	係長	係員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称 滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 43
	・			図面名称	部分詳細図(4)	縮尺 －								島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称 部分詳細図(4) 縮尺	図面番号 A — 34
	・					作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課												
	・																		

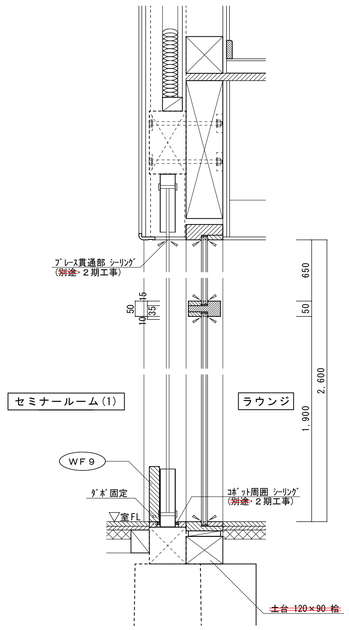
ＤＳ－２９　1階　木製スクリーン詳細図　S=1:10



平面詳細図　S=1:10

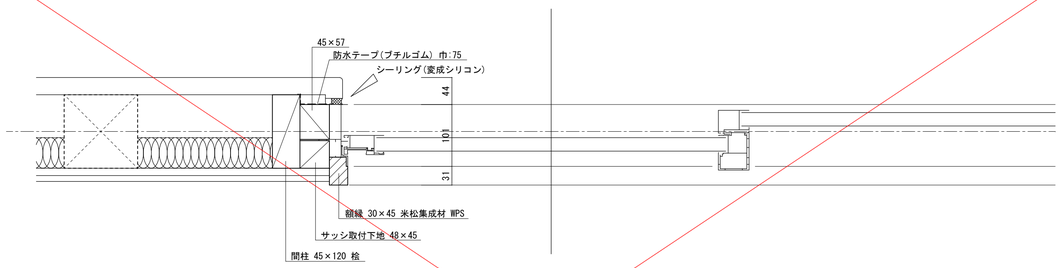


扉部　断面詳細図　S=1:10



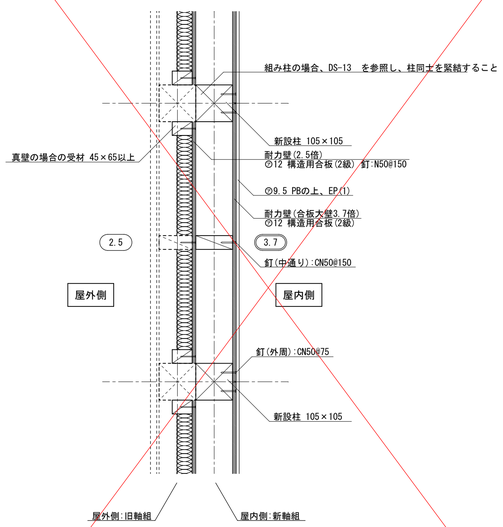
FIX部　断面詳細図　S=1:10

ＤＳ－３０　アルミサッシ取付詳細図　S=1:5



平面詳細図　S=1:5

ＤＳ－３１　２重壁(耐力壁)詳細図　S=1:10



平面詳細図　S=1:10

特記．２重壁が、壁倍率2.5倍＋2.5倍の部分も上図に準ずる

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち　44 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺　－				
	・		図面名称	部分詳細図(5)	作成　令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

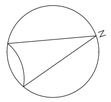
一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

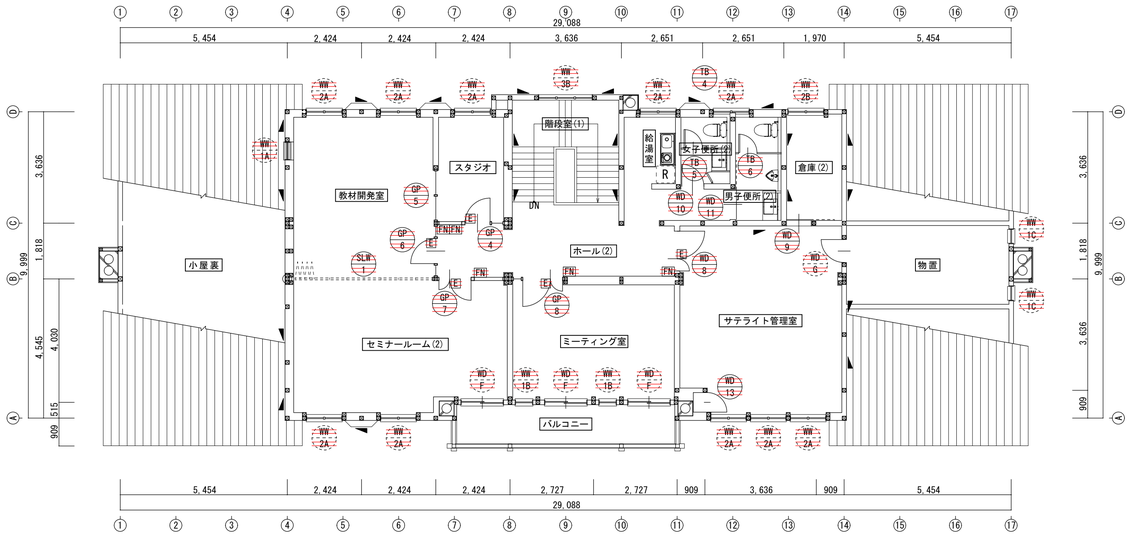
設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	整理番号
				滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 44
島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称: 部分詳細図(5)　縮尺	図面番号 A — 35

凡　例	
記　号	内　容
◯	新設の建具を示す
◯	既存のままの建具を示す
E	電気錠を示す(U9-AUR50-1/美和ﾛｯｸ)取付本工事 通電金具－建具内配線共、本工事の範囲
FN	非接触カードリーダを示す 取付は入退室管理設備工事だが、WD-1のみ配線本工事

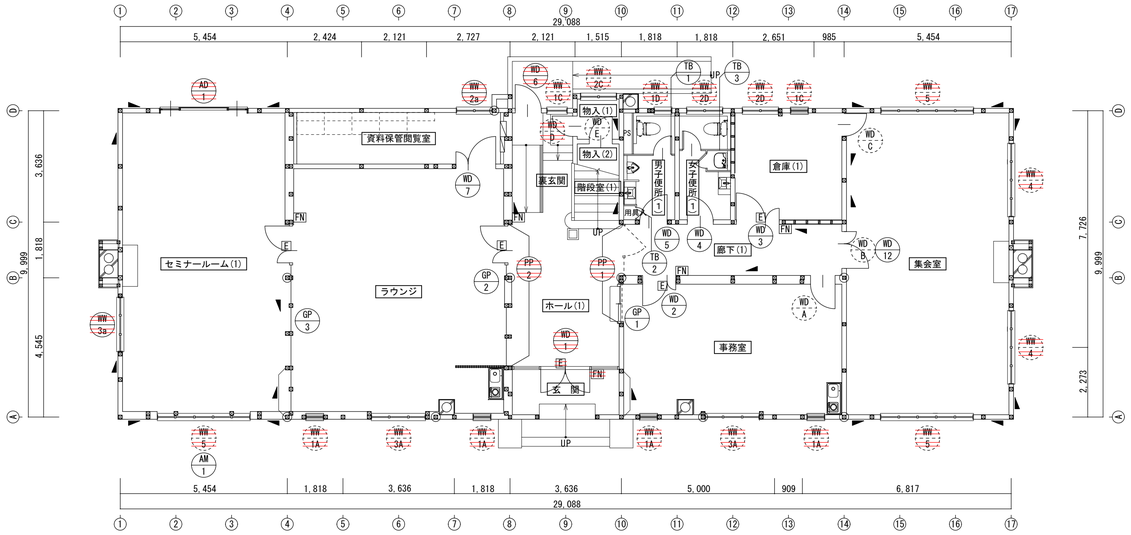
特 記 事 項

1. 合板はすべてﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放出量がＦ☆☆☆☆の等級の規格に適合する材料を使用すること。
2. WPSはｷｼﾝﾗﾃﾞｺｰﾙｺﾝｼﾞﾗﾝ又はｷｼﾝﾗﾃﾞｺｰﾙｲﾝﾃﾘｱﾌｧｲﾝを使用すること。
3. 建具金物は特記を除き、ステンレス製とする。
4. 丁番は特記を除き、木製建具3枚吊とする。
5. 網戸は特記を除きSUSネットとする。
6. SGは擦りガラスを示す。
7. 〈EW1〉部に取付ｻｯｼのすべて、DS-30 参照すること。
8. WDのシリンダー本締錠は新規取付とし、グランドマスター対応とする。
9. 電気錠(通電金具共)の手配及び取付作業は建具工事の範囲とする。

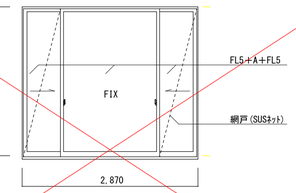
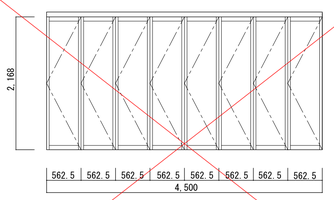


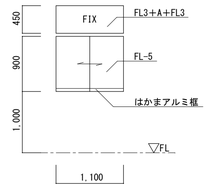
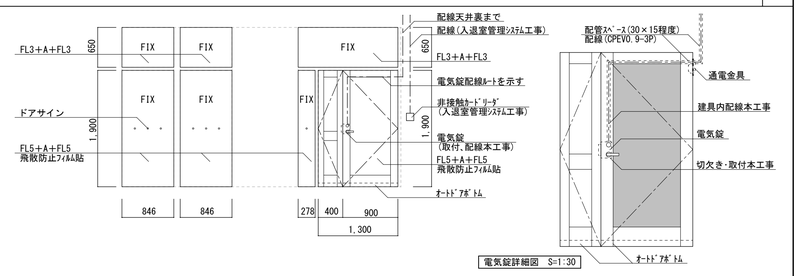


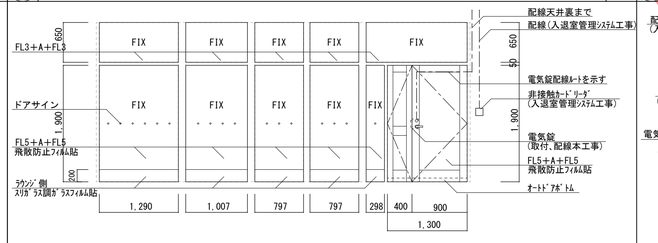
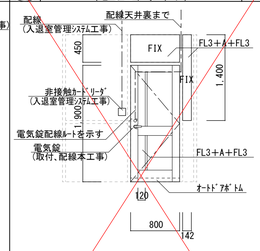
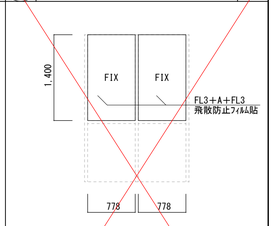
2階　建具符号図　S=1:100

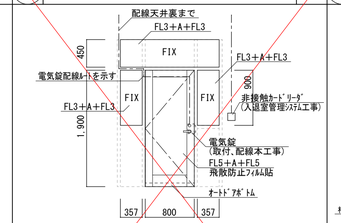
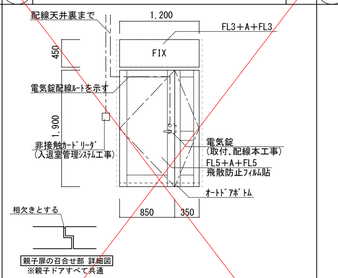
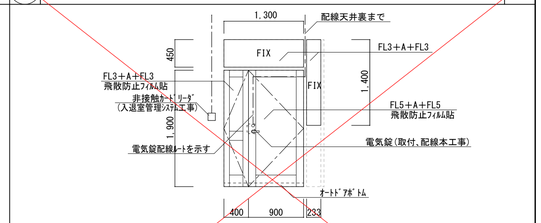


1階　建具符号図　S=1:100

建具符号	AD 1	両袖片引き戸	1	SLW 1	スライディングウォール	1
姿　図						
使用箇所	セミナールーム(1)			教材開発室 － セミナールーム(2)		
材料仕上･見込	アルミ樹脂複合サッシ　外部：アルミカラー　内部：樹脂(木目調)		見込:70	⊙3.0 アルポリック板(両面化粧)		見込:70
硝　子	FL5＋A＋FL5					
附属金物	戸車、レール、クレセント、付属金物一式			付属金物一式 埋込取手、ＦＲ型レール、戸先錠(シリンダー・サムターン)、グレモンハンドル、指定色焼付塗装(3方枠及び建具框)		
備　考	■寸法詰、スライド網戸(SUSネット)			ガラスパネルタイプ・下戸車タイプ・片引きタイプ		

建具符号	GP 1	木製ガラスパーテーション(ﾗﾝﾏFIX付引違いｶﾞﾗｽ戸)	1	GP 2	木製ガラスパーテーション(FIX付親子ドア)	1
姿　図						
使用箇所	ホール(1) － 事務室			ホール(1) － ラウンジ		
材料仕上･見込			見込:105	銘木単板貼合板　WPS		見込:105　ﾄﾞｱ見込:36
硝　子	ﾗﾝﾏ：FL3＋A＋FL3　引違い戸:FL5			ランマ:FL3＋A＋FL3　FL5＋A＋FL5の上、飛散防止フィルム貼(片面)		
附属金物	ソロバンレール、シリンダーハカマ錠			レバーハンドル、オートドアボトム、ピンチブロック、電気錠、丁番、DC、ドアサイン		
備　考	ガラス引手加工、方立･敷居･鴨居は大工工事 見掛り木部はすべてWPS塗装			方立･無目･柱は大工工事、見掛り木部はすべてWPS塗装(オデ共)		

建具符号	GP 3	木製ガラスパーテーション(FIX付親子ドア)	1	GP 4	木製ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ(FIX付片開き戸)(セミエアタイト)	1	GP 5	木製ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ(FIX窓)	1
姿　図									
使用箇所	ラウンジ － セミナールーム(1)			ホール(2) － スタジオ			スタジオ － 教材開発室		
材料仕上･見込	銘木単板貼合板　WPS		見込:105　ﾄﾞｱ見込:36	銘木単板貼合板　WPS		見込:105　ﾄﾞｱ見込:36			見込:105
硝　子	ランマ:FL3＋A＋FL3　FL5＋A＋FL5の上、飛散防止フィルム貼(片面)			FL3＋A＋FL3			FL3＋A＋FL3の上、飛散防止フィルム貼(片面)		
附属金物	レバーハンドル、オートドアボトム、ピンチブロック、電気錠、丁番、DC、ドアサイン			ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｵｰﾄﾄﾞｱﾎﾞﾄﾑ、ﾋﾟﾝﾁﾌﾞﾛｯｸ、電気錠、丁番、DC エアタイト金物					
備　考	方立･無目･柱は大工工事、見掛り木部はすべてWPS塗装(オデ共)			方立･無目は大工工事 見掛り木部はすべてWPS塗装(オデ共)			方立･無目は大工工事 見掛り木部はすべてWPS塗装		

建具符号	GP 6	木製ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ(FIX付片開き戸)	1	GP 7	木製ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ(FIX付親子ﾄﾞｱ)	1	GP 8	木製ガラスパーテーション(FIX付親子ドア)	1
姿　図									
使用箇所	ホール(2) － 教材開発室			ホール(2) － セミナールーム(2)			ホール(2) － ミーティング室		
材料仕上･見込	銘木単板貼合板　WPS		見込:105　ﾄﾞｱ見込:36	銘木単板貼合板　WPS		見込:105　ﾄﾞｱ見込:36	銘木単板貼合板　WPS		見込:105　ﾄﾞｱ見込:36
硝　子	FL3＋A＋FL3 FL5＋A＋FL5の上、飛散防止フィルム貼(片面)			ランマ:FL3＋A＋FL3 FL5＋A＋FL5の上、飛散防止フィルム貼(片面)			FL3＋A＋FL3の上、一部飛散防止フィルム貼(片面) FL5＋A＋FL5の上、飛散防止フィルム貼(片面)		
附属金物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｵｰﾄﾄﾞｱﾎﾞﾄﾑ、ﾋﾟﾝﾁﾌﾞﾛｯｸ、電気錠、丁番、DC			ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｵｰﾄﾄﾞｱﾎﾞﾄﾑ、ﾋﾟﾝﾁﾌﾞﾛｯｸ、電気錠、丁番、DC			レバーハンドル、オートドアボトム、ピンチブロック、電気錠、丁番、DC		
備　考	方立･無目は大工工事 見掛り木部はすべてWPS塗装(オデ共)			方立･無目は大工工事 見掛り木部はすべてWPS塗装(オデ共)			方立･無目は大工工事、見掛り木部はすべてWPS塗装(オデ共)		

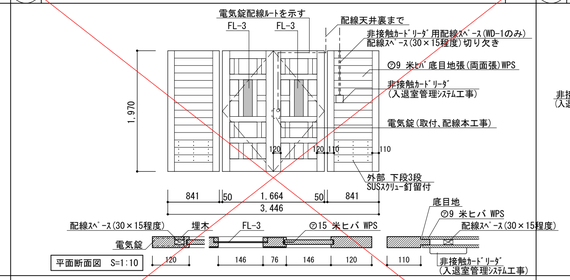
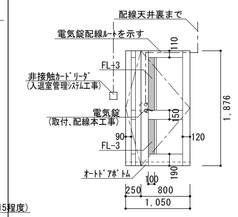
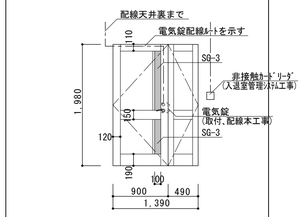
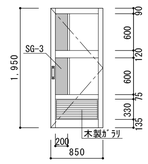
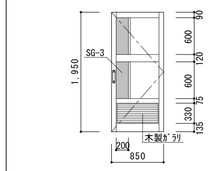
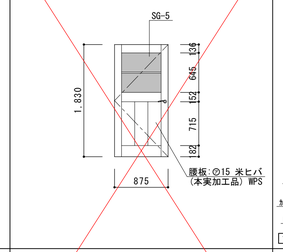
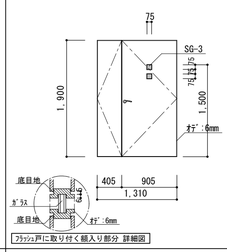
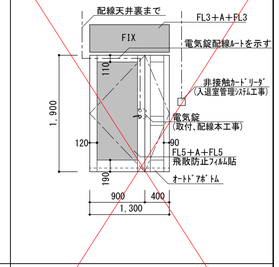
訂正	月	日	工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 45 号	課 長	副 課 長	係 長	係 員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	建具符号図・建具表(1)	作成 令和4年3月				
	・					滋賀大学施設管理課			

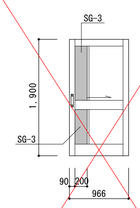
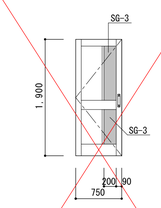
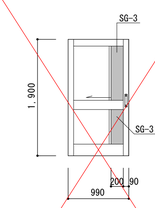
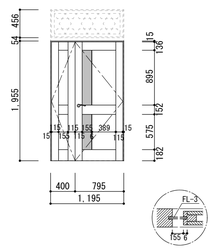
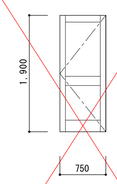
一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275

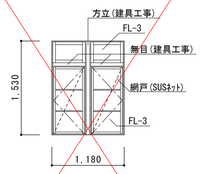
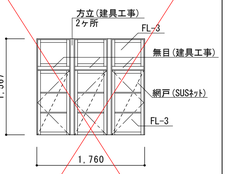
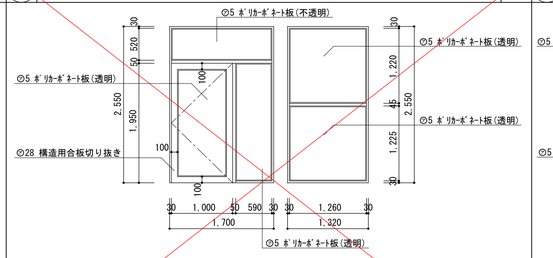
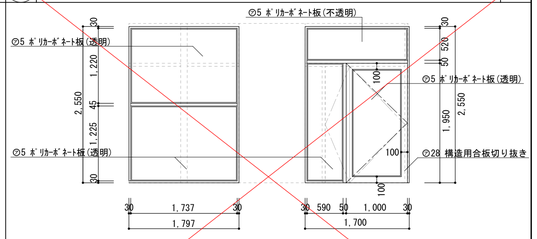
Architect & Associate
株式会社
匠工房
TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055

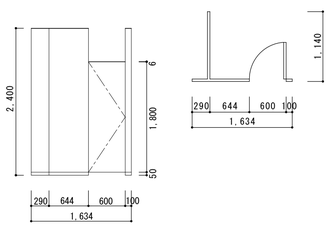
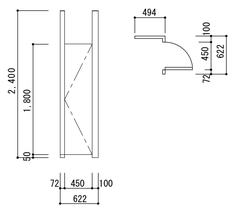
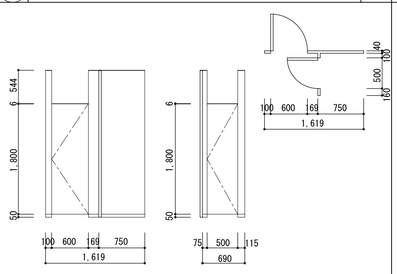
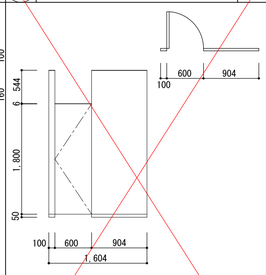
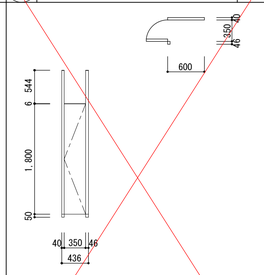
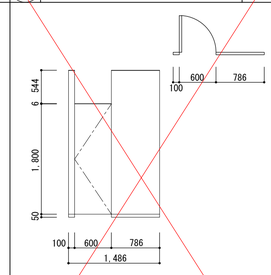
一級建築士登録第159949号
島 田 廣 巳

設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	整理番号
島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 ― 45
				図面名称 建具符号図・建具表(1)	縮 尺 S=1:100、S=1: 50(A1) S=1:200、S=1:100(A3)
					図面番号 A ― 36

建具符号	WD 1	WD 2	WD 3	WD 4	WD 5	WD 6	WD 7	WD 8
	両袖嵌め殺しフラッシュ戸付両開き框戸 1	親子額入り框ドア 1	親子額入り框ドア 1	片開き額入り框戸 1	片開き額入り框戸 1	片開き額入り框戸 1	親子額入りフラッシュドア 1	親子額入り框ドア 1
姿図								
使用箇所	玄関 - ホール(1)	廊下(1) - 事務室	廊下(1) - 倉庫(1)	廊下(1) - 女子便所(1)	廊下(1) - 男子便所(1)	裏玄関	ラウンジ - 資料閲覧保管室	ホール(2) - サテライト管理室
材料仕上・見込	框・中桟・竪桟:米ヒバ WPS 見込:36	框:米松 鏡板:⌀12 米松単板貼合板 WPS 見込:36	框:米松 鏡板:⌀12 米松単板貼合板 WPS 見込:36	框:米松 WPS 見込:33	框:米松 WPS 見込:33	米ヒバ WPS 見込:33	銘木単板貼合板 WPS 見込:33	框:米松 鏡板:⌀12 米松単板貼合板 WPS 見込:36
硝子	FL-3	FL-3	SG-3	SG-3	SG-3	SG-5	SG-3	FL3+A+FL3 FL5+A+FL5の上、飛散防止フィルム貼(片面)
附属金物	大型引手(L=700・黒色)、電気錠、丁番、DC、ﾌﾗｯｼｭ落し	レバーハンドル、電気錠、丁番、DC、オートドアボトム ピンチブロック、フランス落し	レバーハンドル、電気錠、丁番、DC、フランス落し	ドアハンドル、丁番、DC、木製ガラリ	ドアハンドル、丁番、DC、木製ガラリ	レバーハンドル、丁番、DC、 シリンダー本締錠(内部サムターン)	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ(UL448/ﾕﾆｵﾝ)、丁番、DC、ﾌﾗｯｼｭ落し シリンダー本締錠	レバーハンドル、電気錠、丁番、DC、オートドアボトム ピンチブロック、フランス落し
備考	既存方立等の見え掛り木部はすべてWPS塗装	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り) SUS沓摺	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り) SUS沓摺	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り) SUS沓摺	オデWPS塗装	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)

建具符号	WD 9	WD 10	WD 11	WD 12	WD 13		AM 1		
	片引き額入り框戸 1	片開き額入り框戸 1	片引き額入り框戸 1	親子ドア(框戸) 1	片開き框戸 1		木製網戸		
姿図									
使用箇所	サテライト管理室 - 倉庫(2)	ホール(2) - 女子便所(2)	ホール(2) - 男子便所(2)	廊下(1) - 集会室	サテライト管理室(収納)				
材料仕上・見込	框:米松 鏡板:⌀12 米松単板貼合板 WPS 見込:33	框:米松 鏡板:⌀12 米松単板貼合板 WPS 見込:33	框:米松 鏡板:⌀12 米松単板貼合板 WPS 見込:33	框:米松 鏡板:⌀12 米松単板貼合板 WPS 見込:33 ランマは既存再使用(WD-B参照)	框:米松 鏡板:⌀12 米松単板貼合板 WPS 見込:30				
硝子	SG-3	SG-3	SG-3	FL-3					
附属金物	戸車、引手、シリンダー錠	ドアハンドル、丁番、DC	戸車、引手	レバーハンドル、丁番、DC、フランス落し シリンダー本締錠(内部:サムターン)	取手、丁番、DC				
備考	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り) SUSシール	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り) SUSシール	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)	見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)				

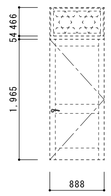
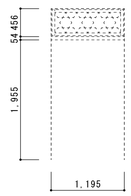
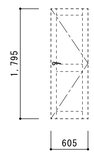
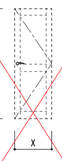
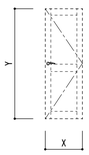
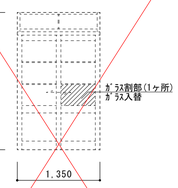
建具符号	WW 2a	WW 3a	AM 1			P.P 1	P.P 2	
	2連ﾗﾝﾏFIX付たてすべり窓 1	3連ﾗﾝﾏFIX付たてすべり窓 1	木製片開き網戸 5			仮設間仕切り 1	仮設間仕切り 1	
姿図	 特記 1.詳細は DS-6 参照	 特記 1.詳細は DS-6 参照						
使用箇所	資料保管閲覧室	セミナールーム(1)	セミナールーム(1)			ホール(1) - 廊下(1)・事務室	ホール(1) - ラウンジ	
材料仕上・見込	米ヒバ WPS	米ヒバ WPS	米ヒバ WPS			開き戸框：⌀28 構造用合板切り抜き	開き戸框：⌀28 構造用合板切り抜き	
硝子	FL-3	FL-3	SUSネット			⌀5 ポリカーボネート板(透明)(ランマのみ不透明)	⌀5 ポリカーボネート板(透明)(ランマのみ不透明)	
附属金物	丁番、レバーハンドル、アームストッパー ピンチブロック	丁番、レバーハンドル、アームストッパー ピンチブロック	丁番、取手			開き戸：丁番、取手、南京錠	開き戸：丁番、取手、南京錠	
備考	内部内開き網戸 見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)	内部内開き網戸 見え掛り木部はすべてWPS(2回塗り)				1期工事完了後から2期工事開始までの期間設置	1期工事完了後から2期工事開始までの期間設置	

建具符号	TB 1	TB 2	TB 3	TB 4	TB 5	TB 6		
	トイレブース 1	トイレブース 1	トイレブース 1	トイレブース 1	トイレブース 1	トイレブース 1		
姿図								
使用箇所	男子便所(1)	男子便所(1)	女子便所(1)	女子便所(2)	女子便所(2)	男子便所(2)		
材料仕上・見込	ﾒﾗﾐﾝ化粧板(木目調) 見込:40	ﾒﾗﾐﾝ化粧板(木目調) 見込:40	ﾒﾗﾐﾝ化粧板(木目調) 見込:40	ﾒﾗﾐﾝ化粧板(木目調) 見込:40	ﾒﾗﾐﾝ化粧板(木目調) 見込:40	ﾒﾗﾐﾝ化粧板(木目調) 見込:40		
硝子								
附属金物	スライドボルト、戸当たり、帽子掛、SUS巾木、扉アルミRエッジ	戸当たり、帽子掛、SUS巾木、扉アルミRエッジ、オートヒンジ	スライドボルト、戸当たり、帽子掛、SUS巾木、扉アルミRエッジ	戸当たり、帽子掛、SUS巾木、扉ｱﾙﾐRｴｯｼﾞ	ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、戸当たり、帽子掛、SUS巾木、扉ｱﾙﾐRｴｯｼﾞ、ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ	スライドボルト、戸当たり、帽子掛、SUS巾木、扉ｱﾙﾐRｴｯｼﾞ		
備考	非常解錠付、頭つなぎSUS FB-6×40	頭つなぎSUS FB-6×40	非常解錠付、頭つなぎSUS FB-6×40	頭つなぎSUS FB-6×40	頭つなぎSUS FB-6×40	頭つなぎSUS FB-6×40		

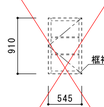
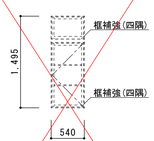
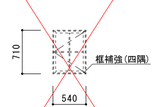
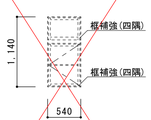
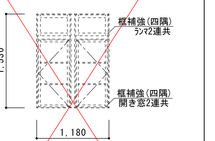
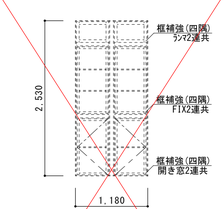
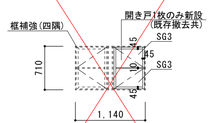
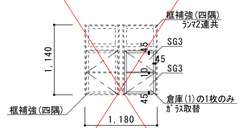
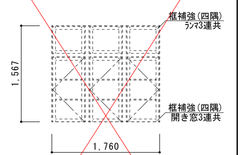
訂正	月	日	工事名称	56 枚のうち 46 号	課長	副課長	係長	係員
	・		滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	縮尺 -				
	・		図面名称 建具表(2)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・							

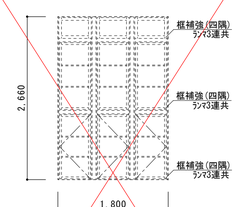
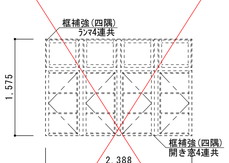
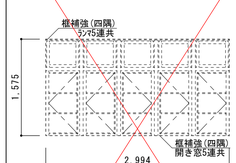
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号 島田 廣巳

設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	整理番号
島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 46
				図面名称 建具表(2) / 縮尺 S=1: 50(A1) S=1:100(A3)	図面番号 A — 37

建具符号	WD A	WD B	WD C	WD D	WD E	WD F	WD G		
	ランマ(既存再使用) 1	ﾗﾝﾏ付両開き戸(既存再使用) 1	片開き戸(既存再使用) 1	片開き戸(既存再使用) 1	片開き戸(既存再使用) 1	ﾗﾝﾏ付引違い戸(既存再使用) 3	片開き戸(既存再使用) 1		
姿　図									
使用箇所	廊下(1) - 事務室	廊下(1) - 集会室	集会室(収納)	裏玄関 - 物入(21)	物入(1) - 物入(2)	セミナールーム(2)、ミーティング室、サテライト管理室	サテライト管理室 - 物置(小屋裏収納)		
材料仕上･見込	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装　見込:35	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装　見込:35	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装　見込:35	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装　見込:35	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装　見込:35	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装		
硝　子	ﾗﾝﾏ：既存ｶﾞﾗｽのまま	既存ｶﾞﾗｽのまま				既存ｶﾞﾗｽのまま、ｶﾞﾗｽ割れ部:SG-3(1ヶ所のみ)			
附属金物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、 既存金物調整、シリンダー本締錠		ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、 既存金物調整、シリンダー本締錠	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、 既存金物調整、シリンダー本締錠	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、 既存金物調整、シリンダー本締錠	既存金物調整、ﾚｰﾙ取替、戸車取替	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、 既存金物調整、シリンダー本締錠		
備　考	吊元変更(建具表裏変更)、建付け調整、 既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え 既存木部ｹﾚﾝの上、WPS	建付け調整	建付け調整	建付け調整	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え	吊元変更(建具表裏変更)、建付け調整		

建具符号									
姿　図									
使用箇所									
材料仕上･見込									
硝　子									
附属金物									
備　考									

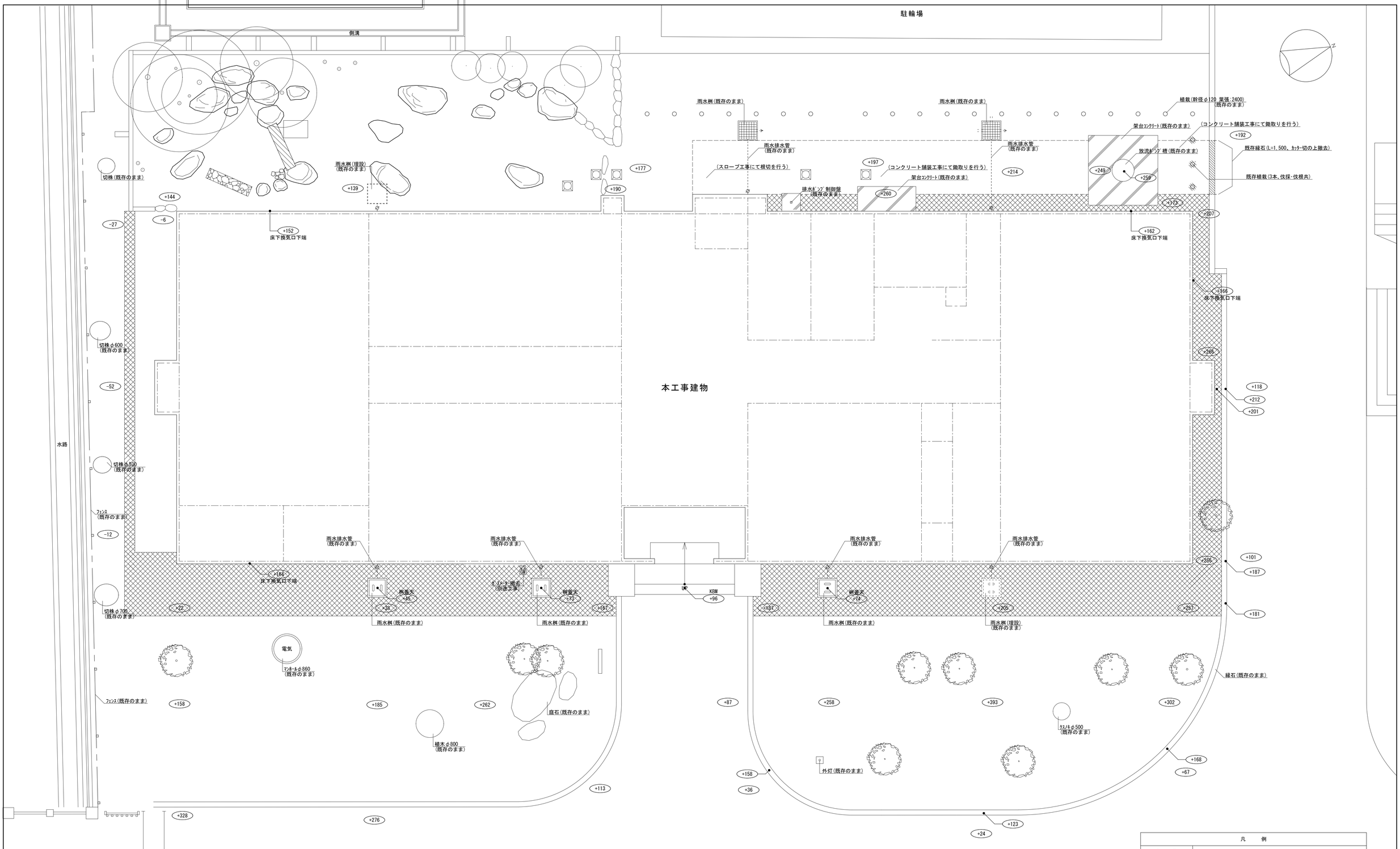
建具符号	WW 1A	WW 1B	WW 1C	WW 1D	WW 2A	WW 2B	WW 2C	WW 2D	WW 3A
	たてすべり窓(既存再使用) 5	ﾗﾝﾏFIX付たてすべり窓(既存再使用) 2	たてすべり窓(既存再使用) 4	ﾗﾝﾏFIX付たてすべり窓(既存再使用) 1	2連ﾗﾝﾏFIX付たてすべり窓(既存再使用) 10	2連2段ﾗﾝﾏFIX付たてすべり窓(既存再使用) 1	2連たてすべり窓(既存再使用) 1	2連ﾗﾝﾏFIX付たてすべり窓(既存再使用) 2	3連ﾗﾝﾏFIX付たてすべり窓(既存再使用) 2
姿　図	 特記. 既存網戸(4ヶ所)の張替えを行うこと 既存網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ)の張替のみ行う	 特記. 既存網戸(4ヶ所)の張替えを行うこと 既存網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ)の張替のみ行う			 特記. 既存網戸(8ヶ所×2台)の張替えを行うこと 既存網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ)の張替のみ行う				 特記. 既存網戸(2ヶ所×3台)の張替えを行うこと 既存網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ)の張替のみ行う
使用箇所	ラウンジ・事務室・教材開発室	ミーティング室	裏玄関・倉庫(1)・物置	男子便所(1)	スタジオ・教材開発室・給湯室・女子便所(2)・男子便所(2) セミナールーム(2)・サテライト管理室	倉庫(2)	物入(1)	女子便所(1)・倉庫(1)	ラウンジ・事務室
材料仕上･見込	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装
硝　子	既存ｶﾞﾗｽのまま　(5ヶ所すべて内部ｽﾘｶﾞﾗｽ調ﾌｨﾙﾑ貼)	既存ｶﾞﾗｽのまま	既存ｶﾞﾗｽのまま　(倉庫(1)は内部ｽﾘｶﾞﾗｽ調ﾌｨﾙﾑ貼)	既存ｶﾞﾗｽのまま　内部ｽﾘｶﾞﾗｽ調ﾌｨﾙﾑ貼	既存ｶﾞﾗｽのまま　(便所の2ヶ所は内部ｽﾘｶﾞﾗｽ調ﾌｨﾙﾑ貼)	既存ｶﾞﾗｽのまま	既存ｶﾞﾗｽのまま 開き戸1枚のみ新設：SG3	既存ｶﾞﾗｽのまま　内部ｽﾘｶﾞﾗｽ調ﾌｨﾙﾑ貼 倉庫(1)の1枚のみｶﾞﾗｽ入替	既存ｶﾞﾗｽのまま
附属金物	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替) 開き戸1枚のみ新設：丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)
備　考	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え 既存ｱﾙﾐ製内付網戸撤去(1ヶ所のみ)	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え 既存ｱﾙﾐ製内付網戸脱着(1ヶ所)	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え 既存ｱﾙﾐ製内付網戸脱着(8ヶ所×2台)	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え 既存ｱﾙﾐ製内付網戸脱着(2ヶ所×3台)

建具符号	WW 3B	WW 4	WW 5						
	3連ﾗﾝﾏFIX付2段たてすべり窓(既存再使用) 1	4連ﾗﾝﾏFIX付たてすべり窓(既存再使用) 2	5連ﾗﾝﾏFIX付たてすべり窓(既存再使用) 3						
姿　図	 特記. 既存網戸(4ヶ所×3台)の張替えを行うこと 既存網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ)の張替のみ行う	 特記. 既存網戸(2ヶ所×4台)の張替えを行うこと 既存網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ)の張替のみ行う	 特記. 既存網戸(2ヶ所×5台)の張替えを行うこと 既存網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ)の張替のみ行う						
使用箇所	階段室(1)	集会室	セミナールーム(1)・集会室						
材料仕上･見込	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装	既存のまま、ｹﾚﾝ、下地調整の上、WPS塗装						
硝　子	既存ｶﾞﾗｽのまま	既存ｶﾞﾗｽのまま	既存ｶﾞﾗｽのまま						
附属金物	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)	既存金物調整(ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ取替)						
備　考	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え 既存ｱﾙﾐ製内付網戸脱着(1ヶ所×3台)	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え 既存ｱﾙﾐ製内付網戸脱着(2ヶ所×4台)	建付け調整、既存ｶﾞﾗｽ押へｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え 既存ｱﾙﾐ製内付網戸脱着(2ヶ所×5台)						

訂正	月	日	工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 47 号	課 長	副 課 長	係 長	係 員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	建具表(3)　既存再使用	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房
TAKUMI KOBO
一級建築士登録第159949号
島 田 廣 巳
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055

設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	整理番号
				滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 47
島田　廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称 建具表(3)　既存再使用	縮 尺 S=1: 50(A1) S=1:100(A3) / 図面番号 A — 38

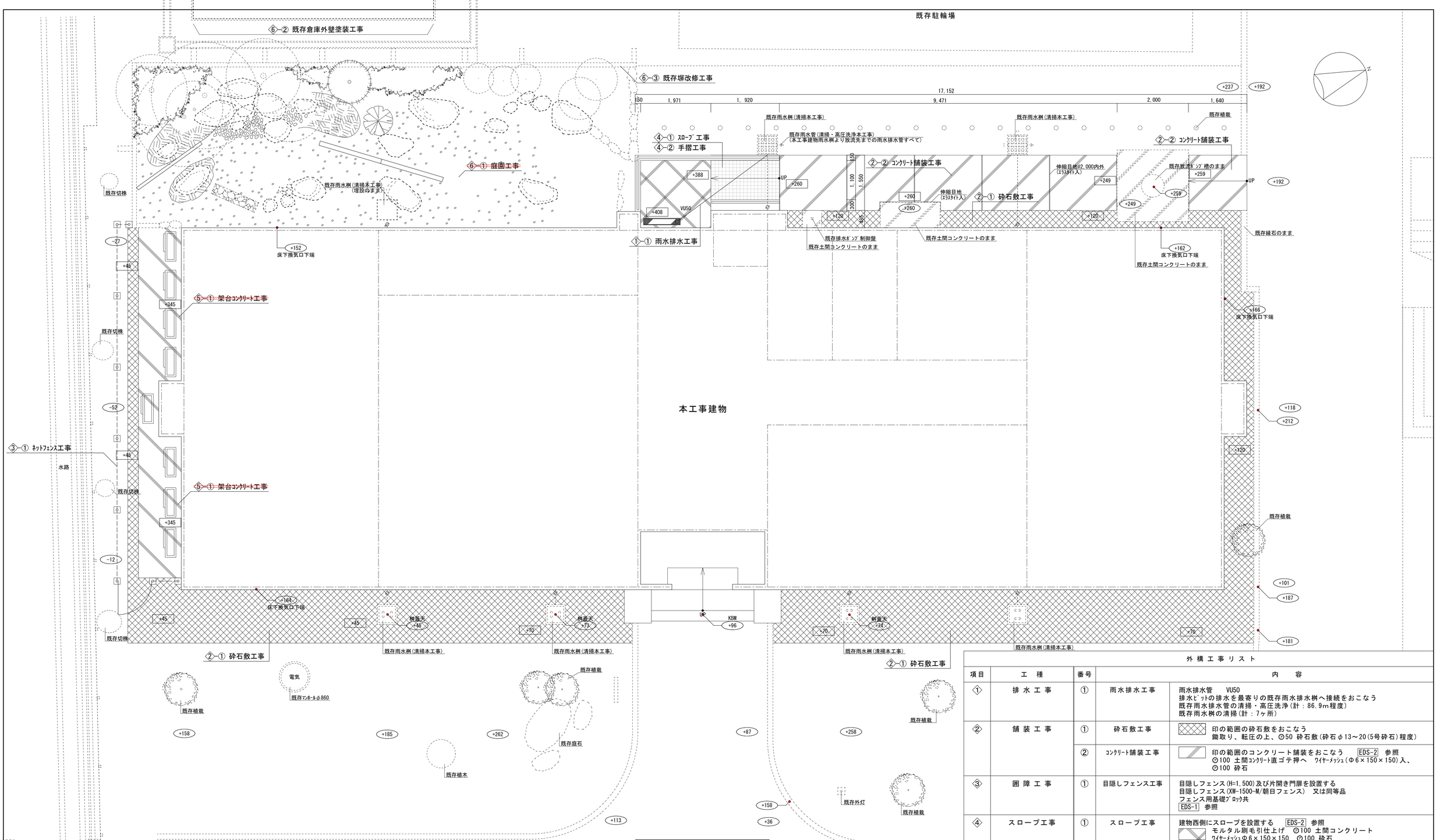


外構解体撤去図　S=1:50

特記　1.設計GLは　KBM-96　とする

凡　例	
記　号	内　容
	解体撤去範囲を示す
	現況のﾚﾍﾞﾙを示す
	鋤取り範囲を示す

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 48 号	課　長	副課長	係　長	係　員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KŌ BŌ 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 48
	・		縮尺	－															
	・		図面名称	外構解体撤去図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課						島田　廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称	外構解体撤去図	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 A — 39
	・																		



改修後外構図　S=1:50

凡　例

記　号	内　容
	新設ネットフェンスを示す
	砕石敷範囲を示す
	内数値は現況の地盤レベルを示す
	内数値は工事後の仕上レベルを示す

外構工事リスト

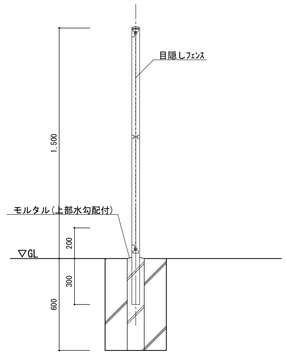
項目	工　種	番号		内　容
①	排水工事	①	雨水排水工事	雨水排水管　VU50 排水ピットの排水を最寄りの既存雨水排水桝へ接続をおこなう 既存雨水排水管の清掃・高圧洗浄(計：86.9m程度) 既存雨水桝の清掃(計：7ヶ所)
②	舗装工事	①	砕石敷工事	印の範囲の砕石敷をおこなう 鋤取り、転圧の上、Ⓩ50 砕石敷(砕石φ13～20(5号砕石)程度)
		②	コンクリート舗装工事	印の範囲のコンクリート舗装をおこなう　EDS-2 参照 Ⓩ100 土間コンクリート直ゴテ押へ　ワイヤーメッシュ(Φ6×150×150)入、 Ⓩ100 砕石
③	囲障工事	①	目隠しフェンス工事	目隠しフェンス(H=1,500)及び片開き門扉を設置する 目隠しフェンス(XW-1500-M/朝日フェンス)　又は同等品 フェンス用基礎ブロック共 EDS-1 参照
④	スロープ工事	①	スロープ工事	建物西側にスロープを設置する　EDS-2 参照 モルタル刷毛引仕上げ　Ⓩ100 土間コンクリート ワイヤーメッシュΦ6×150×150　Ⓩ100 砕石
		②	手摺工事	スロープに手摺を設置する　EDS-2 参照
~~⑤~~	~~その他工事~~	~~①~~	~~架台コンクリート工事~~	~~印の範囲の土間コンクリート打ちをおこなう~~ ~~Ⓩ100 土間コンクリート直ゴテ押へ~~ ~~Ⓩ100 砕石~~
⑥	庭園工事	①	~~庭園工事~~	~~本工事建物南西の庭園工事を行う~~ ~~詳細はNo.　図参照~~
		②	既存倉庫外壁塗装工事	既存倉庫の東面外壁の塗装を行う　詳細はNo.A-43図参照
		③	既存塀改修工事	既存塀の改修を行う　詳細はNo.A-43図参照

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 49 号	課長	副課長	係長	係員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	改修後　外構図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 49
島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称 改修後　外構図	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 A — 40

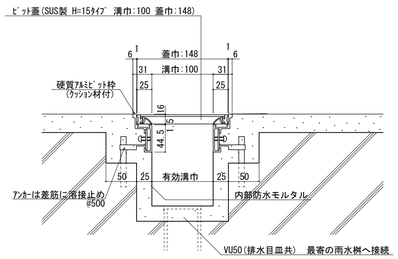
ＥＤＳ－１　目隠しフェンス詳細図　S=1:20



フェンス　断面詳細図　S=1:20

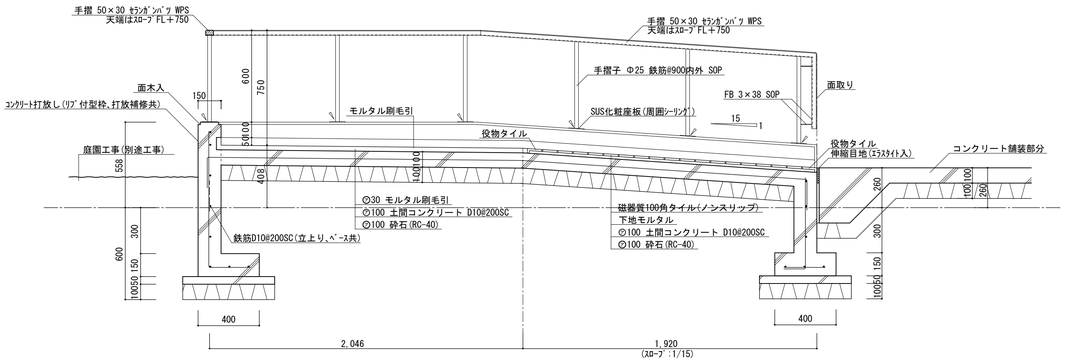
フェンス・基礎　仕様書	
1）フェンス	目隠しフェンス
	フェンス用基礎　400×400×H600　柱300埋込
2）門扉	1,000×H1,500　片開き門扉

ＥＤＳ－３　排水ピット詳細図　S=1:5

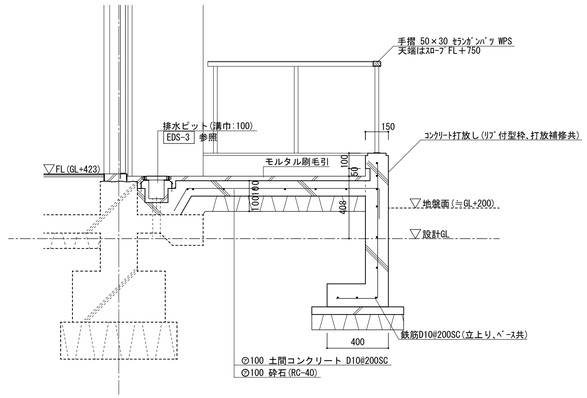


断面詳細図　S=1:5

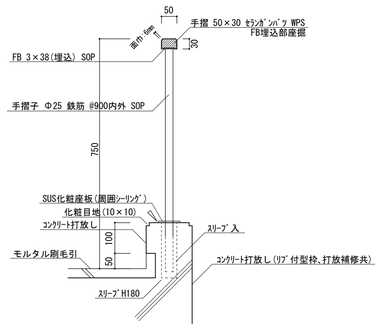
ＥＤＳ－２　スロープ詳細図　S=1:10　S=1:20



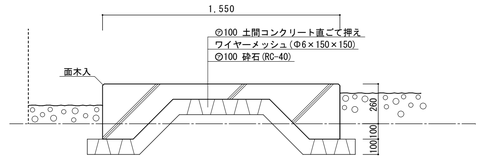
断面図　S=1:20



断面図　S=1:20



手摺　断面図　S=1:10

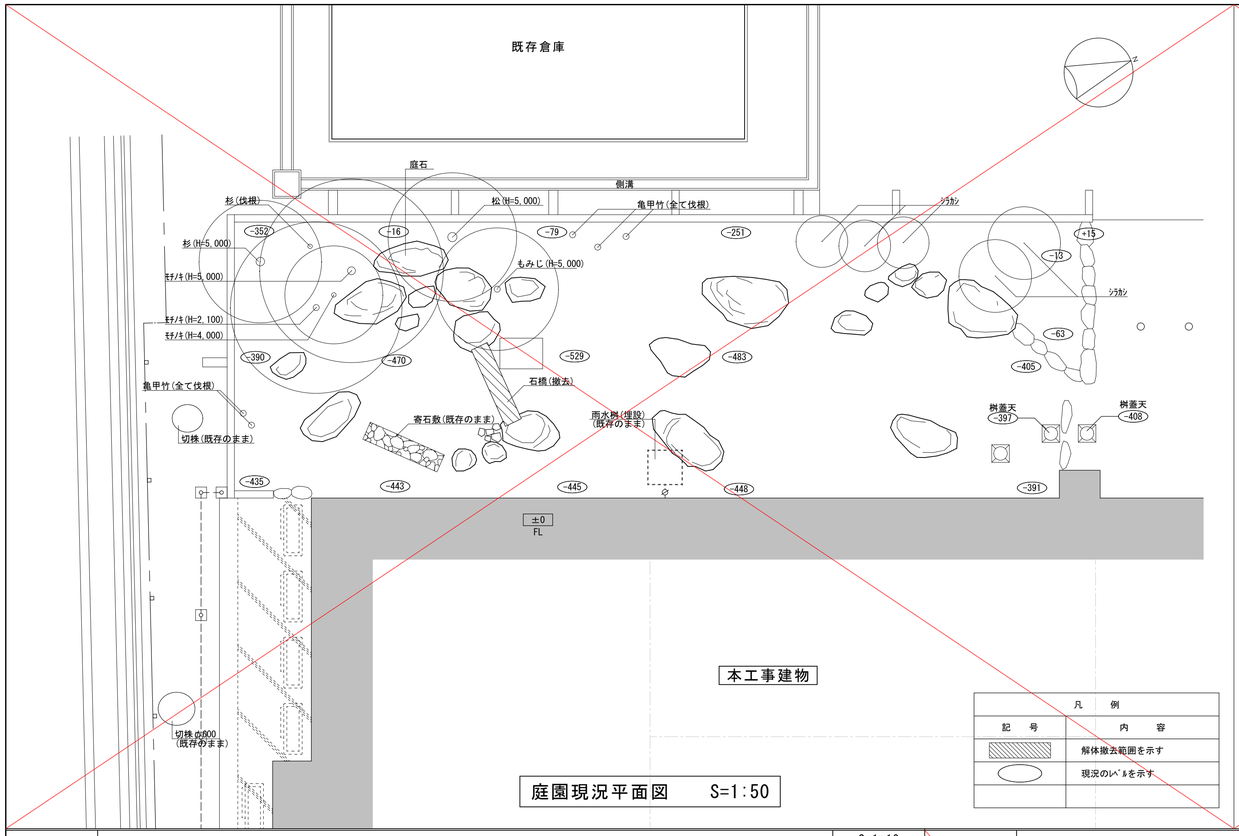


コンクリート舗装　断面図　S=1:20

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 50 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	外構詳細図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

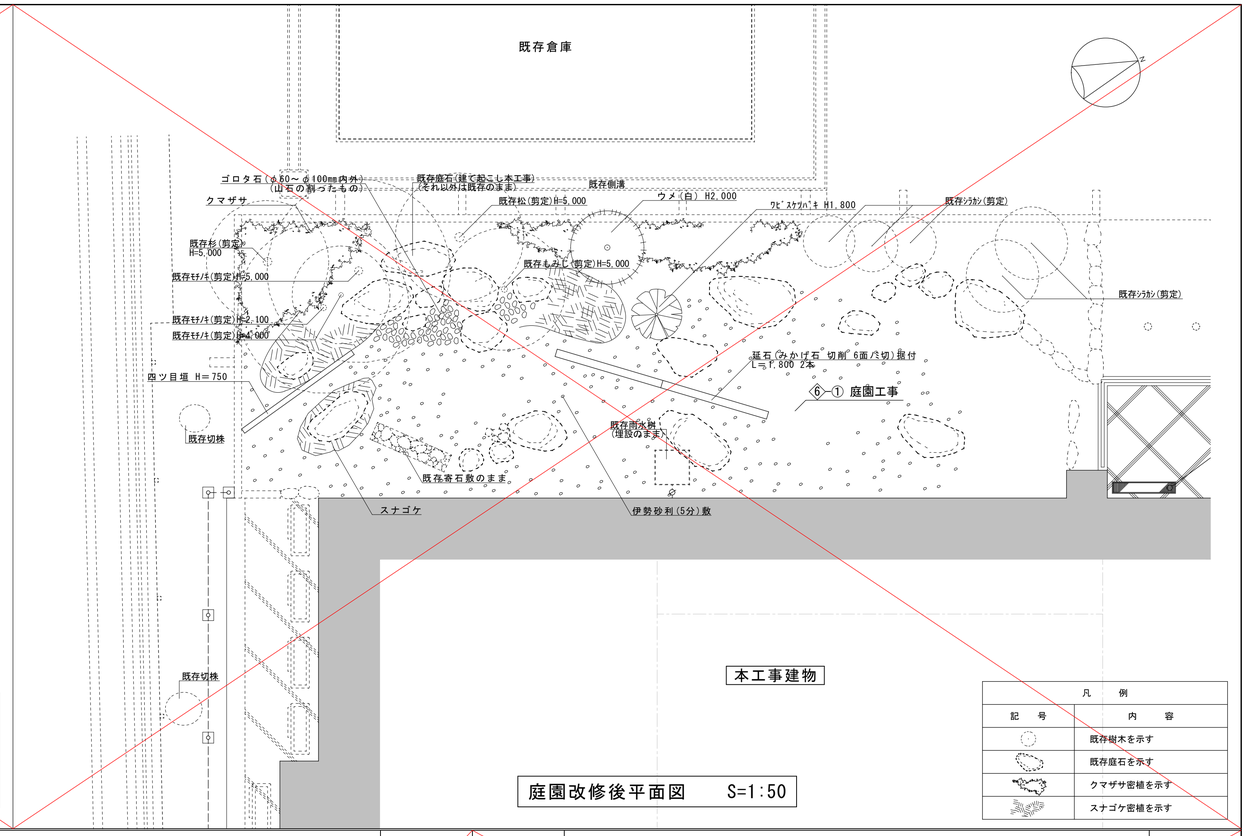
一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房 TAKUMI KO BO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号 56 — 50
島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	図面名称 外構詳細図	縮尺	図面番号 A — 41



凡　例	
記　号	内　容
	解体撤去範囲を示す
	現況のﾚﾍﾞﾙを示す

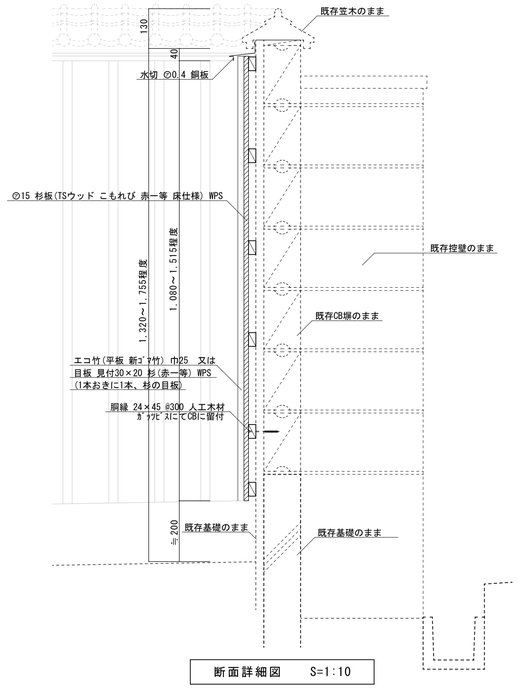
庭園現況平面図　S=1:50



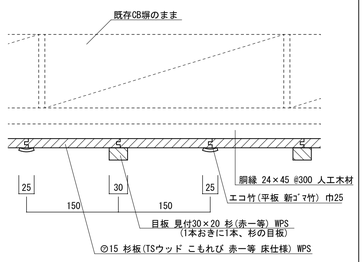
凡　例	
記　号	内　容
	既存樹木を示す
	既存庭石を示す
	クマザサ密植を示す
	スナゴケ密植を示す

庭園改修後平面図　S=1:50

EDS-a　既存塀改修詳細図　S=1:10 S=1:5

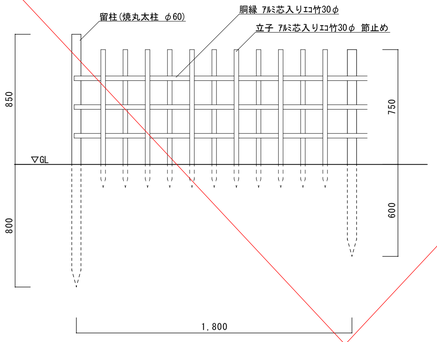


断面詳細図　S=1:10

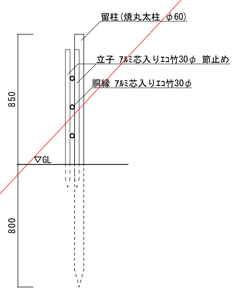


平面詳細図　S=1:5

EDS-b　四ツ目垣詳細図　S=1:20

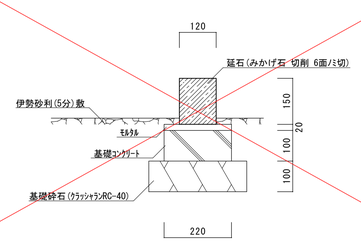


立面図　S=1:20



断面図　S=1:20

EDS-c　延石据付詳細図　S=1:10



断面図　S=1:10

庭園工事リスト			
既存樹木剪定及び処分		1	式
枯木伐根、整地、石橋撤去処分		1	式
延石据付	L=1,800 TS202VS-WT	2	本
四ツ目垣	H=750	2.2	m
ゴロタ石(山石)	φ45～60mm内外	1	式
伊勢砂利敷	5分	35	㎡
ワビスケツバキ(白)	H=1,800　手間　客土　土壌改良材　肥料共	1	本
ウメ(白))	H=2,000　手間　客土　土壌改良材　肥料共	1	本
クマザサ	密植　手間　客土　土壌改良材　肥料共	6.2	㎡
スナゴケ	密植　手間　客土　土壌改良材　肥料共	5.1	㎡

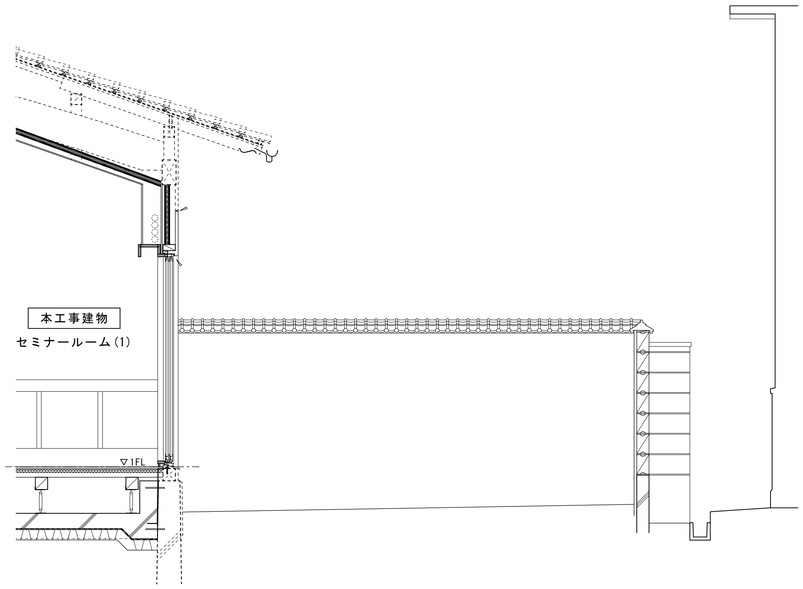
訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 51 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺 -				
	・		図面名称	庭園　現況・改修後平面図 庭園詳細図	作成 令和4年3月				
	・					滋賀大学施設管理課			

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号 島田 廣巳

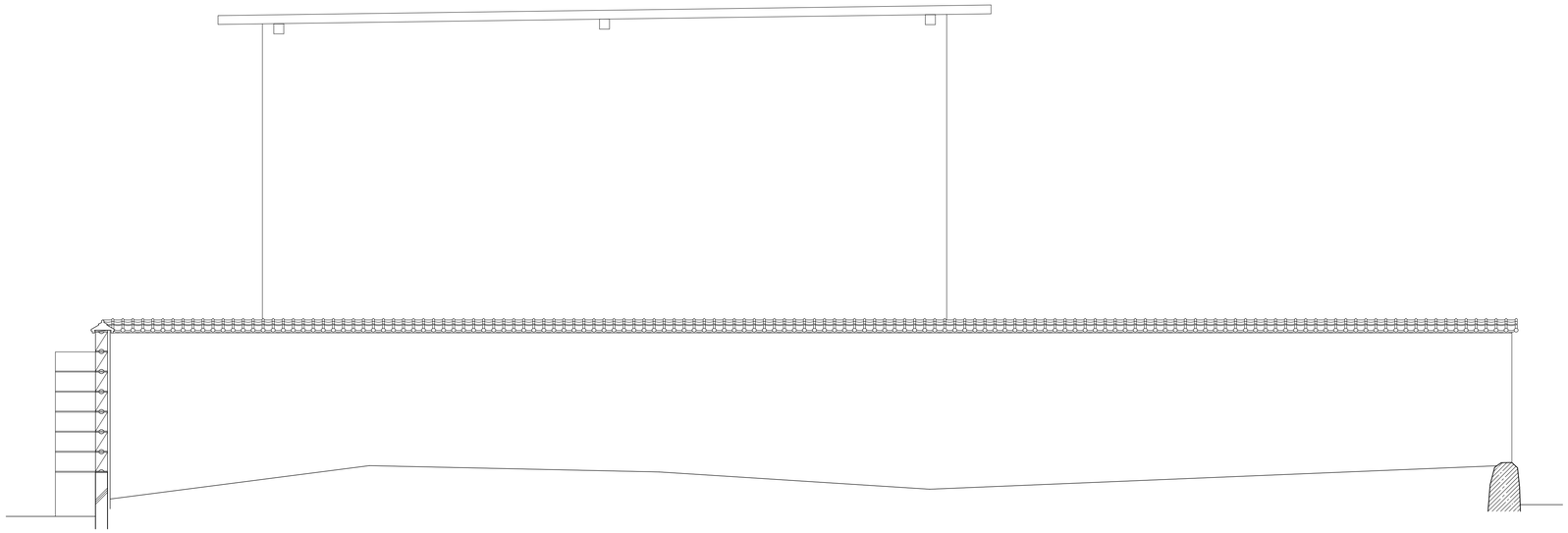
設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号
島田　廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称 庭園　現況・改修後平面図 庭園詳細図	縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号

56 — 51

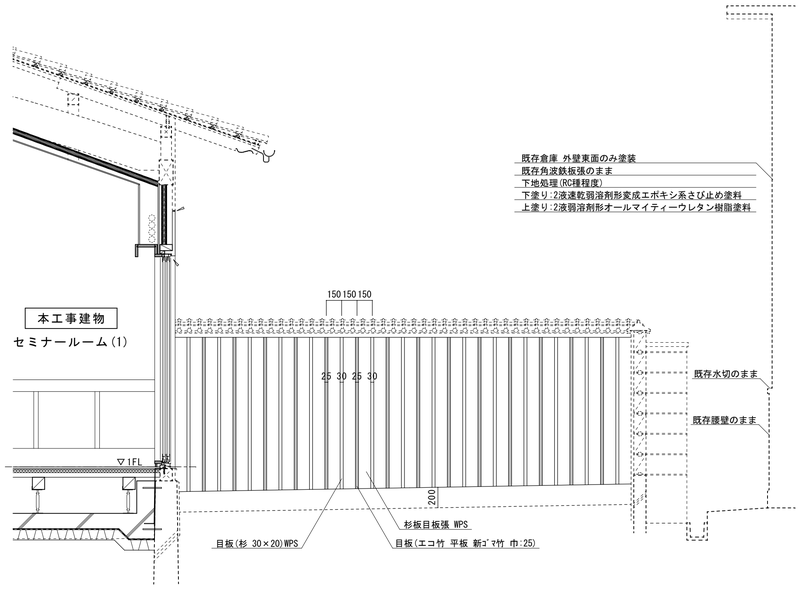
A — 42



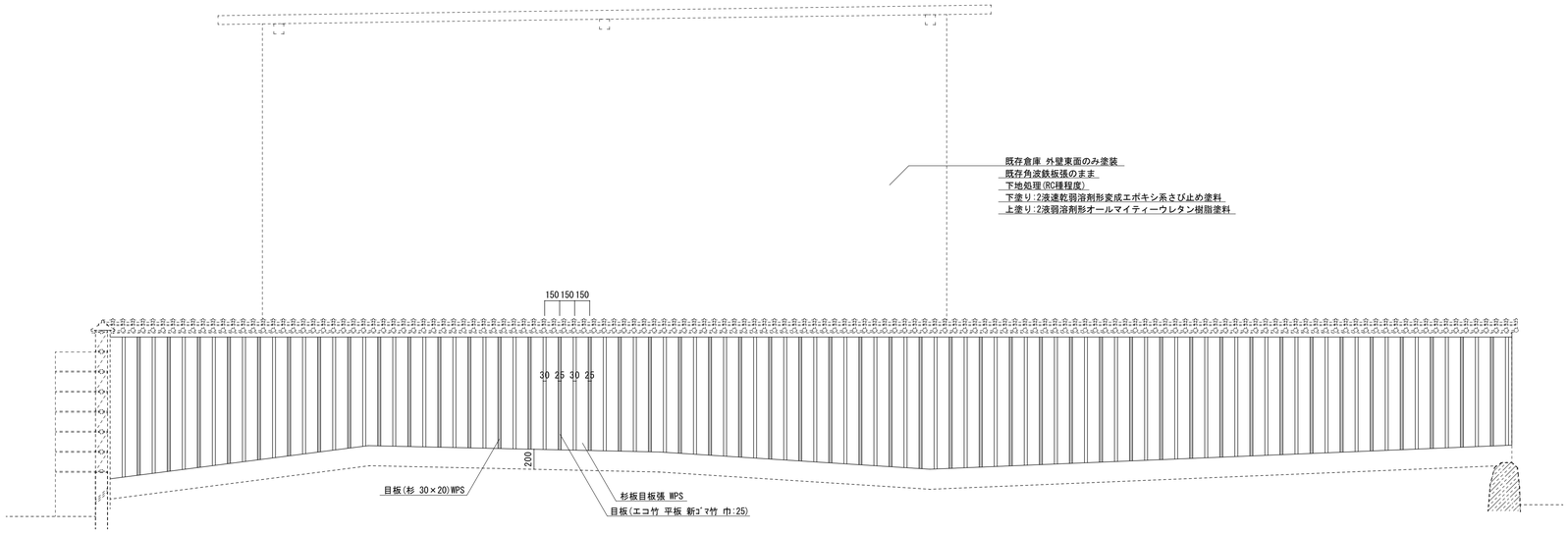
庭園 現況断面図　S=1:30
（塀北姿図）



庭園 現況断面図　S=1:30
（塀東姿図）



庭園 改修後断面図　S=1:30
（塀北姿図）



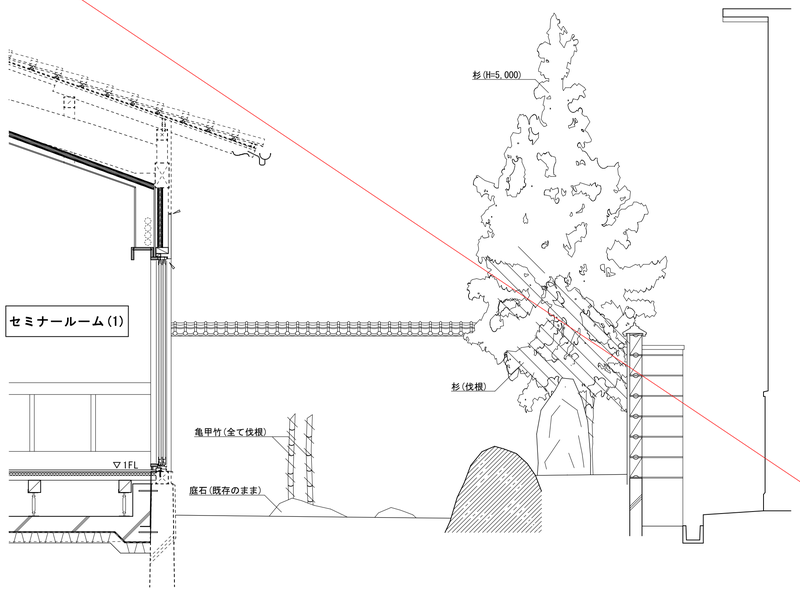
庭園 改修後断面図　S=1:30
（塀東姿図）

凡　例	
記　号	内　容
	既存のままの部分を示す
	改修部分を示す

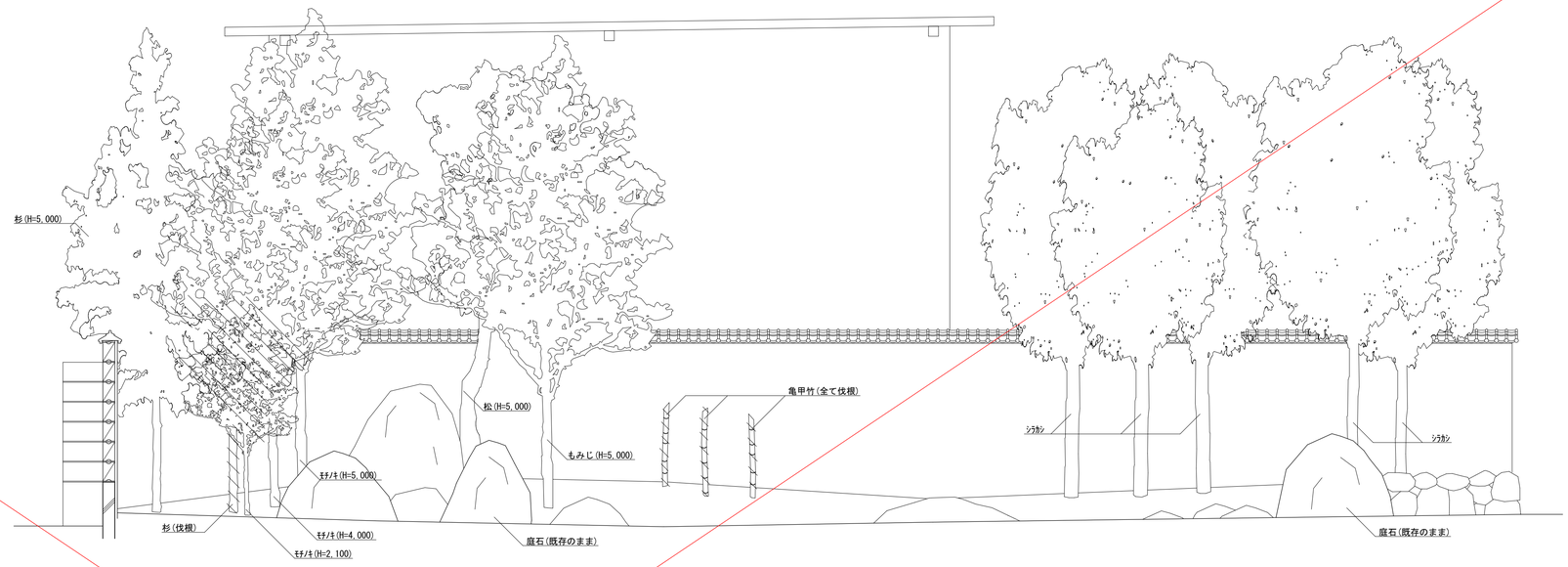
訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 52 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	庭園　現況・改修後断面図（塀姿図）	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	整理番号
				滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	56 — 52
島田 廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称 庭園　現況・改修後断面図（塀姿図） / 縮尺 A1 S=1:30 A3 S=1:60	図面番号 A — 43

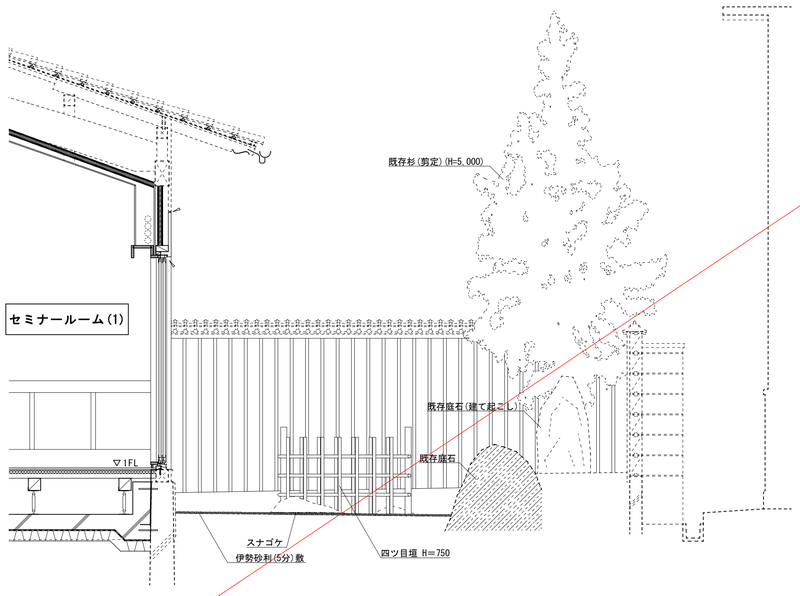


庭園 現況断面図 S=1:30

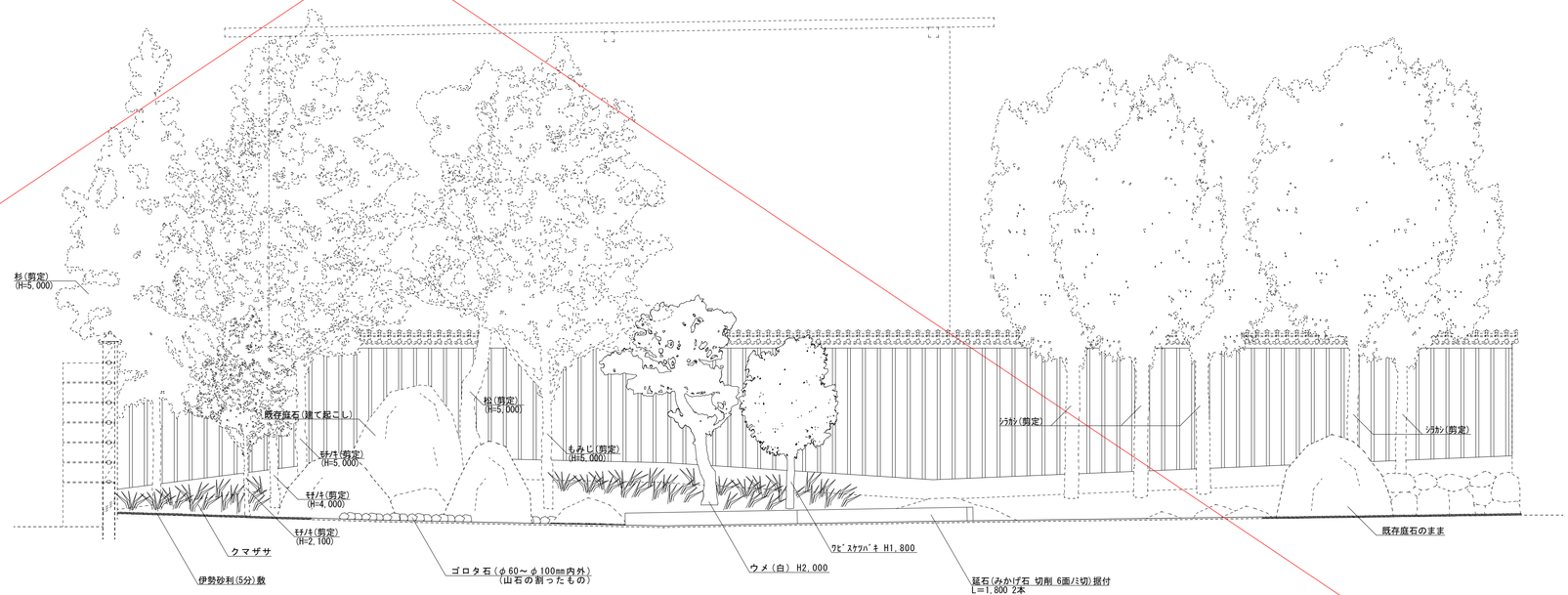


庭園 現況断面図 S=1:30

現況 凡例	
記 号	内 容
	解体撤去範囲を示す



庭園 改修後断面図 S=1:30



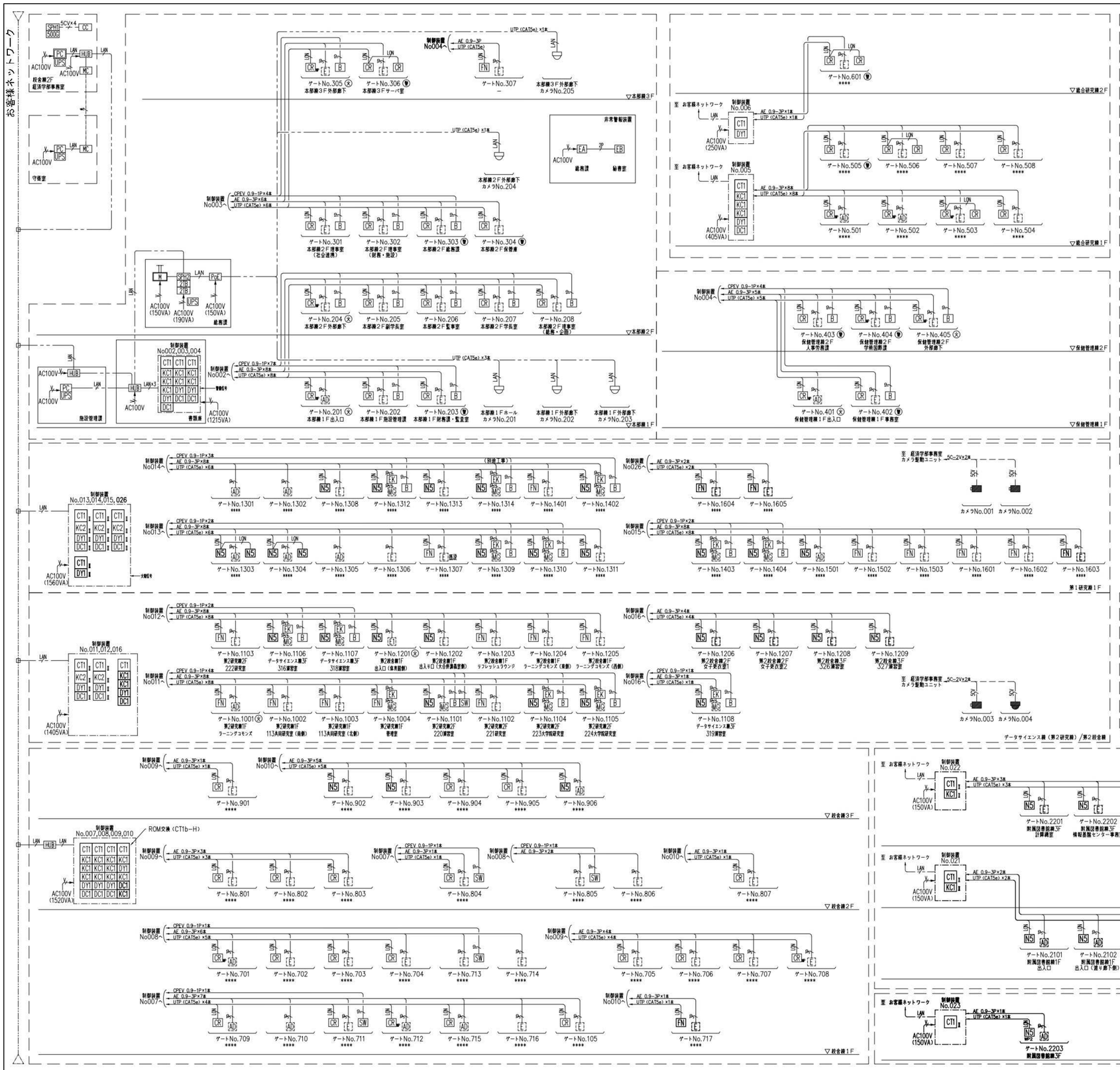
庭園 改修後断面図 S=1:30

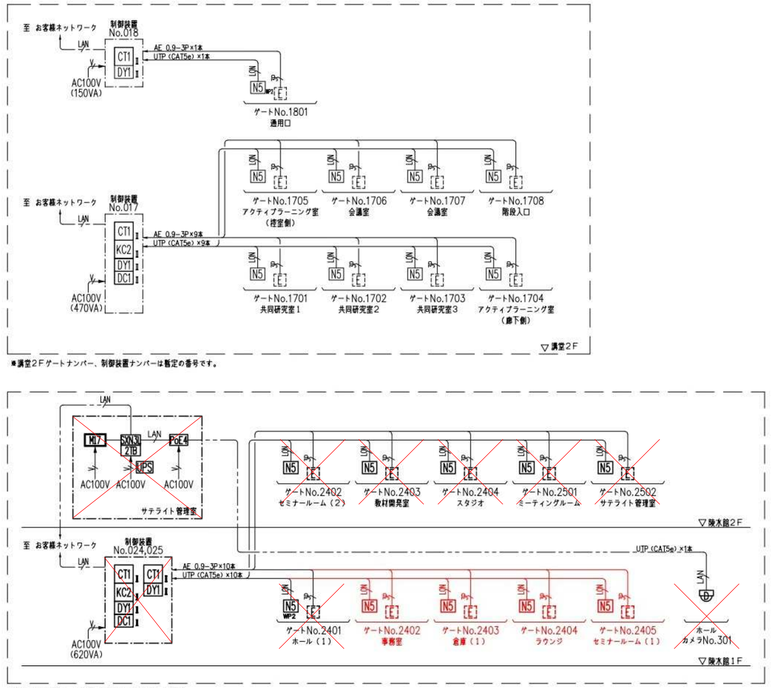
改修後 凡例	
記 号	内 容
	既存のままの部分を示す
	改修部分を示す

訂正	月 日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その2)	56 枚のうち 53 号	課 長	副課長	係 長	係 員
	・				縮尺 -				
	・		図面名称	庭園 現況・改修後断面図	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO
滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号 島田 廣巳

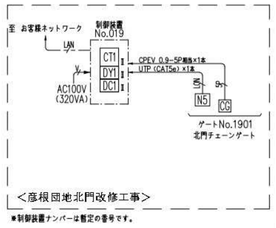
設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その3)	整理番号
						56 — 53
島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称	庭園 現況・改修後断面図	縮 尺 A1 S=1:30 A3 S=1:60
						図面番号 A — 44





＊講堂2Fゲートナンバー、制御装置ナンバーは暫定の番号です。

＊ゲートナンバー、制御装置ナンバーは暫定の番号です。



＊制御装置ナンバーは暫定の番号です。

構成凡例

凡例	名称	型式	既設	アイナンバー改修工事	北門改修工事	除水館改修工事	本部棟増設工事	計
PC	入退管理サーバPC一式	STD標準	1	－	－	－	－	1
	ソフト：セキュアモニタSTD	GG-RS1	1	－	－	－	－	1
PC	入退管理クライアントPC一式	クライアント標準	2	－	－	－	－	2
	ソフト：セキュアモニタクライアント	GG-RC1	2	－	－	－	－	2
UPS	無停電電源装置	SUA750JB	3	－	－	－	－	3
CT1	セキュアパネル	GG-CT1b GG-BT1	10	－	－	－	－	10
KC1	電気錠増設ユニット	GG-KC1b	21	+2	－	－	－	23
DY1	Dio増設ユニット(8Dio)	GG-DY1b	9	+1	－	－	－	10
DC1	電源ユニットDC24V	GG-DC1b. GG-BT1	7	+2	－	－	－	9
CR	非接触カードリーダ	GGS-NC31	56	−3	－	－	－	53
B	退室押しボタン		28	－	－	－	－	28
SW	片切キSW		5	－	－	－	－	5
	屋外防滴ボックス	GGS-WP11	12	－	－	－	－	12
WP2	屋外防滴ボックス	PBH6-1818, PBH7-1818	1	+2	－	+1	－	4
E	電気錠		75	+7		+10	+5	97
E1	モータ錠（GMX装置付）	EMX-05-51-MK-40	1	－	－	－	－	1
E2	モータ錠（GMX装置付）	EMX-05-38-MK-40	－	－	－	－	－	－
AD	自動ドア	（別途）	17	+4	－	－	－	21
CT1 Ⅱ	セキュアパネルⅡ	GG2-CT1. G1C-L GG-BT1	7	+3	+1	+2	+1	14
KC2 Ⅱ	6回線電気錠増設ユニット	GG2-KC2 GG-BT1	6	－	－	+1	－	7
KC1 Ⅱ	電気錠増設ユニットⅡ	GG2-KC1	－	+2	－	－	+1	3
DY1 Ⅱ	Dio増設ユニットⅡ(8Dio)	GG2-DY1	7	－	+1	+2	+1	11
DC1 Ⅱ	電源ユニットⅡ DC24V	GG2-DC1. GG-BT1	7	－	+1	+1	－	9
FN	非接触カードリーダFN	GG2-NC3-N1AW	38	−23	－	－	+5	20
MG	マグネトロック		14	－	－	－	－	14
N5	マルチカードリーダT	GG2-NC5b-T1AW	9	+37	+1	+10	－	57
CG	チェーンゲート	DD-XTC110	－	－	+1	－	－	1

線材凡例（配管径）

凡例	線材
1P	CPEV 0.9−1P (PF16)
2P	AE 0.9−2P (PF16)
3P	AE 0.9−3P (PF16)
LON	UTP CAT5e or LW222 (PF16)
LAN	UTP CAT5e (PF16)
VV	VVF1.6−3C (PF16)
5CV	5C−2V (PF22)

＊図中特記無き配線は、左記による。
＊二重天井内は極ボル配線を基本とする。
＊壁内配線は必要に応じて（）内配管にて保護すること。

仕様凡例

警	警戒セット時使用禁止＋施錠信号出力
火	火報信号入力時 一斉解錠

構成凡例

凡例	名称	型式	既設	除水館改修工事	計
EB	非常押ボタン	EK56	1	－	1
EA	非常警報装置	C−21	1	－	1
SD(N,L)	録画管理装置	SX−N3L	－	+1	1
SP(H)	録画管理装置	SP−H2	1	－	1
SP(H)	録画管理装置	SP−H1	1	－	1
UPS	無停電電源装置	BY50FW	1	+1	2
2TB	3．5型ハードディスク(2TB)	HDD−L02	2	+1	3
500G	3．5型ハードディスク(500GB)	WD5002ABYS	1	－	1
MT	17型ディスプレイ	LCD−AS173M	－	+1	1
MT	32型ディスプレイ	PN−T321	1	－	1
	ディスプレイ用天吊金具	（別途）	1	－	1
PoE4	PoEHUB（4ポート）	PN260493N	－	+1	1
PoE8	PoEHUB（8ポート）	Switch−M8ePWR	1	－	1
CU	カメラ駆動ユニット	SPU−410	1	－	1
	メガピクセルドームカメラ	DG−SW355	5	－	5
	ネットワークドームカメラ	WV−S2110J	－	+1	1
	ボックスカメラ	SCL−7100WIR	3	－	3
	ドームカメラ	SCD−7100WIR	1	－	1

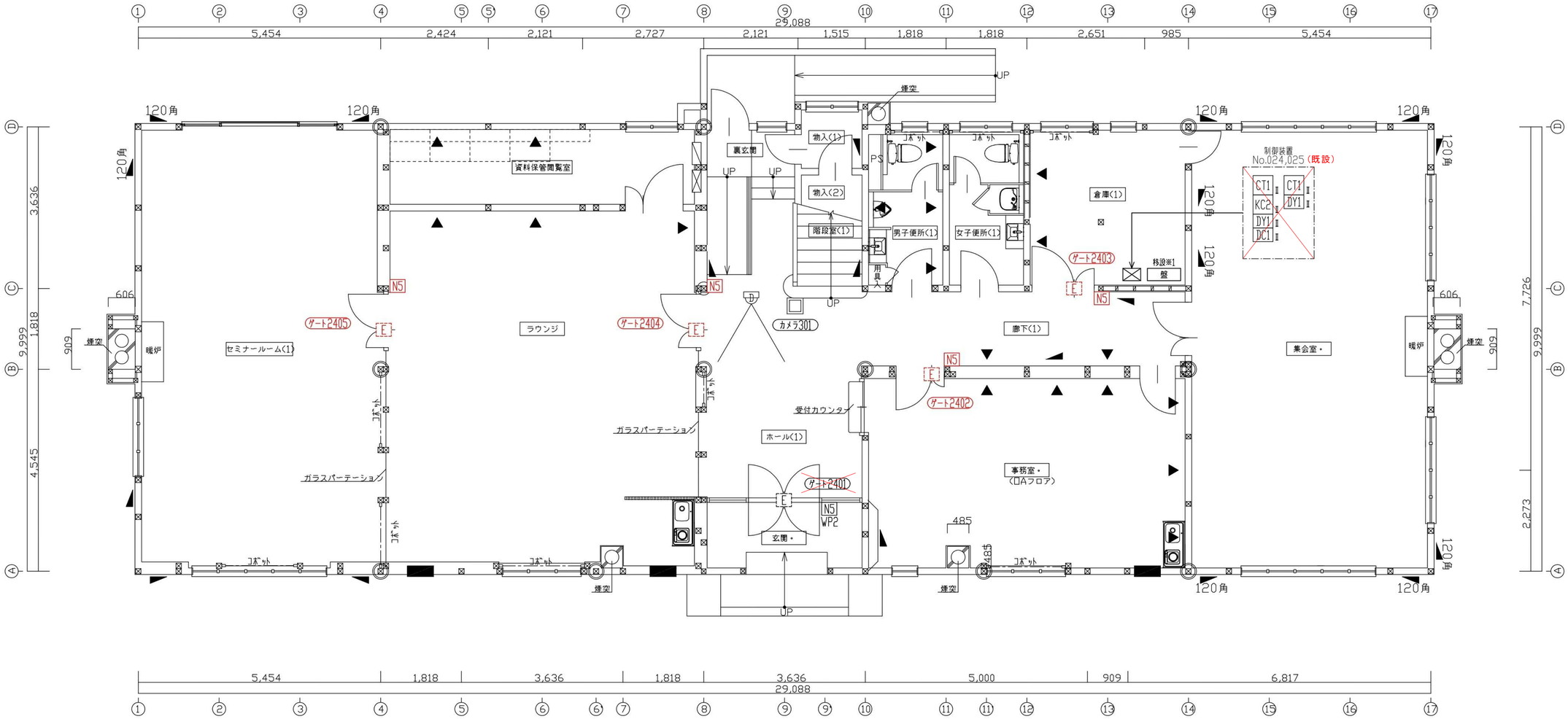
訂正	月	日	工事名称	56 枚のうち 54 号	課長	副課長	係長	係員	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第(ロ)2275	Architect & Associate 株式会社 匠工房 TAKUMI KOBO 滋賀県 米原市 柏原4316-6 TEL 0749-57-1055	一級建築士登録第159949号 島田 廣巳	設計年月日	設計	検図	受領印	業務名称	整理番号
	・		滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その2)	縮尺 －								島田 廣巳	製図	担当	受領年月日	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その3)	56 — 54
	・		図面名称 入退室管理システム(1)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課											図面名称 入退室管理システム(1) 縮尺	図面番号 A — 45
	・																

配線凡例

凡　例	名　　称	備　　考
⊠→	UTP Cat5e VVF 1.6-3C	
N5→	UTP Cat5e	LON通信（両端コネクタなし）
E→	AE 0.9-3P	
NVR→	UTP Cat5e VVF 1.6-3C VGA	
D→	UTP Cat5e	

機器凡例

凡 例	名　　称
⊠	入退室管理装置一式
N5	マルチカードリーダ
WP2	屋外防滴ボックス
E	電気錠
NVR	デジタル録画装置一式
D	ネットワークドームカメラ



改修後　1階平面図　S=1:50

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その２)	56 枚のうち 55 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	入退室管理システム(2)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社
匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設 計	検 図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その３)	整理番号	56 — 55
島田 廣巳	製 図	担 当	受領年月日	図面名称	入退室管理システム(2) 縮 尺	図面番号	A — 46

入退室管理システム工事

概　要

陵水館（4箇所）の入退室管理を実施する。（6箇所は実施済み）
カードは既存学生証、職員証を使用し、各扉の入室側に本人確認端末を設置し、登録されたカード情報であれば、入室を許可するものとする。
なお、本システムは新規入退室管理システムと接続し、管理を行えるものとする。

仕　様

1．構成

入退室制御装置	既設
本人確認端末	4台

2．設置場所

（1）本人確認端末
陵水館1階　4箇所

3．機能

（1）1台の入退室制御装置で最大8箇所の扉に設置された本人確認端末と電気錠を制御するものとする。また制御装置は最大で31台接続可能なものとし、将来の拡張に対応できるものとする。
（2）入退室制御装置で最大50,000件の個人情報が登録可能なものとする。
（3）入退室管理装置への情報登録は簡単に作業が行えるよう、パソコンでデータを作成し、イーサーネットで送信できるものとする。
（4）カードは既存学生証カードを使用し、カードごとに曜日別及び時間帯別に入室できる権限を設定できること。また、使用する有効期限を設定することができること。
（5）管理パソコンは入室・退室等のイベント履歴情報を最大400万件保存できるものとし、リアルタイムで履歴情報を表示・確認でき、接続されたプリンタにより印刷が可能なものとする。
（6）管理パソコンで記憶された設定データ及び履歴データを外部媒体バックアップができ、万が一の際に同外部媒体より簡単にシステム設定の復旧ができることとする。
（7）本人確認端末はFeliCaリーダとする。
（8）本人確認端末装置にて解除やエラー表示を行い、一目で状況がわかること。
（9）正規に入室操作していないものは退室できない、またはその逆も可能な材質管理機能を有し、するノしないを管理ソフトウェア上任意に設定できること。
（10）本人確認端末自体を使用禁止し、登録されたカードを持っていても強制的に入室させないようにする端末機能禁止機能を有すること。また、禁止時間をあらかじめスケジュールにて設定でき、自動で禁止／禁止解除の設定ができること。
（11）原則施錠状態を維持するが、荷物の搬入時等、連続的に解除する動作をパソコンから操作できること。
（12）校舎裏の管理パソコンをサーバーとし、守衛室の管理パソコンをクライアントとしLANを接続することにより、同様の操作および設定が行えること。
（13）管理パソコンを操作できるオペレータを登録でき、ID番号及びパスワードの入力がないとログインできないこと。またオペレータ毎に操作・設定できる権限を任意に設定できること。
（14）扉の開け放しを監視し、設定された時間以上扉を開放していれば、管理パソコン及び本人確認端末機にてブザーが鳴動すること。なお、扉開放の監視時間は1秒単位で最大59分59秒まで設定できること。
（15）本人端末機にて解除時やエラー時（電気錠エラーやカード読取エラー他）のブザー音を各項ごとに鳴る／鳴らないを任意で設定できること。
（16）将来の拡張に対応したシステムであること。拡張に伴い、入退室管理ソフトウェアのカスタマイズが生じないこと。生じる場合は無償対応とする。
（17）入退室管理ソフトウェアはトラブル対応及びOSバージョンアップ時対応を考慮し、パッケージソフトとする。
（18）扉付近に設置されたカメラ画像を管理パソコンから入退室の履歴をクリックすることにより表示できるようにする為、カメラシステムとの連携が可能なものとする。
（19）将来の拡張を考慮し、鍵管理装置の接続が可能なものとする。

4．施工

（1）入退室制御装置から本人確認端末へのセキュリティレベルの高いLON通信プロトコルによる配線とする。
（2）入退室制御装置にはバックアップ用バッテリを装備させ、フル充電時に30分間の動作が可能なものとする。
（3）制御装置及び本人確認端末の設置箇所は担当職員の指示に従うものとする。
（4）入退室管理システムの工事範囲は電気錠、通電金具の取付作業（材工共）、配線、機器取付、結線、調整までとし、一次側電源工事は別途工事とする。

5．その他

（1）製品は信頼性を考慮して国際標準規格ISO9000シリーズを取得した工場により製作されたものとする。
（2）本仕様書に記載の無き事項は担当係の指示によるものとする。
（3）各機器のマニュアルは日本語版を各3部用意すること

6．保証

保証期間は1年間とする。

<入退室管理装置>

1．概要

本システムは、管理コンピュータ、入退室制御装置、照合装置から構成され、入退室管理を行うとともに不審者及び不正利用者の侵入を防ぐことを目的とし、これらをリアルタイムに管理します。
利用者は照合装置にて本人照合を行い、予め許可されている人のみが扉の解錠を行い入退室できます。

2．構成機器

（1）管理コンピュータ

・管理コンピュータと入退室制御装置は同一のネットワーク上に設置され、入退室制御装置、照合装置の設定や各種操作、ユーザーの登録、各種データの表示が行える。また最大4台のクライアント管理コンピュータが設置可能であること。
・管理コンピュータは、コンピュータ本体、表示装置、キーボード、マウス、無停電電源装置から成り立つ。
・管理コンピュータは、最大31台の入退室制御装置、最大248ゲートの扉が一括管理可能であること。
・管理コンピュータは、最大31台（管理キー2790本）の鍵管理装置を一括管理可能であること。
・管理コンピュータは、最大31台（監視カメラ496台）の録画装置を一括管理可能であること。

（2）入退室制御装置

・照合装置及び施錠装置を接続し、照合装置からの情報と装置内部で記憶している登録データを照合し、正しい情報ならば施錠装置を解錠する装置であること。
・1台の制御装置で最大8ゲートの制御が可能であること。
・入退室制御装置は、通電時解錠型、通電時施錠型、瞬時通電施解錠繰り返し型、瞬時通電施解錠極性反転型の電気錠、モーター錠、及び自動ドアが制御可能であること。
・ゲート制御の他に外部入出力インタフェースを接続できること。
・管理コンピュータと接続するためのEthernet通信機能を有する。
・電源バックアップ用のバッテリーを搭載し、停電後約30分の動作が可能であること。
・管理コンピュータダウン時、及び通信異常時は、入退室制御装置に最大5万件のイベント履歴情報を保存し、その間も通常の認証、入退室操作が可能である。またシステム復旧後に管理コンピュータへイベント履歴情報が自動送信されること。

（3）照合装置

・照合装置とは、主にゲート付近に設置し、本人照合を行う装置のことを指す。
・照合装置は、固定型テンキーパッド、ランダム型テンキーパッド、磁気カードリーダ、非接触カードリーダ、指紋照合機、指静脈照合機、手の甲静脈照合機、手のひら静脈照合機から選択可能である。
・本件では、FeliCa照合に対応する非接触カードリーダを選択し、下記照合方式に対応できること。
「IDm照合／キーレスモード／Edyナンバー照合／
ノーマルモード／中間キーモード／フリー領域／SSFC／FCF」

3．表示機能

3－1．管理コンピュータ

（1）表示画面

・表示画面はカラーモニターとし、日本語処理による表示とする。
・電気錠の状態（施錠／解錠・閉扉／開扉）、照合装置の状態、入退室制御装置の状態を常時監視する。

（2）履歴表示

・イベントモニタ：ゲートの施解錠操作、異常イベントなど、システムで発生したイベント全てを表示。
・アラームモニタ：システムで発生したイベントの中でアラームのみを抽出し表示。
・入退室制御装置モニタ：接続されている入退室制御装置の状態を表示・
・ゲートモニタ：電気錠の状態、扉の開閉状態を表示。
・警戒モニタ：警戒モニタの警戒状態、ループ状態等を表示。（警備機能利用時）
・外部入出力モニタ：外部入出力インタフェースに接続された機器の状態を表示。（インタフェース利用時）
・在室モニタ：入室側、退室側に認証装置を設置している部屋において、室内にいる利用者の名前、所属、入室日時を表示。
・顔写真モニタ：利用者が特定できるイベント（入室等）発生時、その利用者の顔写真を表示。
・カメラモニタ：各カメラのライブ画像が各種分割画面で表示。（録画装置連動時）
・鍵管理モニタ：各鍵の取り出し状況を表示。（鍵管理装置連動時）

（3）ポップアップ表示

発生するイベント毎に発生した時点でポップアップ表示でき、ポップ
アップの有無はイベント毎に設定可能であること。
また録画装置連動時は、そのイベント発生箇所におけるカメラのライ
ブ画像、発生時の録画画像もポップアップ表示可能であること。

3－2．照合装置

LEDにて電源状態の表示、扉（電気錠）の施錠／解錠状態の表示、照合操作の有効／無効の表示、警備ループ／セット／解除（警備機能使用時）表示が可能であること。

4．管理機能

4－1．履歴管理機能

（1）履歴機能

・以下の履歴情報を管理コンピュータに保存できること。
　・イベント履歴：システムで発生したイベント（正常操作、異常など）を保存。
　・操作履歴：管理ソフトウェアの操作履歴を保存。
　・登録・設定：個人情報や入退室制御装置などの設定情報を保存。
・指定操作により、各種登録・設定データ、履歴データをテキスト等のデータ形式で外部記憶装置に保存できること。

（2）個人管理

・個人の登録を管理コンピュータより行うことができること。
・最大50，000件の個人登録が可能であること。
・1個人につき最大3つの照合方式を登録できること。
・最大5，000グループの所属が登録可能であること。
・名前やカード番号、所属以外にも、付帯情報（緊急連絡先、役職等）が最大10項目入力可能であること。
・テキスト等のデータで作成した個人登録情報を一括登録、及び一括削除することができること。
・指定時刻、またはデータ更新時に指定のフォルダに入った登録データを自動登録する自動インポート機能を有すること。

（3）紛失カード登録

・カードを紛失した場合、管理コンピュータにて一時禁止登録を行うことで、そのカードを使用不可にできること。

（4）管理情報の出力

・保存されている各種履歴情報を「期間」「出力対象項目（特定のゲートや所属、個人、エリア、イベント等）」を任意に指定して、モニタ上に表示、データ出力が可能であること。
・定時出力、定時印字機能を有すること。
・一定期間以上使用していない利用者を検索できること。

5．制御機能

（1）電気錠制御

・管理コンピュータによりマウス操作にて選択した電気錠の一回解錠、連続解錠、施錠操作が可能であること。

（2）タイムスケジュール機能

・電気錠の自動連続解錠、及び照合装置の使用可・不可の時間設定を行うことができること。

（3）個人タイムスケジュール照合権限機能

・個人毎に利用できるゲート、及び時間帯の設定が可能であること。

（4）複数照合装置の混在制御

・同一システム上で非接触カードリーダ、テンキー、生体認証装置等の本人照合装置を混在して利用できること。

（5）照合装置使用禁止制御

・全ての時間帯に入室権限を持った人でも、夜間・休日など予め設定された時間帯の照合装置の読み取りを自動的に停止させ、入室を規制できること。また管理コンピュータの操作により、一時的に照合装置の使用を禁止できること。

（6）警備機能

・入退室用の照合装置を利用して、警戒エリアの警備セットや解除を行うことができること。
・管理コンピュータの操作により、遠隔で警戒エリアの警備セット・解除を行うことができること。

（7）ツーパーソンルール制御

・2名連続で照合操作を行わなければ、電気錠を解錠できない制御が可能であること。また管理者など特定の人に限り、1人での入室を許可する機能を有すること。

（8）ツーパーソンルール制御（カウント制御）

・室内が無人である場合2名での照合が必要であるが、既に室内に2名以上いる場合、3人目以降は1人で入退室できる機能を有すること。

（9）アンチパスバック制御

・同一のカードや暗証番号、生体情報で2回続けて入室及び退室の照合操作ができない機能を有すること。
・同一のカードや暗証番号、生体情報で2回続けて入室及び退室の照合操作を行った場合、入室及び退室はできるがエラー履歴が保存される機能を有すること。

（10）グローバルアンチパスバック制御

・複数の扉があるエリアでもアンチパスバック制御を行うことができること。また1つのエリアが複数の入退室制御装置をまたがっていても本制御が設定可能であること。

（11）在室管理連動制御

・入退室管理により在室者を常時監視し、在室者が0になった場合に自動的に警備セットできる機能を有すること。

（12）在室時間管理機能

・室内に入室した人の個人毎の在室時間をカウントし、所定時間を超えた場合に警報を出力することができること。

（13）ゲート関連チェック

・特定の扉を通過しないと、次の扉で入室または退室を拒否する機能を持ち、入退室ルートを正規の通行ルートに限定できること。
また複数の入退室制御装置をまたがったゲートの関連チェックも可能であること。

（14）インターロック機能

・複数の扉が存在するエリアにおいて、2枚の扉が同時に開かない機能を有すること。

（15）アクセスレベル

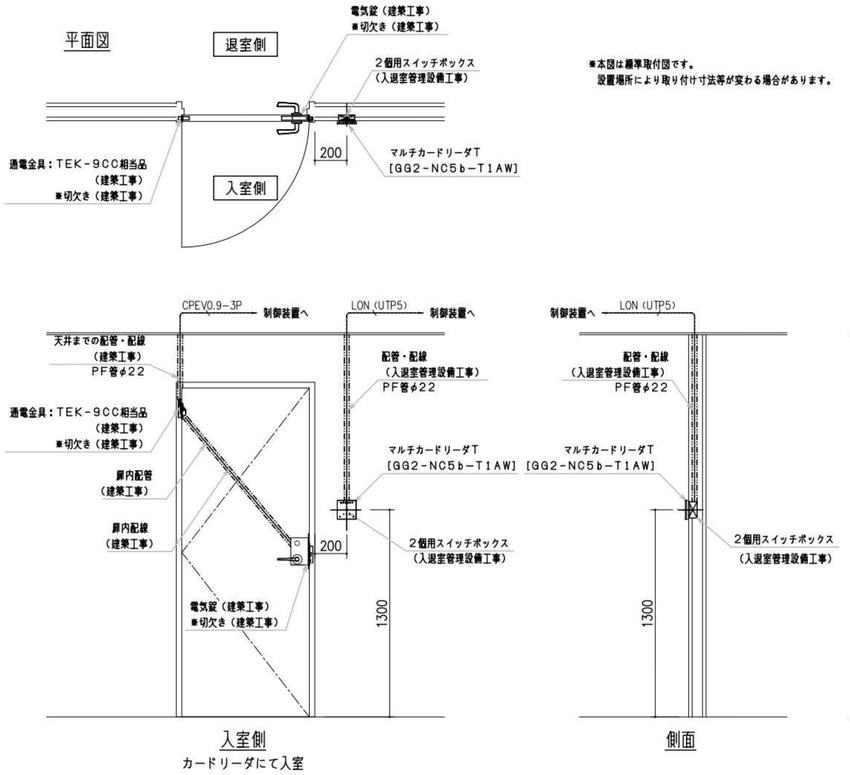
・個人情報にアクセスレベル（入退室権限パターン）を付与することにより入退室を許可する扉、またその時間帯を指定できること。
・個人情報には複数のアクセスレベルを付与することができること。

（18）火災連動制御

・火災報知設備より警報信号を受信することで、全てまたは特定の扉の一斉解錠を行うことができること。

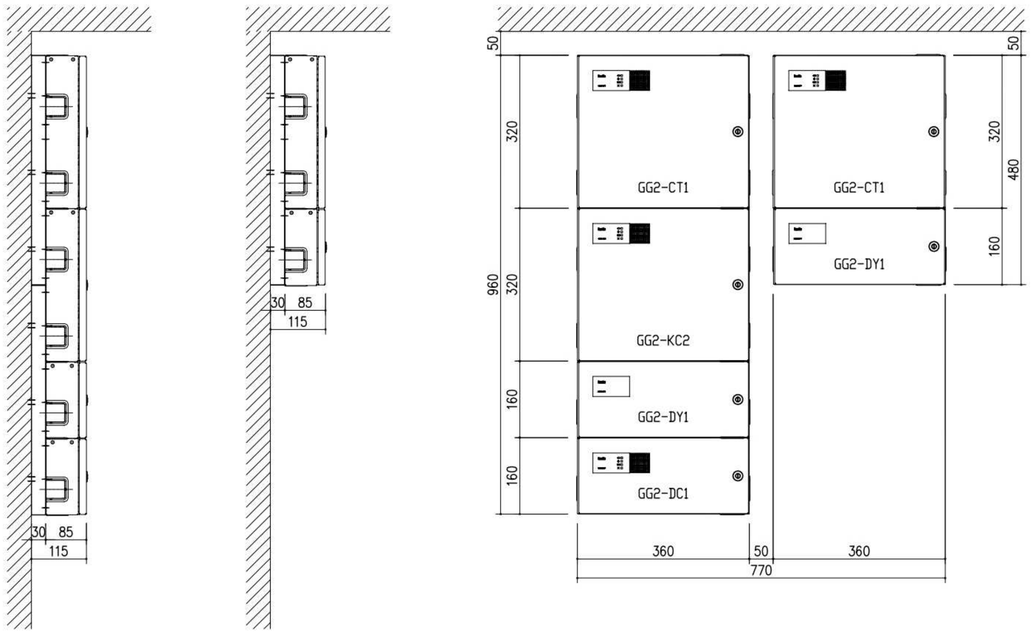
（19）平面図登録（マップ機能）

・管理コンピュータのモニター上に表示させる平面図及びシンボルの登録を行うことができること。



※本図は標準取付図です。
設置場所により取り付け寸法等が変わる場合があります。

項　目	建築工事	電気工事	入退室管理設備工事
電気錠取付	○		
電気錠切欠工事	○		
通電金具取付	○		
通電金具切欠工事	○		
扉内配管	○		
扉内配線	○		
配管・配線			○
屋外防滴ボックス取付			○
カードリーダ本体取付、結線			○
電気錠結線			○



入退室制御機器（既設）　S:1/3

訂正	月　日		工事名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修工事(その2)	56 枚のうち 56 号	課　長	副課長	係　長	係　員
	・				縮尺 －				
	・		図面名称	入退室管理システム(3)	作成 令和4年3月	滋賀大学施設管理課			
	・								

一級建築士事務所
滋賀県知事登録 第(ロ)2275
Architect & Associate
株式会社 匠工房
TAKUMI KŌ BŌ
滋賀県 米原市 柏原4316-6　TEL 0749-57-1055
一級建築士登録第159949号
島田 廣巳

設計年月日	設　計	検　図	受領印	業務名称	滋賀大学(彦根)陵水会館改修設計業務(その3)	整理番号 56 — 56
島田 廣巳	製　図	担　当	受領年月日	図面名称 入退室管理システム(3)	縮　尺	図面番号 A — 47